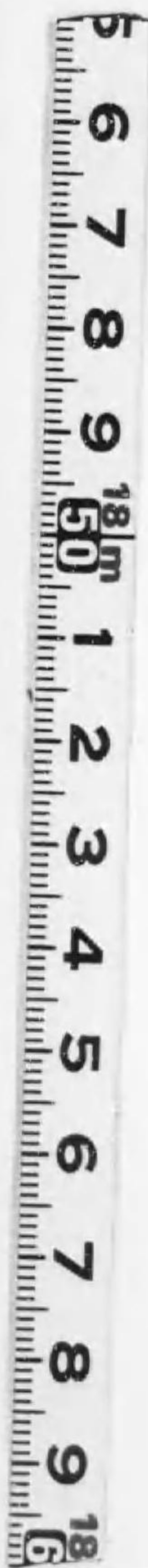


518
159



始



15.11.22

大正十四年五月開催

副業主任官會議要錄

農林省農務局

地方副業主任官會議要錄

目次

- 一 本省提出諮問事項……………一頁
- 一 會議出席者氏名……………一頁
- 一 會議經過ノ大要……………五頁
- 一 岡崎農林大臣訓示……………七頁
- 一 石黒農務局長演述要旨……………八頁
- 一 南副業課長副業獎勵金交付ニ關スル注意要旨……………一一頁
- 一 南副業課長副業獎勵規則說明……………一六頁
- 一 副業獎勵規則……………二二頁
- 一 道府縣ト打合セノ結果事業ヲ指定シテ獎勵セントスル副業ノ品目及事項……………二四頁
- 一 諮問事項ニ對スル道府縣ノ書面答申ノ要領……………(二八―二九)頁

大正
15.6.24
内交



獻式圖書主計官會編要録



本省提出諮問事項

諮問事項

管下ニ於テ特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スヘキ副業ノ種類及現状竝
現在及將來ノ獎勵施設如何

說明

農村振興ノ一策トシテ一層副業ノ獎勵ヲ爲サムトスルニ當リ其ノ管下ノ事情ニ應ジ今後特ニ一段
ノ指導獎勵ヲ加フヘキ副業ニ付意見ヲ求ムトス

會議出席者氏名

地方廳名

官職

氏名

北海道
東京

地方農林主事
地方農林技師

吉松正彦
加藤茂雄

岡	廣	山	和	德	香	愛	高	福	大	佐	熊	宮	鹿	沖
山	島	口	歌	島	川	媛	知	岡	分	賀	本	崎	島	兒
農林技手	農林主事補	商工主事補	縣技手兼屬	農林技手	地方農林技師	農林主事補	同	同	同	農林技手	農林主事補	農林技手	農屬	農林技手
和氣薰	渡邊龍一	宮崎宗十	柳野源之助	加藤金作	岡田忠次郎	松本苞	濱田賴幸	宮原茂雄	坂本多作	千綿萬三	江崎武雄	古市美弘	矢野勝彦	比嘉大仁

四

東部道縣農會聯合東京販賣幹旋所	同	關西府縣農會聯合大阪販賣幹旋所	同	九州各縣農會聯合門司販賣幹旋所
山崎時治郎	吉田源一	池田駒太郎	三木清八	照山宗吉

會議經過ノ大要

(自五月九日於中央會議所
至同月十三日)

第一日 (五月九日)

午前十時開會、石黒農務局長、南副業課長、見坊技師其ノ他副業關係職員全部出席、農務局長議長席ニ著キ開會ノ挨拶アリ次テ三土政務次官大臣ニ代リテ別紙ノ如キ大臣ノ訓示ヲ朗讀シ併セテ農村振興費豫算、副業獎勵ニ關スル所感ヲ述フ終リテ農務局長ヨリ別紙ノ如キ副業獎勵費ノ支途ニ就キテ演述アリ次ニ京都府ヨリ本省諮問事項「管下ニ於テ特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スヘキ副業ノ種類、現狀並現在及將來ノ獎勵施設如何」ニ付答申アリ午前ノ會議ヲ了ス

午後一時再開、農務局長議長席ニ著キ南課長ヨリ副業獎勵規則並獎勵金交付ニ關シ注意スヘキ事項ニ付詳細ナル説明アリ之ニ對シ新潟、東京、群馬、滋賀、島根、德島、京都、岐阜、福井、神奈川、三

重、富山、岡山ノ諸府縣ヨリ質問アリ農務局長副業課長見坊技師ヨリ夫々應答シ四時散會

第一日 (五月十二日)

午前九時開會、農務局長議長席ニ著キ議事ニ入り新潟、三重、富山、山形、福井、島根等ヨリ前日ニ引續キ副業獎勵規則運用ニ關シ希望アリ農務局長之ニ答ヘ十二時休憩

午後一時再開、農務局長議長席ニ著キ見坊技師ヨリ今後地方ニ於テ獎勵セムトスル副業ニ關シ本省ノ意向ヲ述ヘ次テ山本鼎氏ノ農民美術ニ關スル講演アリ終リテ各農會聯合販賣斡旋所ト地方副業主任トノ間ニ打合セアリ午後五時半散會

第二日 (五月十三日)

午前九時開會、日本產業協會ト道府縣副業主任官トノ間ニ打合セアリ午前十一時ヨリ農務局長議長席ニ著キ本省會議ニ入ル前日見坊技師ヨリ説明セル今後獎勵セムトスル副業ニ關シ主任官ヨリ質問アリ夫々局長、課長、見坊技師ヨリ之ニ答ヘ十二時休憩

午後一時再開、栃木縣農林技師爲海文彦氏ノ苧麻栽培ニ關スル講演アリ尙參考品ノ展覽ヲ爲ス午後二時半農務局長議長席ニ著キ本省會議ニ入り本省係官ト地方主任トノ間ニ諸般ノ打合アリ午後四時閉

會

岡崎農林大臣訓示

茲ニ副業主任官會議ノ開催ニ當リ諸君ト會シ一言所懷ヲ述フルコトヲ得ルハ予ノ欣幸トスル所ナリ現下ノ時局ハ思想上經濟上頗ル多事多端ニシテ國民生活ノ安定ヲ缺ク虞アリ殊ニ農家經濟ノ實情ニ至リテハ寔ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ素ヨリ農家、漁家ノ餘剩勞力ヲ利用シテ副業ニ精勵セシメ以テ其ノ經濟ノ緩和ヲ圖ルハ最緊要ノ事タルノミナラス他面勤勉力行ノ精神ヲ涵養シ堅實ナル國民精神ノ作興ニ寄與スル所亦尠カラズ殊ニ今ヤ朝野ノ輿論トナレル農村振興ノ一方策トシテ極メテ緊切ナル事項ナリ

副業ノ調査獎勵ニ付テハ夙ニ其ノ必要ヲ認メ大正六年以來引續キ其ノ發達ニ努メ來レバモ未タ以テ充分ノ效果ヲ擧ケタリト謂フヲ得サリシニ今回幸ニ獎勵費ノ増額ヲ見ルニ至リタルヲ以テ今後益々副業品ノ生産増殖ニ努ムルト共ニ販路ノ確實ヲ期スヘキ施設ノ充實ヲ圖ラント欲ス之ニ付テハ尙地方廳其ノ他ノ獎勵施設ニ對シテ獎勵金ヲ交付スヘキ事項ヲ明確ニシ且之ヲ一般ニ周知セシムル必要アルヲ以テ副業獎勵規則ヲ制定スルト共ニ新ニ副業課ヲ設ケ副業ニ關スル諸般ノ調査獎勵ニ關スル事務ノ擴張ヲ圖ルコトトナレリ然レトモ獎勵ノ實績ヲ擧クルト否トハ直接其ノ任ニ當ル諸君ノ努力ニ待ツヘキモ

ノ多キカ故ニ其ノ重大ナル責務ニ鑑ミ銳意事ニ當ラレムコトヲ望ム次ニ副業ノ獎勵ヲ爲スニ當リテハ副業品ノ國內及海外ニ於ケル需給狀況ヲ詳ニシテ各地方ニ適應セル副業ヲ選定シ之カ助長發達ヲ圖ルヲ最肝要ト認ムルカ故ニ今後獎勵スヘキ副業ノ選定ニ關シテハ中央、地方相協力シテ其ノ適確ヲ期セラレムコトヲ望ム今回ノ會同ニ際シ地方ニ於テ今後一段ノ獎勵ヲ爲サントスル副業ニ付意見ヲ徵セムトシタルモ亦此ノ趣旨ニ出ツ

尙本省ニ於ケル副業獎勵實施計畫等ニ關スル詳細ノ説明ハ農務局長及關係係官ヲシテ爲サシムヘキヲ以テ諸君ハ能ク協議ノ上地方ニ於テ最適應セル獎勵計畫ヲ樹立セラレムコトヲ希望スル次第ナリ

石黒農務局長演述要旨

近時農村振興ノ要緊切ナルニ際シ農家經濟ノ緩和ヲ圖ルニ捷徑タル副業ノ獎勵ハ最適切ナル施設ナリト認メラレ今期議會ニ於テ副業獎勵費既定豫算額九萬四千九百五圓ハ四十三萬八千四百六十七圓ニ増加セラレタリ而シテ此ノ内本省ノ經費ハ九萬五千三百三十五圓ニシテ其ノ殘額三十四萬三千三百三十二圓ハ地方廳、縣農會、縣山林會、縣水產會、日本產業協會、帝國水產會、大日本水產會、日本農民美術研究所等ニ對シ獎勵金トシテ交付セムトスルモノナリ今此ノ地方廳其ノ他ニ交付スヘキ獎勵費ヲ以テ實施セムトスル獎勵計畫ニ付之ヲ述フルニ

第一ハ副業獎勵ノ事務ニ從事スル專任者ノ設置ニ對スル獎勵金ノ交付ニ關スル事項ナリ從來地方廳ニ於ケル副業專任者ノ設置費ニ對シテハ二名ヲ限リ其ノ俸給ノ二分ノ一旅費ノ三分ノ一ヲ交付シ來リシカ今年度以降ニ於テハ地方廳ニ二名以上ヲ設置スル場合ニ限リ一名分ノ俸給旅費ノ全額ニ相當スル金額ヲ交付スル事トセリ其ノ結果地方廳ニ於ケル專任者設置費ニ殘額ヲ來スコトトナルヘキカ故ニ該殘額ハ事業獎勵費又ハ他ノ副業關係職員ノ設置費ニ充テラレタシ

第二ハ副業獎勵事業ニ對スル獎勵金交付ニ關スル事項ナリ地方廳其ノ他ニ交付スヘキ獎勵金ハ地方ニ於ケル副業品ノ生産増殖ヲ圖ル各種施設及副業ニ關スル組合ノ助成並主要集散地ニ於ケル副業品販賣斡旋機關ノ助成等ニ對シ之ヲ交付セムトス今此等事業獎勵ニ關シ夫々説明センニ

一 副業品生産増殖獎勵

全國ニ於ケル副業ノ普及狀況ヲ觀ルニ其ノ從業小區域ニ限ラレ充分ノ發達ヲ見サルモノ多ク又新ニ適當ナル副業ノ扶植ヲ圖ラサルヘカラサル地方少ナカラス依ツテ今後ハ中央地方互ニ策應シテ適當ナル副業ノ種類ノ選定ヲ行フト共ニ助長ヲ期スヘキ施設ヲ決定シ以テ其ノ普及發達ヲ圖ラムトス之カ爲ニ地方廳其ノ他ニ於テ傳習會、講習會、展覽會、共進會、競技會等ノ開設、副業ヲ指導スヘキ技術員ノ養成、副業ニ關スル調査及試験、副業ニ關スル參考品並副業用種苗及器具機械ノ購入配付副業原料及副業用器具機械ノ購入斡旋ヲ行フ場合及下級團體ニ於ケル此等ノ施設ヲ助成セムトスル

場合ハ之ニ獎勵金ヲ交付セムトス

二 副業ニ關スル組合ノ獎勵

副業品ノ生産能率ノ増進及生産費ノ低廉ヲ圖リ商品トシテノ價值ヲ大ナラシムルニ付テハ副業従業者ヲシテ組合ヲ組織セシメ器具機械等ノ設備ヲ完ウセシメ共同販賣ノ便宜ヲ得セシムルコト最肝要ナリ依ツテ從來此ノ種ノ組合ノ設立及事業助長ニ關シテハ特ニ獎勵シ來リタルカ今後ニ於テモ益々其ノ普及發達ニ努ムルヲ要スヘキカ故ニ地方廳其ノ他ニ對シ組合ノ設備費及事業費ニ充ツヘキ獎勵金ヲ交付セムトス

三 副業品販賣斡旋事業ノ助成

副業生産品ニ付テハ一定ノ市場ナキ爲取引上不便少ナカラス又副業品ハ多種多様ニシテ地方的特殊ノ生産ニ係ルモノ多ク且其ノ産額モ比較的少量ナル爲世上ニ紹介セラルルコト困難ナル事情アリサレハ之カ販賣ニ關シテハ生産品ヲ一般ニ紹介スルト共ニ主要集散地ニ於ケル商況及生産地ノ實狀ヲ詳ニシ需給ノ圓滑ヲ圖リ販賣ノ安全ヲ期スルハ最緊要ナリ依ツテ農會聯合販賣斡旋所ニ對スル獎勵金ヲ増額交付シ又新ニ帝國水産會、大日本水産會、日本産業協會ニ對シ獎勵金ヲ交付シ其ノ副業品販賣斡旋施設ヲ助成セムトス

而シテ農會聯合販賣斡旋所ニ於テハ農産關係副業品、帝國水産會ニ於テハ原始生産的水産關係副業

品、大日本水産會ニ於テハ加工的水産關係副業品、日本産業協會ニ於テハ輸出向副業品及農村婦人手藝品ノ販賣斡旋ヲ行フヘキカ故ニ此等ノ機關ト地方ニ於ケル副業ニ關スル組合及副業従業者ト能ク聯絡ヲ保チ有利ニシテ安全ナル取引ノ行ハルル様努メラレタシ

四 副業展覽會ノ助成

副業参考品ヲ紹介シテ生産者ノ製品改良ニ資スルト共ニ販路ノ開拓ヲ圖ル爲ニ日本産業協會ニ獎勵金ヲ交付シテ國內及海外ノ副業参考品ヲ蒐集シ全國的副業品展覽會ヲ開催セシムトス之ニ關シテハ後日日本産業協會ヨリ打合アルヘキ筈ナルニ付キ充分協議ヲ遂ケラレタシ

尙副業獎勵事業ノ助成ニ關シ本省ニ於テ適當ト認ムル助長施設ニ對シテハ特ニ事業費ノ全額ヲ交付シテ其ノ發達ヲ圖ラムトス依ツテ地方廳等ニ於テハ本省ト豫メ打合ノ上既定豫算ノ更正ヲ要スヘキモノハ更正ヲ爲シ更ニ獎勵金交付申請書ヲ提出セラレタシ

以上地方廳等ニ對シテ交付スヘキ獎勵金ノ支途ニ關シ述ヘタルモ詳細ニ付イテハ關係係官ト充分協議ヲ遂ケラレムコトヲ望ム

南副業課長副業獎勵金交付ニ關スル注意要旨

第一 副業獎勵豫算額ニ關スル件

(一) 豫算總額

既定豫算額

(一三七、四〇〇圓)

新規增加額

九四、九〇五圓

計

三四三、五六二

右豫算額中

本省經費

四三八、四六七

獎勵費

九五、三三五

計

三四三、一三二

(二) 大正十四年度ニ於ケル獎勵費豫算ノ使途

(イ) 道府縣ニ於ケル副業獎勵ノ事務ニ從事スル專任者ノ設置獎勵ニ要スル費用

八二、〇〇〇

(ロ) 道府縣其ノ他ノ團體ノ事業獎勵ニ要スル費用

二六一、一三二

(I) 道府縣、道府縣農會、道府縣山林會、道府縣水産會ノ事業費ニ對シ其ノ半額以內ニ於テ獎勵金ヲ交付スルモノ

六四、〇〇〇

(II) 日本産業協會、日本農民美術研究所、農會聯合販賣斡旋所、帝國水産會、大日本水産會

四〇、〇〇〇

(III) 道府縣、道府縣農會、道府縣山林會、道府縣水産會ノ事業ニ對シテ其ノ經費ノ全額ヲ交付セムトスルモノ 一五七、一三二

一道府縣當平均

三、三〇〇圓

右金額ヲ以テ副業品生産増殖獎勵施設及副業ノ販賣組織ノ改善ニ要スル費用ニ充テントス

第二 副業專任者設置獎勵ニ關スル件

從來地方廳ニ於テ副業ノ獎勵事務ニ從事スル專任者ノ俸給旅費ニ對シ本省ニ於テハ二名ヲ限度トシ補助金ヲ交付シ來レリ

本年度以降ニ於テハ地方廳ノ希望ニヨリ專任者二名以上ヲ設置スル場合ニ限り一名分ノ俸給旅費ノ全額ニ相當スル金額ヲ交付スルカ又ハ從來通り二名ヲ限り其ノ俸給ノ二分ノ一、旅費ノ三分ノ一ヲ交付セントス但シ俸給旅費ニ對シ其ノ全額ニ相當スル金額ヲ交付スル場合ハ從來補助ヲ受ケタル金額即現在ノ專任者ノ俸給ノ二分ノ一、旅費ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ以テ別ニ一名ノ專任職員ヲ

増設スルモノトナシ現在ノ專任者ノ俸給及旅費ノ全額ニ相當スル金額補助ヲ申請シタル場合ニ限ルモノトス從來副業專任職員ノ設置ナキ地方廳ニ於テハ至急設置セラレタシ尙國庫補助ニ關係アル專任者ヲ新タニ採用スル場合ニハ豫メ本省ト打合セラレタシ

第三 事業獎勵ニ關スル件

事業ニ對シ獎勵金ヲ交付スヘキ團體及其ノ事業ノ種類ニ付テハ副業獎勵規則ノ説明ニ於テ之ヲ爲シタルカ故ニ茲ニハ絮說セス

茲ニハ單ニ補助金交付率ニ關シテ述フルニ地方廳其ノ他ノ團體ニ於テ經費ノ支出アル事業中適當ト認ムルモノニ對シテハ該事業費半額以內ヲ交付スヘシ然レトモ地方廳ニ於テ專任者ノ俸給旅費ノ全額ニ相當セル金額ノ交付ヲ受ケ之ニ依リテ生シタル地方廳ノ負擔剩餘金額ヲ事業費ニ充ツル場合ニハ之ニ對シテ獎勵金ヲ交付セス尙之以外ニ地方ニ於テ本省ト打合セノ上殊ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スルモノト認メタル副業ノ振興ニ關シテハ其ノ獎勵ノ爲ニ要スル費用全額ニ相當スル金額ヲ交付セムトス而シテ之カ爲ニハ生産増殖獎勵施設及生産増殖ヲ獎勵スル副業品ノ販賣組織改善ノ施設ニ要スル費用ニ付全額ヲ交付スヘキヲ以テ豫メ之等ニ付テハ本省ト打合セラレタシ

第四 副業獎勵費豫算編成ニ關スル件

地方廳ニ於テ專任者一名ノ設置費ノ全額ニ相當スル金額ノ交付ヲ希望スル場合ハ收支豫算ヲ更正スルヲ要ス例ヘハ現ニ千二百圓ノ俸給六百圓ノ旅費ノ專任者一人ヲ設置セル縣ニ於テ之カ全額ニ相當スル金額ノ補助ヲ受ケントセハ俸給ノ半額六百圓、旅費ノ三分ノ二四百圓ヲ以テ他ニ一名ノ專任者ヲ置クコトトシ收入豫算ハ國庫獎勵金トシテ千八百圓支出豫算ハ之ニ千圓ヲ加ヘタル二千八百圓ヲ專任者二人分トシ計上スヘキナリ現ニ二名ノ專任者ヲ設置セシ縣ノ場合モ之ニ準シ其ノ一名分ノ俸給旅費全額ニ相當スル金額ヲ國庫獎勵金トシテ收入ニ受ケ支出豫算ニハ專任者二人分ノ俸給旅費全額ヲ計上スヘキナリ

地方廳ニ於テ事業費豫算中全額ニ相當スル金額ノ交付ヲ希望スル場合ニ其ノ金額ヲ收入及支出豫算ニ計上スルヲ要ス而シテ地方廳以外ノ團體（道府縣農會、道府縣山林會、道府縣水産會）ニ於テ其ノ事業ノ經費ニ對シ全額ニ相當スル金額ノ交付ヲ受クル場合ニハ同一申請書中ニ之以外ニ他ニ適當ナル副業施設アリテ之ニ對シ本省ヨリ半額以下ノ獎勵金ノ交付アル場合ニ限ル次ニ地方廳ニ於テ專任者設置費ノ全額ニ相當スル金額ノ交付ヲ受クル場合地方廳ニ於テ之ニヨリテ生シタル地方廳負擔剩餘金額ヲ事業費ニ充テントスル時ハ支出豫算ヲ更正スルヲ要ス

尙今後副業獎勵費豫算編成ニ當リテハ豫メ本省ト打合セノ上編成セラレタシ特ニ專任者設置費及事業費ニ付キ全額ニ相當スル獎勵金ノ交付ヲ受クル場合ハ必ス本省ト打合セラレタシ

第五 獎勵金交付ノ方法

從來補助金ハ各事項毎ニ夫々分離シテ交付シ其ノ間ノ流用ニ付テハ本省ノ許可ヲ要スル所ナリシニ
今後ハ各事項毎ニ分離スル事ナク獎勵金ヲ交付スヘキ事項ヲ可成(一)專任者設置(二)地方ニ於テ本
省ト打合ノ上特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スルモノト認メタル事業(三)地方廳ニ於テ經費ノ支出アル事
業等ノ事項ニ分ケ之ニ獎勵金ヲ交付スヘシ

第六 副業獎勵費經費豫算編成統一ニ關スル希望

地方廳其ノ他ノ團體ニ於ケル豫算編成ノ形式ヲ見ルニ其ノ形式區々ニシテ本省ニ於テ取扱上不便尠
カラサルカ故ニ出來得ルナラハ次ノ形式ニ依リ豫算編成セラルルコトヲ望ム(希望形式ハ別紙)

南副業課長副業獎勵規則說明

副業獎勵費増額セラレ獎勵金ノ交付額増大スルニ至リタルニ付テハ獎勵スヘキ事項ヲ明確ニシ且之ヲ
一般ニ周知セシムルヲ適當ト認メテ今回副業獎勵規則ノ制定ヲ見ルニ至リタルヲ以テ茲ニ規則ノ内容
ニ付説明スヘシ

獎勵規則ハ第一條ニ於テ獎勵金ノ交付ヲ受クル主體ヲ明ニシ第二條ニ於テ交付ヲ受ケ得ヘキ事項ヲ示
シ第三條以下ハ交付申請及收支決算其ノ他ノ手續並獎勵金ノ還付ヲ命スル場合ヲ規定シタリ而シテ大
體ニ於テハ從來ノ方針ヲ書キ表シタルニ過キス以下其ノ各條ニ付注意スヘキ點ヲ述フヘシ
第一條ハ先ツ獎勵金ハ農村ニ於ケル副業ヲ獎勵スル爲ニ交付スル旨ヲ明ニス是レ農村振興費トシテ副
業獎勵費ヲ要求シタル當然ノ歸結ニシテ市街地ノ副業獎勵ノ爲ニハ獎勵金ヲ交付セサルモノナリ茲ニ
農村ト謂フハ廣義ニ用ヒタルモノニテ市制施行地及之ニ準スル地域ヲ除外スルニ止マリ漁村山村ヲ包
含スルモノナリ又獎勵ノ手段トシテ市街地ヲ利用スルモ其ノ趣旨カ農村ノ副業ヲ獎勵スルニ在ルトキ
ハ之ニ包含スルモノト謂フヘク例ヘハ市ニ於テ農村ノ爲技術員ヲ養成シ或ハ販賣上ノ圓滑ヲ計ル爲展
覽會ヲ開催スルカ如キ又ハ市街地ニ於テ講習會ヲ開催シ附近ノ農民カ聽講スルトキノ如キハ獎勵金ノ
交付ヲ受ケ得ヘキモノニテ單ニ市街地住民ノ副業ヲ獎勵スル場合例ヘハ職工ノ家庭ノ副業ヲ獎勵スル
場合ノ如キハ今後獎勵金ヲ交付セサルコトト爲ル次第ナリ
次ニ獎勵金ノ交付ヲ受ケ得ヘキモノハ道府縣以外ニ於テ農林大臣ノ指定スル法人又ハ組合ニ限定シタ
リ組合ハ法人格ヲ有セサル民法上ノ組合ヲ指スモノナリ道府縣以外ノ法人又ハ組合ヲ指定シタルトキ
ハ之ヲ告示スヘシ指定セムトスルモノハ目下ノ處府縣農會、府縣山林會、府縣水産會、日本産業協會、
帝國水産會、大日本水産會、日本農民美術研究所ノ如キ之ナリ

第二條ハ獎勵金ヲ交付スヘキ事項ヲ明ニセルモノニシテ次ノ事項ニ付道府縣、法人又ハ組合カ自ラ費用ヲ支出シ又ハ他ノ團體ニ補助金ヲ與フル場合ニ之ニ對シテ獎勵金ヲ交付スルモノナリ

一、道府縣ニ於ケル副業獎勵ノ事務ニ從事スル專任者ノ設置 此ノ專任者ハ副業獎勵ノ事務ヲ執ル職員ヲ指ス趣旨ニシテ道府縣ニ限リテ獎勵金ヲ交付シ其ノ他ノ法人又ハ組合ニハ交付セサルモノナリ而シテ俸給ニ止ラス旅費ヲモ包含スル趣旨ナリ

二、副業ニ關スル傳習會、講習會、展覽會、共進會、競技會ノ開設 會合ノ名稱ハ必シモ茲ニ記載ノモノニ限ラス又展覽會、共進會等ニ付テハ副業品ヲ多クノ種類ニ互リテ出品スル場合ニ獎勵金ヲ交付スル趣旨ナリ又副業生産品以外ノ物品ノ陳列ヲ主トセル場合ヲモ除外ス尙本號以下ニ該當スル事項ニ付獎勵金ヲ交付スルハ道府縣ニ限ラサルモノナリ

三、副業ヲ指導スヘキ技術員ノ養成 本號ハ獎勵金ノ交付ヲ受クル地方廳其ノ他カ其ノ地方ニ於ケル副業ノ發達改善ヲ圖ル爲ニ技術ヲ修得セシムトスル者ノ旅費講習費等ヲ支出スル場合ト法人又ハ組合ノ如キニ於テ是等ノ技術員ニ技術ヲ授クルニ要スル費用ヲ支出スル場合トヲ包含シ是等ノ費用ニ對シテ獎勵金ヲ交付セムトスルモノナリ

四、副業ニ關スル調査及試験 副業品ノ生産及販路ニ關スル諸般ノ調査及副業品トシテ適スルヤ否ヤ改良ノ餘地ナキヤ否ヤ等ノ試験ニ費用ヲ要スル場合ニ對シテ獎勵金ヲ交付スルモノナリ

五、副業ニ關スル參考品並副業用種苗及器具機械ノ購入及配付

副業ニ關スル參考品ハ内外ノ副業品

ヲ指スモノニテ生産ノ參考ニ供スル爲之ヲ購入配付スルモノナリ種苗ハ樹苗鯉兒魚卵ノ如キ類ヲ謂

ヒ器具機械ハ副業生産ニ必要ナルカ又ハ有益ナルモノヲ指ス他ニ使用スルヲ主トスルハ不可ナリ

六、副業品ノ生産及販賣ニ關スル斡旋 副業品ノ生産ニ關スル斡旋トハ原料又ハ器具機械ノ購入ニ付

斡旋ヲ爲スカ如キヲ謂フ販賣ニ關スル斡旋ハ販路ノ圓滑ヲ圖ル施設ナリ

七、副業ニ關スル組合ノ設立 副業品ノ生産又ハ販賣ノ改善ヲ圖ル爲副業ニ關スル組合ノ設立ヲ獎勵

スルモノニテ組合ノ設備費及事務費ニ對シ補助金ヲ與フル場合ニ獎勵金ヲ交付セムトスルモノナリ

而シテ此ノ組合ノ標準ハ一大字以上ノ區域ニ於テ同種ノ副業ニ從事スル者三分ノ二以上ヲ以テ組織

シ法人ニ非ラサル組合タルモノトス

八、前各號ノ外農林大臣ニ於テ必要ト認ムル事項 本號ニハ例ヘハ副業ノ宣傳、副業ノ紹介、實地指

導、副業ニ關スル組合設立後ノ設備費及事務費ノ如キヲ含ム其ノ他必要ト認ムル事項ニ對シテハ獎

勵金ヲ交付スヘキナリ

以上各號ニ付テハ獎勵金ヲ交付スヘキモノナルモ他ニ國庫ヨリ補助金、獎勵金又ハ助成金ヲ受クル場

合ニハ之ト重複シテ交付スルノ必要ナキヲ以テ斯ノ如キ場合ニハ除外セラルルモノトス

第三條ハ交付申請ノ手續ヲ規定セルモノニシテ申請書ニ次ノ事項ヲ記載セル書類ヲ添付シテ二月末日

迄ニ農林大臣ニ提出スヘキナリ交付ヲ受ケムトスル獎勵金額ハ申請書ニ記載スヘキハ當然ナリ

一、獎勵計畫 之ハ一般的ニ獎勵計畫ノ概要ヲ記載スルモノニテ次ニ記載スヘキ詳細ナル内容ノ説明ニ對スル概説ナリ若獎勵團體ニ非スシテ自ラ事業ヲ施行スルノミノ團體カ申請スル場合ニハ本號ハ之ヲ省略スルモノナリ

二、獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル事項ニ付其ノ計畫ノ内容及收支豫算 之ハ交付ヲ受ケムトスル事項ヲ別チ成ルヘク詳細ニ其ノ計畫ノ内容ヲ明ニスルヲ越旨トス又收入及支出ノ豫算ヲ記載スヘキモノトス

是等ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ必要トス之ニ違反シタルトキハ後ニ述フル如ク獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命セラルルコトアルヘキナリ

第四條ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル事業ノ成績及其ノ收支決算ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ報告スヘキ旨ヲ定メタリ

若交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ第五條ノ規定ニ依リ其ノ殘額ハ其ノ後ノ年度ニ於テ獎勵金ヲ交付セラレタル事業ノ爲ニ支出スル義務アルモノニテ他ノ事業ニ之ヲ流用スルコトヲ得サルモノナリ

獎勵金ハ交付ヲ受ケタル後ハ如何ナル支出方法ヲ採ルモ差支ナキモノニ非サルヲ以テ第六條ハ次ノ各

號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命セラルル事アルヘキ旨ヲ定メタリ

一、獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第三條第二項又ハ補助ノ條件ニ違反シタルトキ 即認可ヲ受ケスシテ

獎勵計畫ノ内容及收支豫算ヲ變更シ或ハ補助ヲ受ケタル事項ノ爲ニハ支出シタルモ補助ノ條件ニ

違反セル場合ニハ還付ヲ命セラルルコトアルヘキナリ

二、獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金ノ殘額ヲ繰越支出セサルトキ 第五條ニ依リ後年度ニ於テ支出

ノ義務ヲ負ヘル殘額ニ付繰越支出ヲ爲ササルトキハ場合ニ依リ還付ヲ命スヘキナリ

三、事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ 事業施行ノ方法カ當ヲ得サリシカ爲ニ效果ノ見ルヘキモ

ヲナキトキハ是亦還付ヲ命セラルルコトアルヘキナリ

第七條ハ本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘキヲ定メ地方廳ヲシテ管内ノ副

業獎勵ニ付不統一ヲ來スカ如キコト無カラシメ意見ヲ述フル機會ヲ與ヘタリ

尙第三條中二月末日迄ニ申請書ヲ提出スヘキ旨ヲ定メタルモ本年ハ特ニ六月三十日迄ト爲シタリ

副業獎勵規則

(大正十四年五月九日 農林省令第十二號)

第一條 農林大臣ハ農村ニ於ケル副業ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣及農

林大臣ノ指定スル法人又ハ組合ニ對シ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ニ付道府縣法人又ハ組合ノ支出スル費用及補助金ニ對シ之ヲ交付ス但シ其ノ事項ニ付別ニ國庫ヨリ補助金又ハ之ニ準スルモノノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 道府縣ニ於ケル副業獎勵ノ事務ニ從事スル專任者ノ設置

二 副業ニ關スル傳習會、講習會、展觀會、共進會、競技會等ノ開設

三 副業ヲ指導スヘキ技術員ノ養成

四 副業ニ關スル調査及試験

五 副業ニ關スル參考品並副業用種苗及器具機械ノ購入及配付

六 副業品ノ生産及販賣ニ關スル斡旋

七 副業ニ關スル組合ノ設立

八 前各號ノ外農林大臣ニ於テ必要ト認ムル事項

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル道府縣法人又ハ組合ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ

一 獎勵計畫

二 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル事項ニ付其ノ計畫ノ内容及收支豫算

前項第二號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル事業ノ成績及其ノ收支決算ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ報告スヘシ

第五條 道府縣法人又ハ組合其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度後ニ於テ行フ同一ノ事業ニ對シ支出スル義務アルモノトス

第六條 農林大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

一 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第三條第二項ノ規定又ハ補助ノ條件ニ違反シタルトキ

二 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金ノ殘額ヲ繰越支出セサルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

第七條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條中二月末日迄トアルハ大正十四年度ニ限り大正十四年六月三十日迄トス

本省ト各道府縣トノ打合ノ結果確定セル副業獎勵指定品目

團體名	事	項
北海道	苗木(梅、杏、ケースベリー)養成配付費、竹細工傳習及器具購入補助費、凍豆腐獎勵補助費、ホームズパ ン紡織機購入補助費、支那鮎養殖補助費、副業品販賣組織改善補助費	
東京都	促成栽培器具配付費、木工品傳習費、苗木養成配付費、鱒苗購入配付費	
大阪府	土產品製作獎勵費、竹細工獎勵補助費、鯉兒配付費、苗木(梅、柿、葡萄)養成配付費	
神奈川県	花卉種苗購入配付費、素麵製造獎勵補助費、養蠶獎勵補助費、漬物改良講習補助費、屑繭整理講習補助 費、副業組合獎勵補助費	
兵庫縣	山葵獎勵費、貝細工獎勵費、種苗(梅、栗、採種用葱頭)養成配付費、松茸培養獎勵補助費、小禽獎勵費	
長崎縣	苗木(柿苗)購入配付費、鯉兒配付費、竹製品傳習費、屑繭整理講習費、羊齒細工傳習費	
新潟縣	羊齒細工獎勵費、苗木配付獎勵費、海蘂養殖並製造獎勵費、杞柳及杞柳製品獎勵費、椿、山茶花獎勵費	
埼玉縣	花卉球根獎勵費、杞柳栽培獎勵費、蔬菜漬物傳習費、苗木(柿、栗、梅)養成配付費	
群馬縣	鯉苗、鱒苗購入配付費、支那鮎購入配付費、杞柳及同製品獎勵費、苗木育成配付費、藥用植物獎勵費	
群馬縣	蒟蒻加工設備獎勵補助費、自家用味噌、醬油釀造獎勵費、麵類製造獎勵費、木工品製作獎勵費、山葵栽培 加工獎勵費	

千葉県	花卉栽培獎勵費、蜀黍等製造獎勵費、土產品傳習費、苗木養成配付費、椎茸栽培獎勵補助費、鱒養殖場 設置補助費
茨城縣	苗木(柿、栗、梅)育成配付費、支那鮎購入配付費、蔬菜促成栽培傳習費、副業的食用蛙養殖調査費
茨城縣農會	養兔獎勵費
栃木縣	副業工藝講習會費、副業組合獎勵補助費、苧麻育苗補助費、柿苗配付費
奈良縣	山葵栽培開田並種苗配付費、藥用植物種苗配付費、漬物(大根、山葵漬)傳習費、淡水養魚獎勵費、花卉 栽培獎勵費、苗木養成配付費
三重縣	土產品製作傳習獎勵費、苗木(柿、栗、梅、橘、三椏、棕櫚)養成配付費、苧麻獎勵費、麵類製造獎勵費、漬物 傳習費、乾燥野菜製造獎勵費、鱒苗購入及設備費
愛知縣	蔬菜加工増殖獎勵補助費、苗木(柿、梅)購入配付費、鯉苗養成配付費
靜岡縣	副業共同組織獎勵補助費、蔬菜加工獎勵補助費、蒟蒻共同製粉場設置獎勵補助費、石花菜漁場擴張獎勵費、 苗木(柿、梅)養成配付費、公魚卵配付費
山梨縣	淡水魚養殖獎勵費、樹苗配付費、蘭草加工傳習費
滋賀縣	苗木(柿)養成費、支那鮎購入費、副業的土產品生產改良費、真綿加工講習費、蔬菜加工講習費
岐阜縣	寒天製造獎勵費、蔬菜(守口大根)共同加工場設備補助費、鯉兒養成配付費、苗木(柿、栗、葡萄)養成配付費

長野 宮城 福島 岩手 青森 山形 秋田 福井 石川 富山 島取

土產品製作講習費、凍豆腐教師招聘費、桑皮生產販賣獎勵補助費、苗木(柿、杏、胡桃)育成配付補助費、
 家兎生產販賣獎勵費、茴香生產販賣獎勵費
 竹細工傳習會開設費、溫泉利用促成蔬菜栽培獎勵費、羊毛加工獎勵費、苗木養成配付費
 蒟蒻製粉共同設備補助費、羊毛加工傳習器具機械購入補助費、硝子光球傳習生派遣費、種兔配付費、支
 那蚪養殖費、苗木(柿、胡桃、梅)配付費
 苗木養成配付費、養魚獎勵費、養蜂獎勵費、溫泉利用促成蔬菜栽培獎勵費
 竹細工獎勵費、養兔獎勵費、種苗(柿、梅、杏)配付費、藥草栽培獎勵費
 草履表付傳習費、種苗(梅、柿)配付費、草履表販賣斡旋費
 苗木(洞)養成配付費、屑繭整理獎勵費、割箸製造傳習費、生絹製織獎勵費、草履表獎勵費、養兔獎勵費、
 養鯉獎勵費
 杞柳製品改良增殖獎勵費、藍及藍製品改良增殖費、苗木(柿、梅、桐、栗)養成配付費、鯉苗購入配付獎勵
 費、布帛加工獎勵費
 野草庭獎勵費、菌業獎勵費、種苗(胡桃、栗、鯉兒)養成配付費
 苗木(栗、柿、梅)養成配付費、藥草栽培獎勵補助費、木工獎勵費
 鱒苗購入配付費、苗木(柿、梅、桐)養成配付費、草履表製作獎勵費、製紙改良增殖費

島根 岡山 廣島 山口 和歌山 德島 香川 愛媛 高知

和紙傳習費、木工傳習費、棕櫚晒葉及同表傳習生派遣費、屑繭整理傳習費、苗木育成配付費、支那蚪購
 入配付費、鯉苗配付費
 蒟蒻製粉設備補助費、椎茸傳習及種子用枡木購入配付費、夢稗真田燻蒸設備補助費、花蘆燻蒸設備補助費
 苗木(梅、柿、無花果、枇杷、柑橘)購入配付補助費、蒟蒻製粉共同設備補助費、凍豆腐製造共同設備補助
 費、竹製品技術者養成補助費
 竹細工獎勵費、藍製品傳習並菌苗購入配付費、經木細工傳習費、公魚種卵配付費、苗木(柿、栗)養成配付
 費、副業組合設置獎勵費
 醋酸石灰獎勵費、棕櫚表獎勵費、木箸製造講習費、漬物講習費、苗木(肉桂、棕櫚、梅、栗、柿)養成配付費、
 羊齒細工講習費
 漬物傳習費、竹細工傳習費、杞柳加工傳習費、棕櫚繩製造傳習費
 木工傳習費、苗木(オリーブ樹)育成配付費、支那蚪購入配付費、養鯉獎勵費、筍加工獎勵費、副業共同
 組織獎勵補助費、銘仙織傳習費
 芋莖及蘭栽培加工獎勵補助費、杞柳栽培及同加工獎勵費、竹細工傳習費、苗木(柿、桐)購入配付費
 副業品共同出荷作業所建設補助費、蒟蒻粉共同製粉所設置補助費、楮、三極、黃蜀葵栽培獎勵補助費、藍
 芋莖表製織購入補助費、淡水養魚獎勵補助費

福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖繩
屑繭整理講習費、傘骨製作獎勵費、支那蚌購入費、齒製品機械改良費、芋莖栽培試驗及機械購入費、製紙原料植物栽培獎勵費 竹細工獎勵費、椎茸栽培獎勵費、苗木(柑橘)養成配付費 楮増殖獎勵補助費、七島表組合設立及競技會補助費、苗木養成配付費、鯉兒配付獎勵費、副業組合設置獎勵補助費 蜀黍等製造獎勵費、羊毛加工獎勵費、團扇製造獎勵費、水產物加工獎勵費、苗木(桐、栗、胡桃)養成配付補助費 ナ シ	竹細工傳習補助費、温泉利用促成蔬菜溫床設備費、苗木(柑橘)養成配付費、公魚種卵購入配付補助費、筍栽培獎勵補助費、支那蚌購入配付補助費 芭蕉布獎勵補助費、熱帶植物利用獎勵費、バナナ優良種苗購入配付費					

諮問事項ニ對スル道府縣ノ書面答申ノ要領

諮問事項

管下ニ於テ特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スヘキ副業ノ種類及現狀竝現在及將來ノ獎勵施設

北海道

一、種類並現狀

藁細工、竹細工、杞柳栽培及細工、箒黍栽培及箒製作、麥稈細工、養鷄、牛乳及乳製品、綿羊並養豚ノ九種トス

(一) 藁細工 本道副業獎勵中最主要ナルモノニ屬シ從來特ニ之カ獎勵ニ力ヲ致セリト雖未タ其ノ販賣用ノモノハ大部分移入セラル現ニ大正十三年度ニ於ケル自家用品ハ百四萬三千九百二十圓餘ニ當ルモ販賣品ノ生産ハ僅ニ一萬六千七百八十七圓ナリ之ニ反シテ移入高ハ前年度大正十二年ニ於テ九百三十五萬一千八百四十三圓ニ達セリ

(二) 竹細工 本道ニ於ケル竹材ハ根曲竹大部分ヲ占ム最近製品ノ優良ナルモノヲ出スニ至リシト雖其ノ生産額ハ未タ本道ノ需要額ニ遠ク自家用一萬七千五百八十八圓販賣用六萬四千七百八十八圓ニ過キサルニ對シ其ノ移入セラルモノハ八十一萬二千圓ニ及ヘリ然モ現在根曲竹ノ存生明カナルモノ御料林、國有林、其ノ他ノ官有林ヲ合セテ五百十五萬七千餘町歩有リ又最近膽振釧路ノ兩支廳管内ニ「スズ竹」ノ散生スルモノ約八百餘町歩發見セラレタリ

(三) 杞柳栽培及細工 明治十六七年頃ヨリ栽培セラレ現在耕作反別百四十餘町歩ニシテ多クハ原

料ノ儘販賣セララルニ過キス將來半製品ノ製作ヲ獎勵スルヲ適當トスヘシ

(四) 等黍栽培及等製作 大正六年以來栽培セラレ現在ノ作付反別九十二町五反耕作戸數九百七十二戸生産額自家用二千三百三十五圓販賣用三千六百圓從業者三百四十四戸ナリ之ニ對シテ移入額ハ尙約三十萬圓ニ上レリ

(五) 麥稈細工 雜穀包裝ノ検査總數五百七十四萬八千八百八十二個ニ對シテ以ノ使用二百二十三萬九千二百二十二個ニシテ其ノ三割九分ニ相當シ將來燕麥稈俵包裝ヲ以テ之ニ充當スルトキハ大ナル利益アルヘシ

(六) 養鶏 現在副業的ニ飼育スルモノ十一萬三千三百十三戸羽數百八萬六千十二羽產卵數五千二百六十一萬八千六百四十五顆總價額二百九十九萬九千三百三十四圓ニシテ農家戸數三十三萬五千九百九十四戸ニ比シテ尙獎勵ノ餘地アリ

(七) 牛乳及乳製品 近時畜牛ノ產額激增シ現在乳牛頭數六千六百八十頭價格百三十餘萬圓ニ當ル

(八) 綿羊 本道ニ於ケル飼羊成績ハ逐年著シキ發展ヲ示シ最近ノ統計ニ依レハ三千八十四頭ヲ算シ之ヲ十箇年前ニ比スルニ十倍ノ増加ヲ示シ最近四箇年間ノ一頭平均收毛量ハ八・三六斤ニシテ漸次良好ナル成績ヲ示シツツアリ

(九) 養豚 最近ノ飼育數二萬五千五百頭飼育戸數一萬二百四十二戸ニシテ大正十二年ノ屠殺數二萬一千八百五十四頭ナリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 講習、講話、器具機械ノ共同購入、品評會及競技會等ニ關シテ指導並補助ヲ爲ス外販路調査並道產品使用獎勵ニ努ム將來ハ現在行ヒツツアル産業調査ヲ基本トシテ道產品ノ使用及販路ノ圓滑ヲ期スル爲巡回展覽會及即賣會ヲ開催セントス

(二) 葉細工 特ニ補助金ヲ交付シテ共同葉打設備ヲ獎勵ス尙將來其ノ品質ヲ向上セシメ商品ノ統一ヲ圖ル爲特ニ品質ノ検査ニ關スル設備ヲナサントス

(三) 養鶏 孵卵器及育雛器ノ購入費ニ對シテ補助金ヲ交付ス今後ハ鶏肉鶏卵ノ荷造費及優良種禽種卵ノ購入費ニ對シテ補助金ヲ交付セントス

(四) 牛乳及乳製品 牛乳分離器ノ購入費ニ對シテ特ニ補助金ヲ交付ス將來製酪器具購入製酪場設置及飼料共同調製ニ對シテ補助ヲナサントス

(五) 綿羊 從來紡毛機ヲ設備スルモノニ對シテハ補助金ヲ交付シタリ將來綿羊組合聯合會ヲ設置シテ紡毛機ヲ設備セシメ以テ簡易羊毛加工業ヲ行ハシムル爲相當助成スル所アラントス

(六) 養豚 現在ノ種豚ノ拂下及養豚組合ノ設置ノ外將來飼料共同調製及鹽豚輸送販出ニ對シテ補

助金ヲ交付セントス

東 京 府

一、種類並現狀

- (一) 花卉、庭園及街路用樹木ノ栽培 (二) 促成栽培及ヒ温室栽培 (三) 農村副業工藝 (四) 家庭手工藝 (五) 農産加工ノ五種トス
- (一) 花卉並庭園及街路用樹木ノ栽培、地質ノ關係上府下栽培ノモノ最ヨク適應セルノミナラズ空地利用ノ副業トシテ頗ル有利ナリ殊ニ震災後ノ東京市ニ於ケル需要ハ益増加スヘキ見込ナリ
- (二) 促成栽培及温室栽培 大正九年以降年々増加ノ趨向ニ在リ
- (三) 農村副業工藝 大正十三年度ニ於テ始テ之カ講習ヲ行ヒ爾後其ノ成績良好ナリ主トシテ假面及刳物ノ類ナリ
- (四) 家庭手工藝 近來農村ノ婦女カ閑ヲ利用シテ自家用及販賣用トシテ漸次之カ製作ヲ試ムルニ至レリ
- (五) 農産加工 漬物ヲ以テ最ナルモノトス就中澤庵漬ハ著名ニシテ其ノ産額五十萬樽ニ及ブ

二、現在及將來ノ獎勵施設

- (一) 講習、講話會若ハ品評會ヲ開催シテ指導獎勵ス將來モ引續キコノ方面ニ補助金ヲ交付セントス
- (二) 框新設者ニ對シテ補助金ヲ交付ス尙將來別ニ簡易ナル温室ノ普及ヲ計ル爲其ノ建設費ノ補助若ハ技術ノ講習ヲナサントス

京 都 府

一、種類並現狀

- 藻製品、養鶏、竹製品、疊表、製紙、屑繭整理、木炭、淡水魚ノ増殖、土産品製作、空地利用ノ十種トス
- (一) 藻製品 本製品中販賣用繩類ハ見込消費量約二百數十萬貫ニ對シテ其ノ生産量六十萬貫ニ過キス只近時丹後沿岸ニ於テハ漁網用繩ノ需要頓ニ増加シ年々數十萬貫ノ消費ヲ爲スカ故ニ沿海各村ニ於テ盛ニ組合ヲ組織シテ製繩ニ従事スルモノ多キヲ加フルニ至レリ又苳類ハ綴喜郡相樂郡ノ二郡其ノ主要生産地ニシテ其ノ産額二百五十萬枚ニ達シ府下生産額ノ大部分ヲ占ム大阪市場ニ販出セラル

- (二) 養鶏 經營者年々増加シ現在生鶏三十二萬四千羽、鶏卵十七萬貫餘其ノ價額百二十萬圓ニ達スト雖府下消費額ハ三百五十萬圓ニ上レリ
- (三) 竹製品 本府ハ竹材頗ル豊富ニシテ販路關係亦良好ナルカ故ニ竹細工ノ製作ハ蓋シ最適ナリ現在製品ノ主ナルモノハ竹籠、箒、箒、簾等ニシテ府下總生産額七十萬圓中副業生産額ハ二十萬圓ナリ
- (四) 疊表 現在斯業ニ從事シツツアルハ船井郡ノミニシテ年産額十萬圓ナリ藪質強靱ナルヲ特色トス
- (五) 製紙 府下生産ノ和紙ハ全部生産ニシテ何鹿、加佐、與謝、熊野ノ各郡ノ一部ニ産ス年産額十五萬圓ナリ
- (六) 屑繭整理 府下兩丹地方ハ養蠶最盛ニシテ同功繭二十四萬貫、屑繭六萬貫、總計三十萬貫ナリ現在眞綿十三萬圓、座繰絲三十二萬圓、玉絲四萬圓ノ産額アリ
- (七) 木炭 府下山村唯一ノ副業ニシテ年産額二百五十萬圓ニ達ス從來北桑田郡、船井郡、天田郡、愛宕郡ノ諸郡盛ニシテ郡同業組合ヲ設置シ製品ノ統一ヲ圖リツツアリ
- (八) 淡水魚ノ増殖 京都市ニ於ケル淡水魚ノ需要頗ル多ク年々三百萬圓ノ消費アリ全國各地ヨリ移入セラル而シテ現在本府ニ於テ行ハルモノハ養鯉ナリ府下各郡中南桑田船井兩郡ハ古キ歴史

ヲ有シ最盛ニシテ年五六萬圓ノ收益アリ

- (九) 土產品製作 本府ニ於ケル遊覽客ハ頗ル多ク京都市ニ於ケルモノヲ除キテモ尙五百萬人ニ達シ之カ土產品ノ販賣高約百二十萬圓ナリ然ルニ各地ニ於ケル土產品ハ主トシテ食糧品及繪葉書ニシテ細工物類ニ至テハ殆ト見ルヘキモノナシ
- (十) 空地利用 府下山城地方ニハ茶園及果樹園兩丹地方ニハ桑園甚多ク其ノ他ノ荒廢畑ヲ合スレハ一萬數千町步ニ達スルニ拘ラス從來ハ僅ニ果樹園ノ間作トシテ薙、土當歸ノ栽培アルノミニシテ他ハ殆ト顧ラレサルノ狀況ニ在リ

二、現在及將來ノ獎勵施設

- (一) 原料、機具、機械ノ共同購入生産品ノ共同販賣並生産増加品質統一ニ關スル獎勵施設ニ對シテ獎勵金ヲ交付ス將來モ亦一方共同組織ノ獎勵ヲ爲スト共ニ上記ノ獎勵ヲ繼續セントス
- (二) 養魚 鯉苗ヲ配付シテ稻田養鯉ヲ獎勵シ各河川池沼ニ鮎、鰻、鮭、公魚、鯉等ノ種苗ヲ放流セントス
- (三) 土產品 土產品研究所ヲ設置シ主トシテ木竹製品ニ付各地適當ナル物品意匠等ヲ研究シ且又販賣ノ斡旋ヲナサシメントス
- (四) 空地利用 薙及蒔蒔ヲ桑園茶園等ノ間作トシテ栽培セシメ干柿及柿澁ノ製造販賣ヲ獎勵セン

大 阪 府

一、種類並現状

養鶏、養豚、養魚、山葵ノ栽培、椎茸栽培、蒟蒻栽培、花卉栽培、硝子玉製造、割箸製造、真綿製造、製繩製蒾、素麵製造、葡萄酒製造、漬物、製炭

(一) 養鶏 最盛ナルハ東成郡ニシテ北河内郡、三島郡、南河内郡之ニ次キ府下總數ハ五十五萬羽ナリ之ニ對シテ大阪市ニ於ケル一箇年ノ鶏肉ノ消費量約七十萬羽ニシテ堺岸和田市並郡部ノ消費量ヲ合算スルトキハ三百萬羽ニ及ヒ卵ノ消費ニ至リテハ實ニ莫大ナル數量ニ達ス而モ之カ需要ハ益増加ノ傾向ヲ示シ年々多額ノ輸入ヲ見ルノ狀況ナリ

(二) 養豚 關西地方ニ於テハ從來習慣上豚肉ハ牛肉ニ比シテ其ノ需要少ク從テ其ノ飼養頭數モ少カリシカ獎勵ノ結果漸次増加シ最近一萬頭ニ達セリ然ルニ本年九月頃突然豚コレラ病發生シ著シク其ノ頭數ヲ減シ爲ニ養豚家ヲシテ危懼ノ念ヲ抱カシムルニ至レリ依テ之カ撲滅及豫防ノ必要緊切ナリ

(三) 養魚 府下泉北郡、南河内郡、中河内郡及北河内郡ニ於テハ溜池ヲ利用シ養鯉養鮒ノ業盛

ニシテ年産額十萬貫ニ達ス而シテ大阪市内ニ於ケル一箇年ノ消費量ハ二十萬貫ニシテ主トシテ和歌山、靜岡、三重ノ諸縣ヨリ移入セラル然ルニ鯉鮒ノ價格ノ最騰貴スルハ七八月頃ニシテ而モコノ時期ハ生魚ノ運搬困難ナル爲入荷少キヲ以テ此ノ期ヲ利用スルヲ適當トナスヘシ

(四) 山葵ノ栽培 大阪市ニ於テ消費セラルル山葵ノ全部ハ他府縣ヨリ移入セラレ而モ之カ消費ハ逐年増加ノ趨向ナリ而シテ府下ニ於ケル之カ栽培ノ適地ハ今日ニ至ルマテ發見スルニ至ラザリシカ最近ニ至リ豊能郡清溪村ニ於テ栽培ヲ試ミタルニ其ノ成績良好ニシテ漸次發達ノ曙光ヲ得タリ

(五) 椎茸栽培 三島郡、豊能郡ノ山間部ニ於テハ從來多少栽培セラレツツアルモ産額極メテ少ク其ノ栽培方法モ亦幼稚ナリ市場ニ於ケル椎茸ノ價格近時次第ニ騰貴シ盛ニ海外ニ輸出セララルル狀況ヨリ見テ一層獎勵ノ必要アルヘシ

(六) 蒟蒻ノ栽培 南河内郡ノ一部ニ果樹園ノ間作トシテ僅ニ栽培セララルルニ過キス

(七) 花卉栽培 大阪市内東成區長居村中河内郡中高安村豊能郡池田地方ニ於テハ古クヨリ花卉栽培盛ニシテ年産額數十萬圓ニ達シ主トシテ夏菊、秋菊、金仙花、撫子、石竹、鶏頭、芍藥、アマメ、菖蒲、ダリア、コスモス等ノ類ナリ

(八) 硝子玉製造 年額八百萬圓ノ輸出ヲ爲シツツアル摸造真珠生地玉ハ其ノ大部分ハ府下泉北郡ヨリ生産セラレ一日ノ工賃三圓以上ニ達スルモノ尠カラズ而シテ之カ海外ニ於ケル需要ハ今後益

増加ノ趨勢ニアレトモ唯本邦産摸造眞珠ハ其ノ品質劣惡ニシテ價格頗ル低廉ナルヲ以テ品質ノ改良ヲ計ルヲ急務トス

(九) 割箸製造 南河内郡泉南郡兩地方ノ林業地ニ於テハ杉材ノ廢材頗ル多ク之等ハ從來殆ト只燃料ニ供セラレタリ昨年度始テ割箸製造ヲ獎勵シタルカ其ノ成績良好ニシテ現在之カ製造ニ從事スルモノ三十戸ニシテ漸次増加ノ模様ナリ

(一〇) 眞綿製造 現在玉屑繭ハ殆ト無價值同様ニ取扱ハレツツアルヲ以テ之カ利用ヲ講スルノ必要アリ

(一一) 製繩製造ノ獎勵 豊能郡、三島郡並北河内郡ノ一部ニ於テハ從來相當ノ生産アレトモ南河内郡、中河内郡、泉南郡地方ニ於テハ甚振ハス大部分燃料トシテ使用セララルル慣習アリ

(一二) 素麵製造 北河内郡津田村地方ニ於テハ古クヨリ副業的素麵ノ製造盛ニシテ其ノ製造戸數百三十戸年額十二萬圓餘ニ達シ其ノ品質モ頗ル優良ニシテ賣行良好ナリ

(一三) 葡萄ジャム製造 府下ニ於ケル葡萄栽培ハ近時急激ニ増加シ其ノ栽培面積四百五十町歩年産額百六十萬貫餘中河内郡、南河内郡等有望ナリ併シ乍ラ生果ノ市場ニ於ケル價格ハ頗ル低廉ニシテ多少生産過剩ノ傾向アリ

(一四) 漬物 府下ニ於ケル澤庵ハ其ノ品質風味共ニ改良ヲ要スヘキモノ尠カラス又三島郡三島

富田村及溝昨村地方ニ於テ産額相當多キ越瓜ハ極メテ安價ニ夏菜トシテ販賣シツツアルヲ以テ之カ粕漬ヲ獎勵スルヲ可トスヘシ

(一五) 製炭 三島豊能兩郡ニ於テ年百萬圓以上ノ産額アリ之等ハ何レモ黒炭ナレトモ大阪市ニ於ケル需要ハ白炭遙ニ黒炭ヲ凌駕セリ此ノ他尙原料豊富ナル泉南郡、泉北郡及南河内郡ノ如キハ未タ製炭方法ヲモ知ラサル状態ニアリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 本府ニ於テハ未タ副業共同組織ノ設立ヲ見ルニ至ラス一般當業者ハ原料ノ購入及生産物ノ販賣ニ幾多ノ不便ヲ感スルノミナラス利益ノ大部分ハ中間商人ニヨリテ壟斷セラレツツアル現状ナレハコノ設立緊切ナルモノアリ依テ將來副業獎勵ヲ目的トスル産業組合、實行組合、出荷組合其ノ他副業獎勵上適當ト認ムル組合ヲ設立シタルモノニ對シテハ獎勵金ヲ交付セントス

(二) 養鶏並養豚 獎勵金ヲ交付シテ委託種付場ヲ設置セシメ飼料ノ共同購入ヲ勵行セシメツツアレトモ今後更ニ府ニ於テ委託種付場ヲ設置セントス其ノ他尙養鶏ニ於テハ現在ノ種卵無償配付ヲ繼續シ養豚ニ付テハ現在豚肉料理ノ講習會ヲ催シテ其ノ料理方法ノ普及ニ努メツツアレトモ今後ハ牡豚ノ去勢技術ヲ習得セシメテ肥育ヲ獎勵セントス

(三) 養魚並山葵、椎茸、蒟蒻及花卉ノ栽培 何レモ現在ニ於テハ何等施設ナキヲ以テ將來講師ヲ

招聘シテ實地指導ニ當ラシムルト共ニ種苗又ハ種薯ノ無償配付ヲナサントス尙花卉ニ付テハヒヤ
 シンス、チューリップノ種薯ヲ無償配付セントス
 (四) 硝子玉製造、割箸製造、眞綿製造並漬物 硝子玉製造ヲ除キテ講習會ヲ開催シツツアルモ將
 來一層製造方法ヲ會得セシメ品質ノ改良ヲ圖ル爲尙之ヲ繼續セントス
 (五) 製繩及製蒔、素麵製造、葡萄ジャム製造並製炭 現在獎勵施設ナキヲ以テ將來製造機械ヲ購
 入シテ製造ニ從事セントスルモノニ對シテ Hansonノ設備費又ハ器具費ノ補助金ヲ交付セントス

神奈川縣

一、種類及現狀

種類	産額	分布	仕向地	現況將來ノ見込
一、農産加工品	二、〇〇〇 ^円	三浦郡、高座郡	横濱、横須賀	現在ハ主ニ自家用ナルモ將來ハ産額増 加販出ノ見込
味噌	七八、〇〇〇	三浦郡、中郡、橋樹郡	横濱、横須賀	同
醬油	一五、四五〇	高座郡	東京、横濱	同
澤庵漬	七〇〇	高座郡	藤澤町	同

種類	産額	分布	仕向地	現況將來ノ見込
梅干漬	四九〇、〇〇〇	足柄上郡、橋樹郡、中郡	京濱、北海道	同
味噌漬其ノ他	五三、〇〇〇	足柄下郡、三浦郡	東京、横濱	同
甘藷切干	二、〇〇〇	高座郡	縣内、横濱	同
干采	六〇〇	高座郡	縣内	同
干柿	一、五〇〇	中郡、足柄上郡	縣内	同
凍豆腐	二二、〇〇〇	橋樹郡	京濱	同
凍麩	一、八〇〇	足柄上郡	縣内	概テ販賣用
素麵	四八、〇〇〇	都筑郡、高座郡、足柄下郡	縣内、横濱	自家用及販賣用 販賣用ヲ主トシ又産額ハ漸次増加ノ見 込
二、林産物	二、二〇〇	足柄上郡、愛甲郡、三浦郡	小田原、横濱	獎勵ノ結果漸次増加シツツアリ
山蓼	一五、〇〇〇	高座郡、愛甲郡、都筑郡	東京、横濱、小田原	同
山蓼	四六、〇〇〇	津久井郡、足柄上郡	縣内	同
石炭	二五、〇〇〇	鎌倉郡、都筑郡	横濱、東京	産額増加ノ見込
竹炭	二四、〇〇〇	中郡、足柄上郡	京濱	同
竹筴	二二、〇〇〇	高座郡、都筑郡、橋樹郡	京濱	同
木炭	一、〇〇〇、〇〇〇	足柄上郡、愛甲郡	縣内、東京	同
炭俵	一、〇〇〇	津久井郡、足柄下郡	縣内	同
楊子	一、〇〇〇	愛甲郡	東京	同
サ	三〇〇	都筑郡	横濱	同

吐月峯	ワウ竹、パイフ	竹箕	經木	三、畜産	豚及鶏卵	蜂産蜜	四、水産	乾海苔	和布	鹿尾菜	鹽辛	煮干	五、蒸程細工並眞綿	總	建	債	菘
一、三〇〇	二五、〇〇〇	七、〇〇〇	二、二〇〇	五五五、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	一、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一二一、〇〇〇	六五、〇〇〇		
足柄下郡	足柄上郡、足柄下郡	足柄上郡	津久井郡	中郡、高座郡、都筑郡 鎌倉郡	中郡、高座郡、三浦郡	足柄上郡、足柄下郡	橋樹郡、久良岐郡、三浦郡、足柄下郡、鎌倉郡	足柄下郡、三浦郡	足柄下郡、三浦郡	三浦郡、中郡、高座郡	足柄下郡、高座郡、愛甲郡	足柄下郡、高座郡、愛甲郡	都筑郡、高座郡	中郡、高座郡	橋樹郡、都筑郡		
京濱	東京	縣内	縣内、八王子	横濱、横須賀、東京	京濱	京濱	京濱	小田原、横須賀、京濱	縣内	東京	東京	京濱	縣内、東京	東京、横濱			
産額増加ノ見込	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

注	蓆	瓶	眞	六、手工藝	ハテンレース	刺繡及ミシン刺	裁縫	絹結	麻	封筒	袋貼	木製玩具類
五、〇〇〇	三、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	九五〇、〇〇〇	九五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一〇五、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七一〇、〇〇〇
橋樹郡	愛甲郡	鎌倉郡、都筑郡	愛甲郡、高座郡	横濱、小田原	横濱、小田原	横濱、横須賀	高座郡、足柄下郡	横濱市	横濱市	横濱市、橋樹郡	橋樹郡、中郡	足柄下郡、中郡
京濱、小田原	縣内、東京、静岡	縣内、東京、静岡	縣内、東京、静岡	東京、歐米	東京、歐米	縣内	内地、支那、朝鮮	内地	京濱	縣内	縣内	縣内
同	同	同	同	現在ハ輸出不振ノタメ産額増加セス	同	同	有望	同	同	同	同	同

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 農産製造 現在ハ味噌醬油ノ釀造漬物其ノ他蔬菜果實類ノ加工等ノ家庭的農産製造ニ關スル講演會ヲ開催シ或ハ生産販賣ニ關スル共同施設ヲナシタル團體ニ對シ技術者ヲ派遣シテ實地指導ヲナシ又ハ獎勵金ヲ交付シツツアレトモ將來ハ更ニ京濱間ニ需用最多キ漬物類ニツキ優良品ノ産

出ヲ指導獎勵セントス

四四

(二) 葉稈細工 現在ハ繩、蕙、繻苞、メ飾、等其ノ他杞柳細工、桑皮採收等ノ生産ニ關スル傳習會ヲ開催シ又ハ製品ノ改良統一及共同販賣ニ關スル計畫ヲナス團體ニ對シ技術者ヲ派遣シテ實地指導ヲナシ又ハ獎勵金ヲ交付シツツアレ共尙未タ獎勵ノ及ハサル瓶苞、繩網、苔、簀等ニモ今後ハ技術ノ傳習ト製品ノ改良統一トヲ圖リ生産額ノ増加ヲ圖ラントス

(三) 屑繭加工 現在ハ眞綿及眞綿加工品ノ製作ニ關スル傳習會ヲ開催シ又ハ生産販賣ニ關スル共同事業ヲ爲ス團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ニ於テハ獎勵ヲナス箇所ヲ増加シ生産額ノ増加ヲ圖リ併テ製品ノ改良統一ヲ圖リ販路ヲ擴張セントス

(四) 養豚、養鶏 現在ハ仔豚ノ養成配付種付ノ斡旋豚舍ノ改良及生産物ノ加工又ハ生産物ノ販賣並飼料ノ共同購入等ニ關スル事業ヲ爲ス團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ獎勵事項中豚ニハ豚舍ノ改良ト販賣、鶏ニハ共同育雛ト生産物ノ販賣ニ關シ更ニ一層ノ獎勵ヲ加ヘ副業収入増加ノ目的ヲ達成セントス

(五) 製炭改良 現在ハ實地指導教師ヲ招聘シテ各地ヲ巡回指導セシメ且山林會郡市町村農會其ノ他ノ團體ニ於テ製炭改良ニ關スル傳習會ヲ開催シ又ハ改良製炭窯其ノ他木炭貯藏所等ノ共同設備

ヲ爲シ或ハ木炭ノ品質俵裝ノ改良統一検査施行販賣斡旋等ヲナス團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアリ尙將來ハ縣山林會ヲシテ製炭改良計畫ヲ爲サシメ管下ノ共同組織ニヨリ生産品ノ検査ヲ施行シ改良品ノ増殖ヲ圖リ販賣上ノ施設ヲ爲サシメ尙粉炭ノ利用法ヲモ講セシメントス

(六) 山葵栽培 現在ハ實地指導教師ヲ招聘シテ各地ヲ巡回指導セシメ且山葵田ノ改良開墾ヲナス團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共尙將來ハ縣山林會ヲシテ第二期ノ計畫ニハ販賣上ノ施設ヲ爲サシメントス

(七) 釣鈎製作 現在ハ講習會ヲ開催シ又ハ器具材料等ノ共同購入製品ノ共同販賣等ヲ爲ス團體ニ對シテ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ傳習會ノ箇所ヲ増加シ速ニ技術ヲ普及スルノ方法ヲ講シ共同組織ヲシテ材料ノ購入、製品ノ統一、販賣ノ斡旋ヲ行ハシメントス

(八) 食用蛙養殖 從來ハ之カ養殖場ヲ設置シテ經濟上ノ諸種ノ試験ヲナシツツアリシカ大震災ノ爲全滅セシヲ以テ之カ復舊ヲ圖リ親蛙ノ配付又ハ仔蛙ノ飼育ニ至ルマテ第一期ノ計畫トシテ其ノ設備ヲ繼續施行シ次ニ利用及販賣ニ關スル水面利用ノ副業収入ニ屬スル第二期計畫ニ移ラントス

四五

(九) 水産製造 現在ハ鹿尾菜、墨鱈、和布、薩摩揚、鯉鱒詰等ノ水産製造ニ關スル講習會傳習會等ヲ開催シ且製品ノ統一及販賣上適當ナル施設ヲナス團體ニ對シ技術員ヲ派遣シ又ハ獎勵金ヲ交付シツツアレ共尙將來ハ更ニ適當ナル事項ヲ加ヘ現在ノ施設ヲ擴張スルト同時ニ製品ノ統一改良ヲ圖リ第三期ニハ販賣施設ヲ完ウセントス

(一〇) 家庭製作品 家庭副業トシテ適當ナルミシン裁縫、刺繡、編物其ノ他布帛加工、土産品製作等ノ講習會ヲ開催シ又ハ生産販賣上ノ計畫ヲ樹テタル團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ從來ノ施設以外農漁村ニ適當スル編網、織物、編物、裁縫等ノ家庭的副業ヲ選擇獎勵シ技術ノ普及ト統一多産ヲ獎勵シ第二次ニ販賣ノ上ニ一段ノ施設ヲナサントス

(十一) 木竹加工 現在ハ講習會傳習會ヲ開催シ又ハ生産販賣上ノ計畫ヲ樹テタル團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ更ニ箆籠類、杞柳細工、木製玩具ナトノ農村美術製品中ヨリ適當ノモノヲ選擇シ材料ノ豊富ナル農村ニ此ノ技術ノ普及ヲ圖リ偏ク廢物ノ利用ヲ圖ラシメ第二期ニハ製作品ノ統一多産ト販賣ノ施設ヲナサントス

(十二) 貝細工 現在ハ講習會ヲ開催シテ技術ノ改善ヲ爲スト同時ニ新ニ貝細工ノ指導者タルハキモノヲ養成シ又ハ生産販賣ニ關スル共同團體ヲ組織セル場合之ニ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ

三箇年ニ一回位ノ講習會ヲ開キ時勢ノ進運ニ適スル精良品ヲ製作セシメントス就中意匠、圖案、塗料、彫刻、組ミ立等ニ付テハ一層ノ改良ヲ加ヘシムル計畫ナリ

以上ノ外尙緊急ニ獎勵施設ヲナスノ必要アリト認ムルモノ次ノ如シ

トマト其ノ他農産品ノ加工

淡水魚類ノ養殖

鯉ノ加工

漁具ノ製作

麻真田ノ原料加工

タヲルノ製造

一、トマト其ノ他ノ農産加工 生果ノ儘貯藏スルコト能ハサルモノニシテ現時近隣ノ大都市ニ需用最多キトマト、筍、青豆、栗實等ノ如キハ出盛期ニ於テハ常ニ其ノ價格暴落シ農家ハ未タ加工ノ途ヲ知ラサルカ爲ニ大ナル損失ヲ蒙ムレルヲ遺憾トセリ

故ニ是等ノ生産地ニ於テ之レカ加工(罐詰、瓶詰)ノ技術ヲ授ケ生果販賣ノ不利ナル場合ニ於テハ何時ニテモ共同的組織ニヨリ之カ加工ヲナシ置キ以テ市場價ノ調節ヲ圖リ農村勞力ノ利用ト副業收入ノ増

加ヲ計ラシメントス

四八

二、淡水魚類ノ養殖 鯉、泥鰌、公魚、金魚、鰻(食用蛙モ含ム)等ハ東京及横濱等ノ大市街ニ多量ノ需用アルモ本縣ハ其ノ生産少キ爲多ク他府縣ヨリノ移入ニ待チツツアルノ現状ナルヲ以テ此ノ際養殖ノ具體的計畫ヲ立ツルコト次ノ如シ

(イ) 親魚(鯉、金魚)親蛙ノ飼養ト産卵孵化トハ主ニ縣水産試験場ニ其ノ設備ヲ爲サシメ之ニ依リ孵化シタル

(ロ) 鯉兒ハ農家ニ配付シ稻田又ハ溜池ニ飼養セシム尙成長シタル

(ハ) 二年生ノ鯉兒ハ之ヲ流水式又ハ池飼ノ種魚トナス

(ニ) 金魚ハ適當ノ場所ヘ魚苗ヲ配付飼養セシメ

(ホ) 公魚ハ蘆ノ湖其ノ他適當ノ溜池ニ飼養シ

(ヘ) 泥鰌ハ適當ノ場所ヲ選ミ模範的ノ飼養法ヲ示シ漸次之ヲ擴張シ農家ニ飼養セシム

(ト) 鰻ハ本縣獨特ノ蒲鉾製造ナトノ廢物ヲ利用シテ餌料トナシ共同飼養ヲ爲サシム

(チ) 食用蛙ハ養殖所ニ於テ孵化シタル仔蛙(又ハ親蛙)ヲ適當ノ所ニ飼養セシムルノ外適當ノ地域

ヲ限リ放育シ或期間ヲ限リ隨意捕獲セシムルモノトス

(リ) 前記ノ各生産物ハ主ニ縣水産會ヲシテ斡旋販賣セシム

(三) 鰻ノ加工 三浦半島並鎌倉、高座、中、足柄下郡ノ沿岸ニ群寄スル各種ノ鰻ハ往々豐漁ニ際シ其處分ニ苦シム爲時ニ漁獲ヲ見合ハスルコトサヘアリ此場合ニ處スル爲罐詰ノ技術ヲ授ケ置キ何時ニテモ共同組織ノ活動ト婦女子老幼ノ勞力ノ利用トニヨリ安價ナル大量生産ヲ市場ニ供給スルノ方法ヲ計畫セントス

(四) 漁具ノ製作 漁具中繕絲ノ其製品ヲ他府縣ニ仰キ天蠶糸(ラグス)ハ大阪方面ヨリ高價ニ仕入ヲナスノ現状ナルカ故ニ時ニ漁業者ハ須要ノ釣具ヲ調製スルニ困難ナルコトアル憾ミアリ故ニ繕絲ノ製造ト天蠶絲ノ精製法ヲ傳習セシメ進ンテハ鮪壺、沈子等ノ製作改善ニ至ルマテ漁業者ノ便宜ヲ圖リ一方勞力ノ餘剩ヲ利用シテ副業收入ヲ得セシメントス

(五) 麻真田ノ原料加工 横濱市外ニ於ケル準農村ノ副業ナルモ震災後真田工場ノ被害ハ甚大ニシテ復舊頗ル困難ヲ極メ其生産未タ震災前ノ二、三割ニ過キス從ツテ此工場ニ提供スル麻真田原料ノ加工モ非常ニ少ク之カ振興ヲ圖ラントスルニハ從業者ノ共同組織ヲ助成シ機械ノ貸付ト半加工品

ノ幹旋機關ノ助成ニアリ

(六) タヲルノ製造 温泉地、遊覽地等ノ土産品トシテ需用最多キ各種ノタヲルハ之ヲ大阪東京名古屋方面ヨリ移入セルヲ以テ比較的高價ナリ之ヲ温泉地附近農家婦女子ノ餘剩勞力ヲ以テ家庭小工業トシテ製作セシムルトキハ漂白ニ經費ヲ要セサルト手間賃ノ比較的低價ナルトヲ以テ優ニ大生産ノモノニ競争シ得ルノ成算アリ故ニ家庭副業トシテ最モ有望ナルヲ以テ之ヲ計畫獎勵セントス

兵 庫 縣

一、種類及現狀

藁工品、竹製品、蘭製品、杞柳製品、製茶、木炭、屑繭整理、養鶏、養豚、水産ニ關スル副業、原始的農産ニ關スル副業及杜氏養成ノ十二種トス

(一) 藁工品 本縣ニ於ケル年産額約五百七十一萬圓ニシテ管下四百二十數箇町村ノ内年産額五千圓以上ノモノ百四十一箇町村ニ及ヒ其ノ三割三分ヲ占メ縣内加工副業ノ大宗タリ近時諸工業ノ發展ニ伴ヒ需要増加ノ傾向アルモ一方他府縣ノ生産益々盛ントナリシヲ以テ本縣ニ於ケル生産ノ増加ハ多少ノ困難ヲ感スヘシ

(二) 竹製品 年産額ハ約二十萬圓ニシテソノ種類ハ竹籠竹等箕其ノ他日用品類ナリ之等ノモノハ概ネ局部的ニ行ハレ廣ク一般ニ獎勵ヲ爲スコト至難ノ事情アレトモ技術上ニ於テハ尙改善ヲ要スヘキモノ多々アリ

(三) 蘭製品 原料生産ノ地域大ナラサルモ年産額約六十萬圓ニ達シ從業戸數一千百餘戸從業人員一千二百餘人ヲ算ス元來原料ノ主生産地タル加西出石兩郡ノ蘭草栽培ハ頗ル幼稚ニシテ良品ヲ産セス栽培面積モ漸次減少セリ依テ大正十一年度以來之カ栽培ノ改良ヲ獎勵スルト共ニ疊表製法ノ改善ヲ促シタル結果栽培面積頓ニ増加シ製品ノ改良亦好成绩ヲ示スニ至レリ

(四) 杞柳製品 年産額約五十萬圓海外貿易ノ不振ト生産費不廉ノ爲海外ニ輸出セラルルモノ甚タ少ク殆ト内地向ニ止マルモ産地ニ於テハ最モ重要ナル副業ニシテ之カ原料ハ産地ノモノノミヲ以テハ之ヲ充ス能ハス縣外ヨリ大量ノ移入ヲ見ツツアル狀況ナリ

(五) 製茶 本縣ノ茶ハ氣候風土ノ關係上出廻期一般ニ遅レ産額モ亦多カラサルヲ以テ市場ニ於テ優越ノ地位ヲ占ムルコト能ハスト雖栽培地域三郡ニ跨リ年産額約三十萬圓ニ達ス然レトモ製品ノ廉ナルト賃銀ノ高キタメ栽培ニ力ヲ致サス目下一部製茶機ノ共同使用ニヨリテ辛シテ現狀ヲ維持シツツアル有様ナリ

(六) 木炭 管下ノ見込消費量ハ一箇年約三千萬貫ニシテ本縣生産高ノ約倍數ニ當リ此ノ中家庭用約二千萬貫工業用約千萬貫ナリ但馬及播磨地方ノ殆ト總テノ山村ニ於テ産出セラルルモ其ノ製炭法ニハ種々ノ缺點アルヲ以テ大正四年以來銳意之カ改良ニカヲ注キタル結果相當ノ效果ヲ舉タルコトヲ得タリ

(七) 屑繭整理 屑繭生産價額約三千餘萬圓從來何等加工上ノ獎勵指導ヲ行ハサリシタメ原料ノ大部分ハ地方仲買人ニ買占メラルル有様ナリシモ大正十二年度ヨリ屑繭整理ノ改善ニ著手シ獎勵指導ヲ加ヘタル結果成績年々良好ナリ

(八) 養鶏 年産額約六百二十萬圓ニシテ一村數千圓以上ニ達スルモノ尠カラス近時當業者ニ於テ進テ改良ヲ爲スモノ多ク且出荷組合ノ獎勵ニ刺戟サレテ漸次共同經營ヲナス傾向アリ

(九) 養豚 往年一部ニ於テ多少ノ生産ヲ見タルモ中途不振ニ陥リタリ然ルニ近時又勃興シ各地之レカ飼育ヲ爲スモノ大ニ増加シタレトモ需給ノ關係上生肉販賣ノミヲ以テシテハ經營困難ノ狀況ニ在リ

(一〇) 養魚 約一萬町歩ノ灌漑溜池ヲ有スルモ之ヲ養魚ニ利用スルモノ極メテ少シ

(一一) 原始的農産 蔬菜果實類ハ分布相當ニ廣ク且阪神市場ニ近接セル關係上將來發達ノ餘地多シ現在ハ栽培ノ技術概シテ幼稚ニシテ販賣施設備ハラサルタメ未タ以テ盛ンナリト謂フコトヲ得

サルモ年産額ハ約六百五十萬圓ニ達シ近時益改良ノ緒ニ就キツツアリ而シテ主ナルモノハ明石郡ノ大根有馬郡ノ薯蕷蕃茄武庫郡ノ毒明石郡外七郡ニ互ル西瓜佐甲郡ノ蒟蒻津名郡ノ枇杷及ヒ川邊郡ノ栗等ナリ

(一二) 杜氏養成 本縣ヲ通シテ一萬五千人ニ達シ冬期農閑ヲ利用シテ縣内外ニ出稼スルモノニシテ毎年各居村ニ持歸ル賃銀ハ莫大ナルモノアリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 本年度ヨリ各種副業ノ發達ヲ圖ラム爲メ共同團體組織ノ實現ヲ期シ補助規定ヲ定メテ獎勵セムトス

(二) 現在施行シツツアル各種副業ノ調査ヲ續行シ又便宜上副業ヲ山間部平垣部沿海地帯及市街地ニ於ケルモノノ各區域ニ分チ更ニ又普遍的ニ行ハレ得ヘキモノト局部的ノモノトニ區別シ地方ノ狀況ヲ考查シ講習講話實地指導或改良器具器械使用等ノ普及ニ努メムトス

(三) 業工品 荏刈ノ製品ニ關スル統一機關トシテ從來ヨリ一郡區域ノ同業組合ヲ組織シ健全ナル發達ヲ見ツツアレトモ繩ニ付テハ製品區々ニシテ販賣上ノ不利不便尠カラズ依テ適當ノ方法ヲ以テ製品ノ統一ト改善ヲ期セムトス

(四) 養魚 水産試驗場ノ事業トシテ管下神崎郡山田村ニ養魚場ヲ設置シ鯉兒ノ配付ヲ爲シツツア

レトモ將來ハ水面及稻田ヲ利用シテ各種淡水魚ノ養殖ヲ獎勵セムトス

長崎縣

一、種類及現狀

養鶏、藁細工、杞柳栽培及加工、氷豆腐、製茶、屑繭整理、養豚、特用樹林及ヒ木炭ノ九種

(一) 養鶏 本縣副業中最モ樞要ナル地位ヲ占メ廣ク一般ニ普及シ農家經濟ノ融和ニ多大ノ效果ヲ收メツツアリ本年三月末日ノ調査ニ依ルニ其ノ飼養戸數ハ八萬五千七百二十戸(農家戸數ノ八割)ニシテ之カ飼養數ハ雞三十六萬二千五百六十二羽ニシテ成鶏三十九萬四千四百五十羽(一戸平均四・六羽)産卵數二千二百五十七萬七千四百五十一個之ヲ大正九年ノ統計ニ比較スルニ飼養戸數ニ於テ四千一百三十戸飼養羽數雞二萬九千五百八十八成鶏二萬八千七百一十一羽産卵個數ニ於テ十一萬二千九百十五個ノ増加ヲ見ル然レトモ養鶏及鶏卵ノ需要ハ益々増加シテ供給之ニ伴ハス年々多額ノ卵肉ヲ他縣及上海方面ニ仰キツツアリ

(二) 藁細工 縣下農村ニ最モ廣ク行ハルル副業ハ藁細工ニシテ産額百四十餘萬圓ニ達スレトモ縣下繩蒔類ハ長崎佐世保ノ都市及各所ノ炭礦竝特ニ漁場ニ要スル漁具用繩及魚類其ノ他海産物ノ加工用又ハ包装用蒔類ノ需要ハ極メテ多ク年々佐賀福岡其ノ他ノ地方ヨリ移入スル量尠カラサル狀

能ナリ

(三) 杞柳栽培及加工 本縣ノ氣候風土ニ能ク適シ大正八年度以降獎勵ノ結果漸次栽培面積及製品産額増加シ現在栽培ハ南高來郡ヲ主トシ西彼杵北高來及南松浦ノ各郡ニ至リ其ノ面積七十七町歩ナリ又製品ハ南高來郡北有馬村南有馬村及南松浦郡富江町ニ於テ生産セラレ産額六萬九千圓(大正十三年度)ニ達ス九州各縣ニ於テハ本製品産額少ク需要頗ル多キヲ以テ將來有望視セラレツツアリ

(四) 氷豆腐 縣下ニ於テハ只南高來郡溫泉岳ノ中腹ニ生産セラルルノミナリ縣内ニ於ケル需要ヲ主トシ福岡熊本佐賀及阪神地方ニ多少販出セラル製造ニ從事スルモノ百七十戸餘其ノ生産額十萬圓内外ナリ製造方法區々ニシテ製品統一ヲ缺キ又原料購入及販賣方法ニ付キ改善ヲ要スヘキモノ尠カラス

(五) 製茶 茶畑反別四百三十町歩年産額六萬五千貫價額二十六萬五千圓ニシテ主ナル産地ハ東彼杵郡(二百五十町歩)ナリ而シテ縣内消費數量ハ十六萬五千貫價額九十一萬圓ニシテ六十萬圓以上ノ製茶ハ他府縣ヨリ移入シツツアリ然レトモ縣下東彼杵郡北高來郡等ハ風土之カ栽培ニ適シ從來彼杵茶ノ名アリ近時斯業ハ副業トシテ頗ル有望視セラルルニ至リ之カ増殖改善ノ氣運ヲ示シツツアリ

(六) 屠鹵整理 逐年發達著シク大正十三年度ニ於テ產鹵額五十九萬貫價額五百五十萬圓ニシテ玉鹵屠鹵合計七萬貫價額二十七萬餘圓其ノ多クハ原料ノ儘低廉ニ他府縣ニ販賣セラレ又甚シキハ屠鹵物類ヲ廢物視シテ顧ミサル地方アリ、現在生産額ハ座繰絲千二百貫價額十一萬二千圓、玉絲四百五十貫價額二萬六千圓、真綿五百八十貫價額二萬二千圓合計十六萬餘圓ニシテ真綿ノ如キハ年々縣外ヨリ移入セラルルモノ數十萬圓ノ巨額ニ達ス

(七) 養豚 本縣ニ於テハ既ニ明治初年豚肉ノ加工業ヲ始メタル事實アリ現在ノ飼養戸數三千八百二十八戸飼養頭數八千三百三十九頭年産額頭數九千八百五十三頭ニ達シ農漁村副業トシテ極メテ重要ノモノタリ而シテ豚肉ノ加工業モ盛ンニシテ其生産額毎年ハム十二萬封度、ベーコン一萬五千封度ニ及ヒ生豚ノ需要頗ル多ク從テ生豚トシテ他府縣ニ移出セラルルハ極メテ僅少ナリ

(八) 特用樹林 本縣下ニハ到ル處椿、山茶花及密等ノ生育ニ適シ殊ニ椿ハ全國産額ノ過半ニ及ヒ現在ノ天然分布見込面積ハ椿三百町步主トシテ南松浦郡(五島)壹岐郡ニ多ク山茶花五十町步主トシテ東彼杵郡北高來郡ニ在リ密ハ五百町步ニシテ專ラ南松浦郡ニ在リ其ノ生産額八年ニ依リ豊凶アリト雖椿實四千二百七十八石、價額十八萬七千八百六十七圓、山茶花實四百五十石、價額一萬二千五百八十圓、密實(茴香)三十萬斤價額二萬圓ニ達シ椿實及山茶花實ハ各生産地及長崎市ニ於テ製油シ工業用及化粧用トシテ大阪、京都、東京地方ニ販出セラレ年平均約九百五十石、價額

二十八萬七千八百三十四圓ニ達シ密實ハ子實ノ儘ニ茴香ノ原料トシテ專ラ支那上海方面ニ輸出セラレツツアリ

(九) 木炭 山林地帯ニ於ケル農家ノ最樞要ナル副業ニシテ其ノ生産額年四百五十五萬貫價額百十五萬圓内外ニシテ本縣一箇年消費量ノ約四割乃至五割ハ尙鹿兒島、宮崎、熊本地方ヨリ移入セラレツツアリ而カモ漸次炭材ノ缺乏ヲ來シ木炭ノ主要生産地タル對馬島モ今ヤ累年生産減ヲ示シツツアリ又製炭法ニ於テモ收容率及品質ニ付テ改良ヲ要スヘキモノ多シ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 現在ハ組合ヲ組織セシメ以テ原料若クハ機械ノ共同購入及ヒ生産物ノ共同販賣等ヲ實施セシムル外講習、講話會、練習會若クハ共進會、競技會等ノ開催ニ對シテ獎勵金ヲ交付シツツアリ將來モ之レヲ繼續セントス

(二) 現在ハ組合ヲ利用シテ貯金ヲ爲サシメツツアルモ將來一層之ヲ獎勵セントス

(三) 養鶏及養豚ニ於テハ特ニ販賣斡旋所ヲ設ケ取引ノ安全ヲ圖リ養鶏ニ付テハ優良鶏種ヲ普及セシムル爲メ地方ノ熱心ナル養鶏家ニ補助金ヲ交付シテ委託種禽場ヲ設置セムトス

(四) 屠鹵整理ニ付テハ特ニ技術員ヲ設置シ其ノ效果頗ル顯著ナルヲ以テ更ニ之ヲ増加セムトス

(五) 本縣特用樹林ハ自然生ノモノ多ク放任荒廢ノ結果結實量ノ損失多大ナルヲ以テ縣山林會ニ指

定事業トシテ補助金ヲ交付シ之カ保存改善及増殖ヲ爲サシメツツアリ今後モ亦之ヲ繼續セムトス

新 潟 縣

一、種類及現狀

竹工品、杞柳及杞柳製品、蔬菜及果實ノ漬物並罐詰、花卉球根ノ四種トス

(一) 竹工品 産額六拾九萬壹千四百六拾五圓、販賣額四拾八萬八千九百七拾七圓、其中著色品二拾萬圓、普通品四拾九萬壹千四百六拾五圓ナリ而シテ著色品ノ主ナルモノハ花籠、衣裳入、文庫、紙屑籠、團扇置等ニシテ普通品ハ箒、買物籠、箕、籠類、行李及ヒ簾等トス現在ノ組合數二十四其人員一千五百五十人ナリ

(二) 杞柳及其ノ製品 栽培面積四十町産額黒茅十二萬貫價格二萬四千圓ニシテ製品ハ産額十四萬二千五百九十五圓、内行李八萬八千六十五圓、バスケット五萬四千五百三十圓ナリ栽培ハ主トシテ三島郡與板町及其附近ニシテ信濃川沿岸ノ冠水地ニ多ク其ノ製作ハ又與板町ニシテ主ナル製作戸數四十九戸ナレトモ殆ト全町ノ婦女子ヲ擧ケテ從事シ居レリ
本縣ノ杞柳ノ栽培ハ明治四十年試植セラレタルニ始リシカ大正十年ニ至ルマテハ多ク黒茅ノ儘岐

阜又ハ長野縣地方ノ商人ニ賣却同地ニ於テ自製トセラレ更ニ當縣ニ移入セラレル状態ニ在リテ其ノ不利尠カラサルヲ以テ其後組合ノ組織ヲ獎勵スルニ至リシモ未タ充分ノ成績ヲ擧クルニ至ラス

(三) 蔬菜、果實ノ漬物及罐詰 本縣ノ畑地ハ七萬餘町歩ニシテ殊ニ信阿兩川ノ沿岸附近ハ蔬菜ノ栽培ニ好適ニシテ優良ナルモノヲ産スルノミナラス近年蔬菜、果實副業組合ノ設立ニ伴ヒ年々其ノ産額ヲ増大シ主要ナルモノ即チ大根、牛蒡、人蔘、胡瓜、茄子、葱、里芋等ノ販賣三百萬圓ヲ超エ動モスレハ生産過剩ノ傾向ヲ來シ貯藏ニ堪エサルモノノ如キハ盛産期ニ於テ暴落シ漬物專業者ヲシテ徒ニ利益ヲ得セシムルニ過キササル状態ニ在リ又桃ノ如キモ其ノ栽培面積三百町歩ニシテ七十萬貫ノ産出アルニ拘ハラズ其ノ熟期ノ略々均シキ關係上其ノ時期ニ於テ暴落ヲ免レサルノ狀況ニ在リ

(四) 花卉球根 球根類ニ於テヒヤシンス、グラジオラス等アルモ最好適ナルモノハチウリツブニシテ最多ク栽培セラレ栽培反別九町三反歩、球根見込産額二百七十九萬球、見込價額十二萬六千七十二圓ニシテ販賣見込數量ハ其ノ半額ニ相當ス又花卉類ハ牡丹ヲ主トシ其ノ生産數一萬五千本價格四萬五千圓ニシテ花卉種子ハ五十餘種アレトモ現在栽培面積多キモノハベチニヤ、コスモス、ルコー草、百日草、パンジー等十餘種其ノ總栽培面積百五十町歩生産額六萬圓ナリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

- (一) 竹工品 從來講習及ヒ教師ノ養成ニカメ來リシカ將來特ニ著色品ノ製作ニ就キ有力ナル組合ヲ設立シ以テ共同製作工場、仕上工場及販賣所ヲ設置シ其他見本品ノ配付及金融ノ利便ヲ與ヘムトス
- (二) 杞柳及其ノ製品 講習、講話等ニ依リ獎勵ヲ加ヘタリト雖未タ栽培ヲ促進セシムルニ至ラサルカ故ニ今後ハ適地ヲ調査、杞柳苗ノ養成配付、開墾及自製販賣組合並加工組合ノ設立ニ對シテ助成スル所アラムトス
- (三) 蔬菜、果實ノ漬物及罐詰 從來殆ト具體的獎勵施設ナキモ將來ニ於テ園藝加工品販賣組合ヲ設立シテ簡易加工場ヲ設置シ以テ製造及貯藏ヲ爲サシメ又講習會ヲ開催シ指導教師ヲ常置セムトス
- (四) 花卉球根 從來球根類ニ就テ大正十二年、中蒲原郡球根協會ヲ設立シ其ノ共進會開催等ニ助成シ來リシカ將來特ニ見本園及試驗圃ヲ設ケ指導検査員ヲ設置シ販賣組合ノ設立ヲ助成セムトス

埼玉縣

一、種類及現狀

- 蔬菜、花卉、工藝作物、養豚、養鶏、養魚、菓細工、竹細工、杞柳細工、木炭、製紙、製茶、屑繭整理、染色及農産加工ノ十五種トス
- (一) 蔬菜 年産額一千三十萬圓以上ニ達シ縣下一般ニ栽培セラルルモ就中北足立、南埼玉、入間、北葛飾ノ諸郡最盛ンナリ
 - (二) 花卉 近時都市ノ需要増加ト共ニ益有望トナレリ
 - (三) 工藝作物 年産額六十二萬三千圓ニ達シ殊ニ蒟蒻、杞柳、蘭、七島蘭並蜀黍等ノ栽培加工ハ甚タ有利ナリ
 - (四) 養豚 縣下ニ普及シ盛ニ飼育セラルルモ最モ盛ナルハ入間、大里兩郡ニシテ北足立、兒玉、南埼玉ノ諸郡之ニ次キ年産額ハ十七萬圓以上ニ達ス
 - (五) 養鶏 本縣ニ於ケル主要副業ニシテ普ク縣下ニ行ハルルモ北足立、入間、北埼玉、南埼玉、大里、北葛飾ノ諸郡最盛ナリ、年産額生鶏百四十三萬八千圓、鶏卵二百四十四萬八千圓ノ多キニ達ス
 - (六) 養魚 縣下各都市ニ互リ池沼、溜池等ノ養魚適地多ク其面積二千二百九十九町歩ニ達シ尙六萬七千八百三十八町歩ノ稻田アリ其他ノ條件斯業ノ經營ニ頗ル好適ナレトモ其産額微々タルノ狀

況ニアリ

六二

- (七) 葉細工 水稻作付反別ハ六萬七千町歩ニ及ヒ斯業ハ主要副業トシテ縣下ニ普ク年産額百五十萬圓ニ達セリ
- (八) 竹細工 北足立、入間、大里、兒玉竝秩父ノ諸郡ニ互リ竹林ノ栽培盛ニシテ之カ製品ノ産額年四十一萬圓ニ及フ
- (九) 杞柳細工 杞柳ノ栽培ハ近年著シク發達シ十一萬圓ノ産出アレトモ杞柳細工モ亦其増加ニ伴ヒ川越市ヲ中心トシテ次第ニ發達シ年産額十四萬五千圓ニ達ス製品ハ行李ヲ第一トナシバスケット類之ニ次ク
- (一〇) 木炭 山岳部ニ於ケル副業ノ主要ナルモノニシテ年産額二百二十七萬七千圓ニ達ス
- (一一) 製紙 比企、秩父、大里ノ諸郡ニ行ハレ就中比企郡小川町附近ニ盛ナリ年産額百三十三萬二千圓ニ達ス
- (一二) 製茶 本縣ノ風土茶ノ栽培ニ好適スルヲ以テ縣下到ル處ニ栽培セラレ製品ハ所謂狭山茶ト稱セラル入間郡ヲ主産地トシ北足立郡、南埼玉、比企郡等之ニ次ク年産額百七十一萬八千圓ニシテ主要生産品タリ
- (一三) 屑繭整理 生絹ノ生産額ハ七百五萬圓、原料玉絲ノ年産額ハ五十萬圓而シテ眞綿ノ年産額ハ四萬三十圓ナリ
- (一四) 染色 本縣ハ生絹及白木綿ノ生産多ケレトモ之ヲ利用シ絞リ染、更紗染等ノ加工ヲ爲スモノ未タ尠シ
- (一五) 農産加工 蔬菜ハ穀物ニ次ク本縣重要農産物ナレトモ需給關係ニヨリ價格ニ甚シキ騰落アリテ屢々豫期ノ收益ヲ擧クルコトヲ得ス

二、現在及將來ノ施設

- (一) 講習會 工藝作物、養魚、竹細工、杞柳細工、木炭及農産加工ニ付テ講習會ヲ開催シツツアリ
- (二) 技術員、製紙及製茶ニ於テハ技術員ヲ設置シテ之カ指導獎勵ニ當ラシメツツアリ
- (三) 蔬菜ニ付テハ軟化、抑制、促成栽培等ノ獎勵ヲ繼續セムトス
- (四) 工藝作物 本年度ニ於テハ七島蘭加工器ノ購入助成ヲ行ハントス
- (五) 養鶏 本縣農會ニ於テ明治四十年年度以來優良種禽ノ飼養蕃殖ヲ行ヒ種禽、種卵ノ配付ヲ爲シツツアリ
- (六) 養魚 大正十二年度ヨリ鯉苗ノ配付ヲ行ヒツツアリ
- (七) 葉細工 本年度ニ於テ足踏式製莖機ヲ購入セムトス

六三

群馬縣

一、種類及現狀

蒟蒻加工、農産加工、蔬菜果實ノ加工、生絹、眞綿、養鶏、養豚、稻田養鯉並溜池養鯉、木炭、山葵、木製品、竹製品、宅地利用ノ十三種トナス

(一) 蒟蒻加工 作付面積七百六十二町步總收量百四十八萬貫、價額二百三十七萬圓ニシテ逐年増加ノ傾向アルモ多クハ生玉ヲ以テ販賣スル狀況ニ在リ

(二) 農産加工 本縣ニ於テハ醬油九萬石、味噌約七十五萬貫ヲ生産スルモ未タ消費量ヲ充ス能ハス多額ノ移入ヲナシツツアリ而シテ農家製造ノ醬油ノ如キハ一萬石内外ニスギス又本縣ノ乾餛飩ノ如キハ生産百三十六萬圓ニ及フモ大部分再ヒ農村ニ於テ消費セラルル狀況ニ在リ

(三) 蔬菜、果實ノ加工 本縣ノ蔬菜、果實類ノ年産額八百八十七萬圓ニシテ尙一面栽培獎勵ニ努ムルノ結果其ノ生産額ハ逐年増加ノ傾向アルモ之カ加工製品ニ在リテハ極メテ僅少ナリ、依テ生産過剩又ハ出荷困難等ノ場合ニ於ケル處理方法ヲ講スルノ必要アリ

(四) 生絹 本縣ノ年産額ハ二百八十餘萬圓ニシテ急激ニ増加ノ傾向ヲ示シ其ノ製絲機械ノ技術モ近時著シク改良進歩ノ跡ヲ認ムルモ一面養蠶業ノ發達ニ伴ヒ之カ副産物トシテ生スル屑繭ニ對シ

利用厚生ノ途ヲ講スルコト最モ緊切ナルモノアリ

(五) 眞綿 本縣ニ於ケル眞綿及之カ加工品ノ年産額ハ約八十餘萬圓ニ達スルモ其ノ大部分ハ專業的製品ナリ副業的ノモノハ戸數二萬九百戸、數量五千貫、價額二十萬圓ナレトモ其ノ製法統一ヲ缺キ品質亦劣等ナルヲ免レス

(六) 養鶏 現在數三十六萬五千三百七十九羽、農家一戸當リ三・二二羽ニシテ近時頗ル順調ニ發達シ來レリト雖モ尙年々數十萬圓ノ卵肉ヲ縣外ニ仰キツツアリ從ツテ卵肉ノ價格亦他府縣ニ比シ常ニ高價ナリ

(七) 養豚 現在總數二萬二千四百三十頭ニシテ農家一戸當リ〇・一九八頭ナリ現時豚價下落セリト雖モ本縣ニ於ケル養豚ノ狀勢ハ何等影響ヲ受クルコトナク順調ノ成績ヲ以テ進展シ養豚組合ノ如キモ百一ノ多數ニ上ルニ至レリ

(八) 稻田養鯉並溜池養鯉 縣下水田三萬三千町步ノ中斯業ニ利用スルモノ僅々二町一反步、溜池ハ百四十萬坪ニシテ總漁獲高一萬貫價額二萬五千圓ニ過キス然ルニ年々ノ需要ハ益々増加スルノ狀勢ニ在リ

(九) 木炭 年産額一千三百餘萬貫、價額六百萬圓ニシテ其ノ八割餘ハ白炭ナリ而シテ製炭方法ハ在來ノ舊式窯ニ依レルヲ以テ歩止リヲ減シ産額ニ於テ損失甚シク原料林缺乏ノ現狀ニ鑑ミ考慮ス

（キ）點多シ

六六

(一〇) 山葵 縣下各地ニ適地多ク需要又盛ナルニ拘ラス從來栽培方法極メテ幼稚ニシテ其ノ多クハ葉山葵ヲ作ルニ過キサリ状態ニシテ優良ナル山葵ハ極メテ少ク從テ其ノ收益モ三千圓内外ニシテ他ハ大部分静岡方面ヨリ移入シツツアリ

(一一) 木製品 年産額ハ約百五十七萬圓ニ達スルモ其ノ過半ハ履物、指物ノ類ニシテ多クハ專業的生産ニ係リ副業的の生産品ハ約四十八萬圓ナリ而シテ著名温泉地ニ販賣セララル玩具、細工物等ノ大部分ハ他府縣ヨリ移入セララルモノニシテ本縣産ハ僅カニ一割内外ニ過キサリナリ蓋シ從來原料タル雜木ノ利用ハ殆ト木炭ノ製造ニノミ限ラレ加工及意匠方面幼稚ナルニ依レリ

(一二) 竹製品 本縣竹材ノ産額ハ十一萬五千餘束(價額十三萬七千餘圓)ニシテ内九萬三千餘束ハ陸運其ノ他ハ大部分水運ニテ他府縣ニ移出セララルモノニシテ加工的の製作品至テ尠ク農家日常必需品ノ如キモ概ネ他ニ之ヲ求ムルノ現状ニ在リ

(一三) 宅地利用(栗、柿其ノ他果樹ノ栽培) 本縣ハ之等ノ果樹ノ栽培ニ最モ好適ナルニ拘ラス其ノ生産額ハ漸ク二十餘萬圓ニシテ農家一戸當リ僅カニ二圓餘ニ過キス而モ品種雜駁、品質亦不良ニシテ之ヲ生果或ハ加工品トシテ他ニ移出スルニ當リテハ尙改良ノ餘地多シ

二、現在及將來ノ施設

- (一) 從來ヨリ講習會又ハ傳習會ヲ開催シテ新業ノ指導獎勵ヲ爲シツツアリ
- (二) 獎勵金ヲ交付シ以テ組合ノ組織其ノ他ノ共同施設ヲ益々獎勵助成セムトス
- (三) 蒟蒻加工 現在農事試驗場ニ於テ病害豫防ノ試驗研究ヲ繼續シ生産物ノ加工及販賣ニ對シ共同經營ヲ獎勵シ獎勵金ヲ交付シツツアリ將來ハ現在ノ收穫量ヲ培數ニ増加シ少クトモ其ノ三分ノ二ヲ生産者ニ加工セシムル目的ヲ以テ左ノ施設ヲ行ハムトス
 - (イ) 品種改良種蓄貯藏ニ付一層ノ改善研究ヲ行フコト
 - (ロ) 水車ヲ利用シ共同加工場ヲ設置シ之ニ對シ補助金ヲ交付スルコト
 - (ハ) 生産品ノ検査統一ヲ圖リ共同出荷ヲナサシムルコト
 - (ニ) 出荷ニ對シ販賣斡旋ヲ行フコト
- (四) 農産加工 本事業ハ時代ノ趨勢ニ伴ヒ急激ニ勃興シタルモノナルヲ以テ縣郡共ニ特別ナル獎勵施設ヲナセルモノナシ將來醬油ハ農家二戸ニ付一石ノ醸造ヲ行フ方針ヲ以テ五萬石ニ、味噌ハ二戸ニ付十五貫ヲ醸造シ七十五萬貫ニ、乾餛飩ハ餘剩原動力ヲ利用シ自給及加工シテ販賣スルノ程度ニ達セシムル爲左ノ施設ヲ行ハムトス
 - (イ) 醸造ニ要スル器具製麴ノ共同設備ヲ獎勵スルコト
 - (ロ) 製造ニ關スル試驗研究ノ設備ヲ完成シ指導員ノ養成ヲモ行フコト

六七

- (ハ) 共同ニ要スル機關器具設備ニ對シテハ相當ナル助成獎勵金ヲ交付スルコト
- (五) 蔬菜、果實ノ加工 大正十年度ヨリ甘藷其ノ他ノ蔬菜ニ付貯藏、漬方、罐詰其ノ他加工ヲ獎勵シ來レルカ本年度ニ於テハ之等加工ニ要スル器具ノ一部ヲ設備シ共同團體ニ貸與セムトス尙將來ニ於テハ
- (イ) 生産物ノ検査及形質ノ統一ヲ圖ルコト
- (ロ) 販賣斡旋機關ヲ設置シ販路擴張ヲ圖ルコト
- (ハ) 共同的設備費ニ對シテハ相當補助金交付ノ途ヲ講スルコト
- (六) 生絹 從來染色傳習會ヲ開設セルニ過キサレモ將來ニ於テハ次ノ施設ヲ講セムトス
- (イ) 手織機ヲ電動力機ニ改良シ生産能率ノ向上ヲ圖リ同時ニ品質ノ改善統一ヲ期ス
- (ロ) 指導員養成機關ヲ設置シ之カ指導ニ當ラシムルコト
- (七) 真綿 將來ニ於テ特ニ左ノ施設ヲ行ハムトス
- (イ) 相當ノ助成金ヲ交付シテ指導者ノ養成ヲナスコト
- (ロ) 共同作業場ノ設置ヲ獎勵スルコト
- (八) 養鶏 縣種畜場ニ於テ改良品種ノ普及ヲ圖ル爲種禽種卵ノ有償配布ヲ行ヒ本年度ヨリ卵肉共同出荷團體ニ對シ獎勵金ヲ交付シ販賣方法ノ改善助長ヲ圖ラムトス其ノ他將來ノ獎勵施設次ノ

如シ

- (イ) 優良種禽種卵ノ充實ヲ期スルコト
- (ロ) 卵肉貯藏法ノ研究實行及鶏肉加工
- (ハ) 去勢及肥育ノ普及獎勵
- (九) 養豚 縣ニ於テハ大正九年度ヨリ種畜場ヲ設ケ種豚ノ有償配布ニヨリ優良種ノ普及ヲ圖ルト共ニ各郡市農會及畜産組合ヲシテ之カ改良増殖ニ對スル施設ヲ行ハシメ自給肥料増殖方針ト相俟テ飼育ノ増加ヲ獎メツツアリ將來ニ於ケル施設次ノ如シ
- (イ) 優良種畜ノ充實及共濟ノ方法ヲ講スルコト
- (ロ) 種牡豚検査ヲ勵行シ蕃殖用以外ノモノハ之ヲ去勢スルコト
- (ハ) 豚肉加工調理法ヲ普及シ且ツ貯藏法ノ研究ヲ行フコト
- (ニ) 自家用屠殺ノ普及簡易屠殺場ノ設置
- (一〇) 稻田養鯉並溜池養鯉 大正十一年度ヨリ引續キ鯉兒ノ無償配布ヲ行ヒ本年度ハ特ニ鯉卵鯉魚ノ無償配布ヲ豫算ニ計上シ一面各郡市農會ヲシテ是ト相俟テ獎勵施設ヲ計畫實行セシメ飼養處理ノ普及徹底ヲ圖リツツアリ將來ニ於テハ水田利用面積ヲ一千町歩、溜池六十萬坪ニ増加シ三十萬圓ヲ舉クル豫定ニシテ特ニ縣内適當ノ箇所ニ親鯉飼育場ヲ設置シ種鯉ノ配給ヲ圓滿ナラシメム

- (一一) 木炭 將來ニ於テ特ニ獎勵セムトスル施設次ノ如シ
- (イ) 縣ニ專任製炭技術員ヲ設置シ改良指導ニ從事セシム
- (ロ) 品質ヲ統一スル爲縣下一圓ノ木炭同業組合ヲ組織セシメ大量取引ヲ行フコト
- (ハ) 木炭販賣業者ノ同業組合ヲ組織セシメ木炭ノ格付ヲ爲サシムルコト
- (一二) 山葵 從來栽培實地指導ヲ爲シ改良發達ヲ期シタリシモ大正十三年度ニ於テモ之ヲ開設シ山間ノ適地ハ漸次實行ニ著手スルノ状態ニシテ殊ニ温泉地多キ郡農會ニ對シテハ之カ改良施設ヲ勸奨シツツアリ尙將來ノ獎勵施設次ノ如シ
- (イ) 品種改良ヲ行ハシムルコト
- (ロ) 栽培法ノ實地指導ヲ行フコト
- (ハ) 共同施設ヲ獎勵シ共同販賣ヲ行ハシムルコト
- (ニ) 加工法ノ傳習會ヲ開設スルコト
- (一三) 木製品 大正十年度以降數箇所ニ主トシテ温泉地向土産物トシテ玩具、小細工物ノ製作傳習會ヲ開設シ大正十二年度ヨリハ簡易木工割箸製造傳習會ヲ併設スル等新生面ノ開拓ニ努メ大ニ一般ノ注意ヲ喚起シ以テ修得者ヲシテ組合ヲ組織セシメ著々其ノ效果ヲ舉ケツツアリ尙本年度ニ

於テ木工ニ要スル機械器具ヲ縣ニ設備シ木工組合ニ貸與シ益々其ノ助成ニ努メツツアリ將來ノ獎勵施設次ノ如シ

- (イ) 木材ノ著色塗工等ヲモ獎勵シ木材價值ノ増進ヲ圖ルコト
- (ロ) 副業傳習所ヲ常設シ指導者養成ト研究トニ當ラシムルコト
- (ハ) 共同作業所ヲ設置シ器具ノ完備ト餘剩動力ノ利用ニ依リ生産能率ノ増進ト製品ノ統一ヲ期スルコト
- (ニ) 共同施設ニ對シ獎勵金ヲ交付シ共同販賣及原料ノ共同購入ヲ行ハシムルコト
- (一四) 竹製品 大正十四年度以降毎年度各郡内數箇所ニ互リ竹細工傳習會ヲ開設シ主トシテ日用要具ノ製作方法竝ニ相當經驗アルモノニハ美術的細工及塗染法ヲ傳習セシメタルカ各地共成績優良ニシテ漸次之カ效果ヲ認メ大正十三年度ニ至ツテハ開設希望ノモノ多ク其ノ數二十有餘ニ及ヒ縣ノ開設セルモノ以外各郡町村農會ニ於テ自ラ開設セルモノアリ而シテ各地修得者ニ對シテハ共同團體ヲ組織セシメ製作品ノ共同販賣ヲ獎勵シ優良ナル團體ニ對シテハ獎勵金ヲ交付シ益々之カ普及發達ヲ圖リツツアリ尙將來ニ於テハ竹林ノ處理改善宅地利用等ニ依リ竹材ノ増殖ヲ圖リ竹材ヲ移出スル外加工品トシテノ利用ヲ獎勵シ其ノ他木製品ト同様ノ施設ヲ行ハムトス
- (一五) 宅地利用(栗、柿等) 大正十一年度ヨリ引續キ先進地ヨリ全國ニ於テ優良ト認メラルル中

本縣ニ適スル接穗品種ヲ蒐集シ縣下ノ樞要ノ地區數箇所ヲ選ヒ接木傳習會ヲ開設シ品種改良ト同時ニ栽培法ノ改良ヲ促シタル處大正十三年度ニ於テハ既ニ栗二萬二千本、柿一萬本ノ優良品種ノ移植普及ヲ見タリ次ニ大正十二年十月下旬ニ於テ縣下各郡市ヨリ從來其ノ地方ニ育成シ特ニ優良ト認ムル品種三百餘種ヲ蒐集シ査定會ヲ開キ特ニ優良ト認ムルモノニ對シテ更ニ原地ニ於ケル生育狀況其ノ他ノ特性ヲ調査シ以テ優良品種ヲ決定シ將來品種改良上之ヲ母木ト爲シ接木傳習會實施ノ際接穗ニ充當セシム其ノ數甘澁ヲ合セ縣下ニ於テ五十餘本ナリ尙縣種畜場內在來栗樹ニ優良品種ヲ接木シ將來母木トナス計畫ニシテ其數百餘本ナリ將來ノ獎勵施設次ノ如シ

- (イ) 農事試驗場ニ於テ優良種苗ヲ養成シ有償配布ヲ行フコト
- (ロ) 母木ノ選定及保護ヲ行フコト
- (ハ) 接木傳習會ニ依リ品種改良ノ普及ト栽培ノ改善ヲ圖ルコト
- (ニ) 加工傳習會ヲ開催シ之カ普及ヲ圖ルコト
- (ホ) 共同施設ニ依リ共同販賣ヲ行フコト

千葉縣

一、種類及現狀

農産關係ノモノニ付テハ鱒魚製造及葉細工、蔬菜加工、工藝原料作物ノ栽培及加工、花卉類及促成栽培、屑繭加工ノ五種、林産關係ノモノニ付テハ竹細工、製炭、椎茸栽培ノ三種、水産關係ニ付テハ水産加工竝ニ養魚ノ二種、畜産關係ニ付テハ養鶏竝ニ養豚ノ二種、雜工業ニ付テハ土產品竝ニ籐表ノ二種、其ノ他漁網類ニシテ總計十五種トナス

甲、農産關係

(一) 鱒魚製造 木縣畑總面積九萬町步中從來麥ノ作付面積六七萬町步ナリシカ麥作收入減ノ爲ニ大正十二年ニハ五萬七千町步トナリ十三年ニハ更ニ約八千町步ノ激減ヲ來シ現在ニ於テハ一般他ニ代ハルヘキ作物ナキ爲止ムヲ得ス栽培シツツアル状態ニシテ不作地又ハ植林地ト爲スモノ尠カラス此ニ於テ一方從來廢物視セラレタル麥稈ノ利用ニヨリ收益ヲ得ムトスルモノ漸ク増加シ鱒魚ノ製造ニ於テハ年産額三萬圓ノ生産ヲ見ルニ至レリ加之本縣ハ販路ニ於テ頗ル有利ノ地位ニ在ルヲ以テ其ノ生産漸次増加ノ傾向ナリ唯未タ優良ナル機械普及セス主トシテ手編ニ依ル結果能率低ク收入一般ニ少シ

(二) 葉細工 本縣葉細工業ハ原料豊富(水稻作付段別十萬餘町步)販路亦有利ニシテ斯業發展上良好ナル條件ヲ具備スルニ拘ラス葉ノ利用率ハ未タ二割強ニ過キス

(イ) 叭蒞 年産額七百萬枚京濱市場ヲ獨占シツツアルモ粗製濫造ノ弊ヲ生シ漸次聲價ヲ失墜

スルニ至リ又中間商人ニヨリテ利益ヲ壟斷セラルル所多ク生産者ノ蒙ル不利益尠カラサルモノアリ最近當業者モ自覺シテ共同販賣等ヲ實行スルモノ増加シ地方間屋亦之レヲ歡迎シテ相互ノ利益ヲ收ムルニ至リシト雖モ尙一層共同事業ノ普及ヲ圖ルト共ニ現在ノ小團體ヲ糾合シテ大規模團體ヲ組織セシムルト同時ニ中間商人ヲ排シテ直接消費者ト取引ヲ爲スコト緊切ナリ

(ロ) 苳類 年産額百萬枚價格二十一萬圓縣内消費ヲ主トシ別ニ多少ノ移出アリ斯業カ尙發展スルニ至ラサルハ使用機械舊式ニシテ能率低ク生産費比較的高價ナルノミナラス纏リタル生産ナキニ因レリ

(ハ) 細 年産額百二十萬貫價格二十三萬圓縣内消費ヲ主トス苳類ト同様京濱市場等有利ナル販路ヲ有スルニ拘ラス移出額ノ少キハ技術ノ幼稚及葉打ノ不備ニ因ル製品ノ不良ナリシ結果ナルモ近時漸ク技術向上シ販路モ次第ニ擴張セラレツツアリ

(三) 蔬菜加工 從來生産物ト販路ノ關係上原始的生産ヲ偏重シ加工事業發達セサリシ爲生産ノ過剩價格ノ下落等ニ際シ不測ノ損失ヲ蒙ルコト多ク殊ニ生産最モ盛ナル甘藷及蘿蔔ニ於テ然リトス

(イ) 甘藷加工 甘藷作付面積一萬六千町步生産額一千四百萬貫ニ達スルモ其ノ大部分ハ食用

トシテ其ノ儘販賣シ一部ヲ澱粉原料トシテ賣却スルノ外僅カニ甘藷切干ノ生産アルノミニシテ價格ノ變動ノ爲甚シク不利ヲ蒙ルコトアリ而モ尙栽培ノ衰ヘサルハ耕地面積ト勞力並ニ土質等ノ關係上他ニ適當ナル作物ナキニ因ルモノニシテ之カ收益ノ増加ハ本縣農家ノ重要ナル問題ナリ而シテ甘藷ノ加工業トシテハ適當ナルモノハ澱粉製造及甘藷切干製造トス

(1) 澱粉製造 現在從業戶數二百二十、年産額百三十萬貫、原料ノ使用高僅ニ全産額ノ一割五分ニ過キス而モ殆ト全ク專業ナリ將來原料生産者ヲシテ共同製造ヲ實行セシメ需要者(主トシテ製飴業者)ト直接取引ヲ爲スノ方策ヲ講スルノ要アリ

(2) 甘藷切干ノ製造 本縣ハ從來甘藷切干ノ大消費地ナリシト生産及販賣上極メテ有利ナル地位ニ在リシ結果之カ獎勵ニ依リ年産額五萬貫價格三萬圓ニ上リ漸次普及ヲ見ルニ至レルモ其ノ製造ノ設備不完全ノ爲生産費嵩ミ生産尙増加セス相當ノ資金ヲ以テ改良ヲ爲スコトハ最モ必要ナリ

(ロ) 蘿蔔加工 作付面積二千數百町步栽培技術ノ向上ニ依リ優良品ノ生産増加セルモ販路ノ關係上收益少キ地方尠カラス從來ノ加工ハ大根切干及澤庵漬等ニシテ大根切干ハ年産額十三萬貫ニシテ相當普及セルモ販路及需要ノ關係上寧ろ澤庵漬ノ獎勵ヲ有利トス澤庵漬ハ年産額六萬六千貫價額三萬五千圓ニシテ未タ自家用ニ過キス又縣内ノ移入額モ尠カラス今後縣内ハ

勿論廣ク京濱地方ニ供給スルヲ以テ有利ナリト認ム

(四) 工藝原料作物ノ栽培並ニ加工 本縣農業ハ概シテ普通作物特ニ穀作ニ偏シ特用作物ノ生産額ハ僅カニ普通作物ノ一割餘ニスキス本縣農業收益ノ少キ現状ニ鑑ミ此種作物ノ栽培及加工ノ獎勵ハ最モ必要トス主ナルモノハ蜀黍等製造、苧苳及杞柳、製茶及蒟蒻栽培並加工ノ四種トス

(イ) 蜀黍等製造 作付反別ハ三百町歩生産額四萬貫ナレトモ等ノ生産ハ僅ニ七千本價格三千圓ニ過キスシテ從來ハ原料ノ儘盛ニ他府縣ニ移出セリ

(ロ) 苧苳及杞柳

(1) 苧苳 作付反別約三十町歩主トシテ水害又ハ旱害ヲ受ケ易キ田畑ヲ利用シ其ノ他海岸地ニ栽培セラル何レモ頗ル好成绩ヲ擧ケツツアルモ僅カニ一地方ニ過キスシテ未タ一般ニ普及セス而シテ生産高ハ疊表トシテ十二萬枚價額十萬圓ニシテ之ヲ縣内消費高年約四十萬枚ニ比較スレハ其ノ三分ノ一ニ達セス

(2) 杞柳 未タ作付段別少キモ各地ニ於テ優良ナル成績ヲ擧ケツツアリ其ノ栽培ニ利用セラレヘキ土地多キモ之ニ關スル智識乏シキ爲普及困難ノ狀況ニ在リ

(ハ) 製茶 作付段別七百町歩主トシテ傾斜地又ハ作物ニ對スル防風防砂用トシテ畑ノ周圍ニ

栽植ス年産額九萬貫價格五十萬圓全國ニ於ケル主産地ナルモ尙縣内消費ノ半ニ達セス而シテ其ノ生産ハ何レモ小規模ナル副業的生産ニシテ從業戶數三萬現在發展ノ氣運ニ向ヒツツアリ

(ニ) 蒟蒻栽培並加工 本縣産蒟蒻ハ品質優良ニシテ名産地トシテ知ラレタルカ製粉業ノ發達セサリシ結果販路ヲ失ヒ産額著シク減少セリ現在作付面積約四十町歩産額十二萬貫ニ過キサルモ近時之カ増殖ヲ圖ルモノ著シク増加スル趨勢ナリ

(五) 花卉類及促成蔬菜類栽培 促成栽培ハ安房郡ヲ生産地トシ其ノ框數約五千生産額十五萬圓ニ達シ胡瓜、茄子等ヲ主ナルモノトス京濱及京阪地方ニ仕向ケラレ既ニ相當ノ聲價ヲ博シ生産ハ漸次増加ノ傾向ニ在リ殊ニ過般震災及旱害地復興ノ一助トシテ縣及郡農會等ノ獎勵ノ結果著シク框數ヲ増加セリ花卉類ニ在リテハ年産額約十萬圓ニシテ主ナルモノハ切花ナリ安房郡ヲ主産地トシ其ノ種類ハ水仙、金盞花、花百合等ナリ

乙、林産加工ニ關スルモノ

(一) 竹細工 從來竹材ハ比較的高價ナリシ結果原料ハ一般ニ産額多キ下等材ヲ利用シタリ生産概シテ振ハス年産額五十萬圓未滿ナリ本加工品中苦竹、淡竹等ヲ主ニ利用スルモノ全産額ノ大半ヲ占ムルモ製品ハ精巧ナルモノ及移出向ノモノ少ク大部分ハ縣内消費ヲ主トスル箆籠類ニシ

テ其ノ製産モ副業トシテ適當ナルモノニ至ル迄所謂寵職ト稱スル專業者ニヨリテ行ハルルヲ常トス然レトモ近來竹材豊富トナリ其ノ加工漸ク有利トナリシヲ以テ副業的生産ノ獎勵有望トナレリ次ニ篠竹其ノ他特殊竹材ヲ利用スルモノハ副業的ノモノニシテ輸入又ハ移出向ノ團扇骨、洋傘柄、衣紋掛、窓竹ノ如キモノ多ク之等ハ原料並販路等ノ關係上益々其ノ産額ヲ増加シツツアリ然レトモ加工技術未タ幼稚ナルト利用ノ範圍狭ク製品ノ種類少キ結果竹材ノ荒廢ニ委セラレツツアルモノ尠カラス

(二) 製炭 年産額六百萬貫、價額二百七十餘萬圓縣下各地ニ生産セララルルモ主産地ハ縣ノ南部山間地方トス從來白炭ノ生産ヲ主トシタル結果黒炭ニ付テハ見ルヘキモノナシ然レトモ今日ニ於テハ需要ノ關係上黒炭ニ次テ有利ト爲スニ至レルヲ以テ黒炭ノ生産必要トナレルモ本縣ハ原料トノ關係上成ルヘク優良ニシテ高價ナルモノノ生産ニ依リテ收益ノ増加ヲ圖ルコトヲ要スル状態ニ在リ

(三) 椎茸栽培 年産額一千三百斤價額二千五百圓ニ過キササルモ販路ノ關係並雜木林利用上有利ニシテ而モ椎茸栽培ニ頗ル好適ナル地方多キヲ以テ漸次生産増加ノ趨勢ニ在リ唯一般ニ斯業ニ關スル知識經驗ニ乏シク普及尙遲々タル状態ニ在リ

丙、水産關係

(一) 水産加工 本縣ニ於ケル水産物ハ其ノ種類多ク生産亦多額ニ上ルモ從來ハ販路ノ關係上加工ニ重キヲ置カサリシ結果干鰯、粕ノ如キモノノ外見ルヘキモノナシ今日漁獲高減少ニ伴ヒ其ノ收入ノ不足ヲ加工ニ依リテ補ハサルヘカラサルニ至レリ而シテ加工最モ主要ナルモノハ鰯、鮫及貝類トス

(イ) 鰯加工 鰯漁業ハ縣下漁業中最モ主要ナルモノニシテ年收穫高五百萬圓ヲ下ラス而シテ從來多漁ノ際ハ常ニ干鰯、粕ノ如キ肥料製造ニ供セラレシカ一層有利ノ加工特ニ末廣鰯、削節、燒乾鰯等ノ普及ヲ要ス

(1) 末廣鰯ノ製造 從業戶數二百、産額二萬五千貫、價額十萬圓東京ヲ主ナル仕向地トシ需要激增ノ傾向ニ在リ

(2) 削節 原料タル煮干ノ産額年三百萬圓ニ達スルモ其ノ大部分ハ其ノ儘食用トシ又ハ削節原料トシテ他府縣ニ移出セラレ縣内産額ハ十萬圓ニ過キス

(3) 乾干品 原料中羽鰯又ハ鰯ノ産額多キニ拘ラス從業戶數二十、年産額僅ニ一萬圓ナリ

(ロ) 鮫加工 鮫繩漁業ニ依リ吉切鮫ノ漁獲多ク從來ハ生魚ノ儘搬出セラレシカ豐漁ノ際價額著シク下落スルヲ常トシ之カ利用ニ就テハ最モ苦心セル所ニシテ數年前銚子地方ニ於テ鹽干品ノ加工ヲ爲シタルモ需要ノ範圍狭ク大量ノ生産ニ適セス竹輪ノ製造ハ需要多ク獎勵ニ依

リ多少生産ヲ見ルニ至レルモ未タ一般ニ普及スルニ至ラス櫻乾ハ大ニ有望ニシテ且ツ最モ副業的生產ニ適ス

(ハ) 貝細工 縣下海灣ニ於ケル蜆、蛤、鹽吹貝等ノ生産多額ニ上リ更ニ近時養殖業ノ發達ト共ニ益々産額増加シ價格ハ爲ニ低落シ動モスレハ養殖事業ノ經營ヲ脅カサムトスルノ狀況ニ在リ依テ貝類ノ利用ノ途ヲ拓キ價額ノ向上ト販路ノ擴張トヲ圖ルハ刻下ノ急務トス現在ノ加工品ハ僅カニ剥身ト乾貝アルノミニシテ大部分ハ殼付ノ儘他ニ移出セラレツツアリ

(二) 養魚 本縣ハ用排水ノ關係上溜池其ノ他養魚ニ適スル水面頗ル多ク且餌料タル生魚類安價ニシテ蛹ノ供給亦差シテ不便ナラス其ノ生産品販賣甚タ有利ニシテ有望ナル事業ナルモ現在ニ於テハ養魚箇所約百五十、年産額二千萬圓ニ過キス併乍ラ今後溜池等ノ築造益増加セムトスルヲ以テ之等ノ廢水面利用ニ依ル養魚ノ獎勵ハ最モ適切ナリ唯溜池中灌漑時期ニ於ケル水量關係上養魚ニ適セサルモノ尠カラサルカ故ニ之等ニ對シテハ淡貝養殖其ノ他ノ利用ヲ講スルノ必要アリト思惟ス

丁、畜産關係

(一) 養鶏 本縣ニ於ケル養鶏ハ氣候風土ノ適當ナルト販賣至便ナルトニ依リ夙ニ普及發達シ大正十三年ニ於ケル生産額ハ鶏卵六百三十一萬圓、成鶏雛ニ於テ二百五十萬圓、合計八百六十六

萬圓ニ達シ一般農家ノ主要副業ニ屬ス逐年發達シツツアルモ種卵種禽供給ノ不圓滑及共同組織

(二) 幼稚ナル事情等ニ依リ生産者ノ利益減殺セラレツツアル現狀ニ在リ

(二) 養豚 縣内ニ飼料豊富ナルト京濱市場ノ需要トニ促サレ夙ニ普及發達シ飼養數常ニ三萬ヲ下ラス而シテ年々飼養ノ増加ト農家肥料ノ自給上益發展ノ傾向ニ在リ

戊、雜工業

(一) 土產品 年々避暑遊覽客頗ル多ク成田山ノミニテ二百萬餘ニ達シ近ク小湊鐵道開通ノ曉ハ一層其ノ數増加スヘク之等土產品中羊羹ノ如キハ成田山ノミニテ百萬圓ノ賣上アルモ未タ特ニ適當ナルモノナシ

(二) 手工業 漁村振興上副業ノ必要益多キヲ加ヘツツアルニ拘ラス從來最普及セル漁網、織物等ノ副業ハ著シク衰退シ新タニ籐表、機械製漁網、團扇、金網等ノ副業勃興セルモ何レモ未ダ局部的ニシテ前者ニ代ル程度ノモノニ非ル爲出稼等益増加シ延ヒテ一般漁業ノ衰退ヲ來シツツアリ唯現在獎勵スヘキ適當ノモノナキモ左記ノ如キハ適當ナリト思考ス

(イ) 籐表及其ノ他ノ籐加工 海上郡銚子地方ヲ生産地トシ年産額百五十萬足價額七十五萬圓ニシテ本場物ノ產地及取引上ノ中心トシテ年ト共ニ發展ノ趨勢ニ在リ然レトモ製品ハ單ニ籐表ノミニシテ原料ノ購入及利用上不利ニシテ生産費割高ナルヲ免レス加フルニ產地ニ於ケル

籐表ハ既ニ副業トシテ發達ノ極ニ達シ今後ノ生産増加ハ勢ヒ專業的生産ニ俟ツ外ナキ狀況ニ在ルヲ以テ他ニ新産地ヲ求メ一面主産地ニ對シテハ籐表以外ノ副業的加工业ヲ興シテ原料ノ利用ヲ遺憾ナカラシメ生産費ノ低減ト收益ノ増進ヲ企圖スルノ要アリト認ム

(ロ) 漁網類 手網ニ依リシ時代ハ殆ト全縣下各沿岸ニ行ハレシカ今日ニ於テハ産地著シク局限セラレ從業者三百五十、年産額六萬圓ニ過キス今後ハ機械製漁網ノ生産ノ増加ヲ圖ルト共ニ現在優秀ナル技術ヲ有スル手網從業者ニ對シテハ漁網ニ類スル他ノ有利ナル種類ノモノヲ授ケ其ノ技能ヲ發揮セシムルヲ要ス

二、現在及將來ノ獎勵施設

甲、農 産 關 係

- (一) 罌苞製造 現在ハ獎勵金ヲ交付シテ傳習會ノ開催等ヲ行ハシメツツアリ將來尙之レヲ繼續スル外優良器具ノ普及及共同設備ノ獎勵ヲ爲サムトス
- (二) 葉細工 現在獎勵金ヲ交付シテ講習會開催、優良機械ノ普及等ヲ圖リツツアレトモ將來ニ於テハ右ノ外同事業ノ助成ヲ爲サムトス
- (三) 蔬菜加工 現在ニ於テハ甘藷切干ニ限り獎勵金ヲ交付シ講習會ノ開催等ヲ行ハシメツツアリ將來ハ右ニ付更ニ製造設備ノ改良及切干用優良種苗ノ育成配付ヲ行ハシムルヲ適當トス又澤

庵漬及澱粉ニ對シテ共同製造ヲ獎勵スル爲將來共同生産設備ヲ爲スモノニ對シ補助金ヲ交付スルヲ要スルモノト思惟ス

- (四) 工藝原料作物ノ栽培竝加工 現在籌製造普及ノ爲補助金ヲ交付シテ製造法傳習會ヲ開催スルモ將來ハ尙之レヲ繼續スル外製品ノ改良及改修ノ開拓ヲ圖ラムトス又苧苳及杞柳ハ大正三十三年度ニ於テ旱害及震災地ニ對シテ講習會ヲ開催セルカ將來ハ更ニ他地方ニ之レカ獎勵ヲ爲スト共ニ優良器具ノ普及及共同耕作ノ獎勵ヲ爲サムトス
- 製茶ハ現在其ノ技術ノ向上ヲ期スル爲教師ヲ派遣シツツアルモ將來ハ茶園ノ改良増殖、製茶技師ノ養成及共同製造竝機械製茶ノ獎勵ヲ爲サムトス終リニ蒟蒻ニ付テハ現在特ニ獎勵施設ナキモ將來ハ共同採種園ノ設置、栽培竝加工法指導及共同加工場設置ノ獎勵ヲ爲サムトス
- (五) 花卉類及促成蔬菜類栽培 現在ニ於テハ縣トシテ特別ノ施設ナキモ將來ニ於テハ指導教師ノ設置、指導地設置及同事業ノ助成ヲ圖ラムトス

乙、林 産 關 係

竹細工ハ前年度ニ於テ竹材利用普及ノ爲實地指導ヲ爲シタル外現在何等施設ナキモ將來講習會、共同施設及特殊竹材ノ増殖ヲ圖ラムトス

製炭ハ現在實地ニ竈ノ築造及炭燒法ヲ指導シツツアルモ將來ハ製炭教師ノ養成及同業組合ノ設立

並其ノ事業ノ助成ヲ圖ラムトス推茸ハ現在特ニ舉クヘキモノナキモ將來講習會ノ開催教師養成及共同販賣並共同乾燥等ノ助成ヲナサムトス

丙、水産關係

現在鯉及鮫ノ加工ニ付縣水産試驗場縣水産會等ニ於テ講習會ヲ開催シ其ノ普及ヲ圖リ更ニ縣水産會ハ製品ノ販路擴張ニ努メツツアリ又貝類加工ニアリテハ縣水産會等ニ於テ剝貝等ノ指導ヲ爲シツツアル外特ニ施設ナシ將來ハ末廣鯉、削節、櫻干、竹輪、剝身、乾貝等有望ナルモノニ付加工法ノ講習、講話、實地指導ヲ爲スノ外共同的設備及器具等ノ設置購入ニ對シ獎勵金ヲ交付シ一方縣水産會等ヲシテ販賣斡旋及販路擴張ヲナサシメ又試驗場、水産會等ヲシテ利用法ノ調査研究ヲ行ハシメテ新製品ノ製造ニ努ムルヲ適當ト認ム養魚ニ付テハ縣水産會等ニ於テ講習、講話、實地指導及種苗ノ購入斡旋ヲ爲シツツアル外特別ナル施設ナシ將來ニ於テハ之レヲ繼續スル外共同販賣及共同育成等ノ事業ニ對シ補助金ヲ交付セムトス

丁、畜産關係

養鶏ハ從來種禽種卵ノ交付、品評會、講習、講話ニ對スル技術者ノ派遣等ヲ行ヒ來リシカ最近ハ共同施設ヲ獎勵シ大正十三年度ニ於テ郡區域養鶏組合ニ於テ鶏卵販賣ヲ爲スモノニ獎勵金ヲ交付シ又本年度ハ該團體カ種禽種卵配付ヲ目的トシ種禽場ヲ經營スル場合其ノ建築費ニ對シ補助金ヲ

交付スルコトトセリ將來ニ於テハ右施設ヲ一層助成スル外共同孵化雞育成場設置獎勵、鶏卵改良品評會開催獎勵、産卵共進會開催獎勵及去勢並肥育ヲ行ハムトス又養豚ニ付テハ從來養鶏ト同様ノ獎勵ヲ爲セルモ將來ハ組合ノ設置ヲ促シ且本年度ヨリハ郡市區城ノ關係團體ニシテ種豚場ヲ經營セシムル爲其ノ建築費ニ對シ補助金ヲ交付スルコトトナセリ

戊、雜工業

十產品ハ現在施設ナキモ將來ハ適當ナルモノノ調査研究ヲ遂ケタル上生産獎勵ヲナサムトス漁網類ハ講習會開催、器具機械ノ貸付又ハ購入費ノ補助ヲ行ヒ藤表ニ付テハ大正十二、十三兩年度ニ於テ講習會ヲ開催セルモ現在特別ナル施設ナシ將來ハ傳習會、藤加工講習會及教師並中心人物養成ヲ圖ラムトス

茨城縣

一、種類及現狀

種類ハ蔬菜促成栽培、葉細工、柿、結城紬トス

(一) 蔬菜促成栽培 新治郡園部村、西茨城郡岩間町ヲ始メトシ縣下八十五箇町村ニ跨リ從業戶數九百餘戶、栽培框數一萬一千餘框ニ及ヒ主トシテ胡瓜ヲ栽培シ其ノ他茄子、菜豆等ヲ合セテ年産

額二十一萬圓ニ達シ從業者ハ逐年増加ノ傾向ニ在リ生産品ハ東京ヲ始トシ横濱、大阪方面ニ出荷シ名聲ヲ博シツツアルモ近年東北地方ニモ販路ヲ擴張スルニ至レリ大正十二年末ニハ縣下ニ二十四組合設立セララルルニ至レリ

(二) 葉細工 本縣ニ於ケル葉細工ノ主ナルモノハ蕙及叭ニシテ叭ハ行方久慈稻敷三郡ニ蕙ハ鹿島行方久慈ノ三郡ヲ始トシ縣下各地ニ生産セラレ年産額蕙ハ四十四萬圓、叭ハ二十五萬圓ニ達ス而シテ蕙ハ北海道ニ於テ各種包装用トシテ需要多ク本縣生産品ノ大部分ハ同地ニ移出セラレ縣下ノ需要竝東京ヘノ移出ハ少額ニ過キサレトモ北海道ニ於ケル需要ノ消長ハ縣下製蕙業者ニ少カラサル影響ヲ齎スノ現状ニアリ叭ハ東京ヲ始メトシ神奈川、栃木縣地方ニ出荷シ過燐酸石灰、コークス、石灰其ノ他雜穀ノ包装用トシテ需要多シ

(三) 柿 縣下到ル處ニ柿樹栽培セラレ甘澁ヲ合セ生柿三十萬圓、乾柿五萬圓ノ生産アリ而シテ之等ハ殆ト宅地利用トシテ住宅ノ周圍又ハ附近畑地ノ隅等ニ放任的ニ栽植セララルルモノニシテ農家ハ之ヲ以テ收入ノ補足トスルカ如キ觀念ニ乏シク何等管理ヲ施サス故ニ樹ハ喬木トナリテ採收ニ困難ナルノミナラス隔年結果ヲナシ收益ニ影響スルコト多ク品種亦頗ル雜駁ナルノミナラス樹齡已ニ盛ヲ過キ老木多キヲ遺憾トス

(四) 結城紬 主トシテ結城郡北部ノ産出ニ係リ其ノ他ハ栃木縣下都賀、河内二郡ニ跨リ農家ノ副

業トシテ製織セラレ昨年縣下ニ於ケル從業戶數ハ三千戶、紬織ノ生産四萬七千反、價額百七十餘萬圓ニ達セリ原料真綿ハ自家生産竝福島縣ヨリ移入シ以テ同地方ノ婦女子ノ手ニ依リテ紬絲ヲ製セラレツツアリ製品ハ仲買商ヲ經テ東京、大阪、京都、名古屋其ノ他各地ニ販賣セラルル現下結城紬ハ一般財界不況ノ影響ヲ蒙リ昨年同期ニ比シ二割内外ノ下落ヲナシ賣行又澁リ勝ノ有様ナルモ一般經濟界回復ニヨリ従前通ノ活躍ヲ見ルニ至ルヘシト思惟ス

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 蔬菜促成栽培 大正七年以來毎年縣下數箇所ヲ選ヒ傳習會ヲ開催シ技術ニ堪能ナル教師ヲ囑託派遣シ實地指導ニ努メ尙進ンテ同地ニ組合ヲ設立セシメテ種子、硝子等ノ共同購入生産品ノ共同販賣、共同育苗等ノ事業ヲ獎勵セリ然レトモ將來ニ於テハ進ンテ蔬菜促成栽培聯合會ノ設立ヲ獎勵シ尙所々ニ傳習會ノ開催ヲ行ハムトス

(二) 葉細工 從來年々適地ヲ選定シ數箇所ニ蕙叭或ハ養蠶網等ノ傳習會ヲ開催シ普及ヲ圖リ來リタレ共尙今後ニ於テモ此ノ施設ヲ繼續スル外縣下一般ニ改良機械ノ利用ヲ獎勵シ競技會ヲ開催シテ技術ノ練磨、生産能率ノ増進ヲ圖リ尙組合設立ノ獎勵ノ爲相當ノ助成ヲ行ハムトス

(三) 柿 從來ハ何等記スヘキ施設ナカリシモ將來ニ於テハ良品種獎勵ノ一策トシテ接木講習會ヲ開催シ其ノ他干柿改良講習會ヲモ開催セントス

(四) 結城紬 從來縣立工業試驗場ニ於テ染色其ノ他柄合ノ改良ニ努メツツアリシノミナリシカ將來ハ縣ニ於テ相當ノ助成ヲナシテ結城織物同業組合ヲシテ各地ニ紬絲製造講習會ヲ開催セシメ同時ニ工業試驗場ト相聯絡シテ益柄合ノ改良ニ努メムトス

栃 木 縣

一、種類及現狀

葉細工(絲堅苧、繩) 養魚(養鯉、養鰻、養鱒) 製紙原料楮ノ栽培、蜀黍等ノ製作並製炭改良ノ五種トス

(一) 葉細工 從來自家用ヲ主眼トシテ生産セラレ特ニ獎勵ヲ加ヘサリシ結果原料ノ豊富ナル割合ニ發達ヲ見ス其ノ生産額ハ大正十一年ノ調査ニ依レハ大體百五十萬圓ノ程度ニシテ内副業的生產百二十萬圓、其ノ中販賣價額四十五萬圓ナリ就中販賣價額多キハ絲堅苧ノ二十三萬八千圓、繩ノ六萬一千圓、裏苧ノ五萬一千圓、厚苧ノ三萬圓、外俵ノ二萬六千圓、稗苧等ノ二萬六千圓、石灰俵ノ二萬一千圓等ニシテ此ノ他叭、蓑、蠶網等モ相當有望ナルモノト認メラル

(イ) 絲堅苧 本品ハ下都賀郡皆川村及小野寺村並其ノ附近ニ生産シ本縣特産大麻ノ屑(皮麻)ヲ堅絲トシタル一種ノ裏苧ニシテ古クヨリ包装用並蠶座用等ニ需要多シ之カ從業戶數千五百戶産額百四十萬二千枚、價額二十三萬八千圓ナリ販路ハ群馬、神奈川、静岡、千葉、茨城、東京等ノ府縣ナリ

(ロ) 繩 從來本縣産ノ繩ハ手紬ニシテ自家用ノ外地方ノ需要ニ向テ僅ニ供給スル程度ナリシカ歐洲大戰後ニ於ケル財界ノ大變動ニ際シ異常ナル需要ヲ喚起シ俄ニ機械製ニ變シ所謂荒繩ノ全盛ヲ見ルニ至リタリ然ルニ一朝財界不況ニ陥ルヤ需要激減シテ縣外ノ販路杜絶シ將來ヲ悲觀スルノ状態ニ陥レリ即現今穀俵、炭俵其ノ他一般荷造用トシテ生産セララルモノ年約三十五萬貫、價額六萬五千圓程度ナルモ大ニ需要者ハ他縣産ノモノヲ使用シツツアル狀況ナリ

(二) 養魚 大正十二年ニ於ケル縣下魚類ノ消費高ハ鮮魚、鹽乾魚ヲ合セ三百六十二萬三千三百三十貫ニ達シ縣内生産ハ僅ニ九萬四千四百五十七貫(價額四十五萬圓)ニシテ差引三百五十二萬八千六百七十三貫(約一千萬圓)ハ他府縣ヨリ移入スルノ現況ナリ

(三) 製紙原料楮栽培 本縣ニ於ケル製紙ハ主トシテ西ノ内ニシテ年産約三十五萬餘圓ニ達シ農家副業ノ重要ナル地位ヲ占ム然ルニ近來原料タル楮ノ價格騰貴ノ爲製紙上ニ大ナル苦痛ヲ感シツツアリ而シテ楮ノ消費高ハ約二千五百駄(一駄二十四貫)黒皮十二萬貫ニシテ縣下ニ於ケル生産ハ僅ニ一萬餘貫ナリ即其ノ大部分ハ近ク茨城、福島等ヨリ供給ヲ仰キツツアルノ狀況ナルモ是等兩縣モ亦年々生産減少シ一面紙業ノ先進地ヨリノ買付ニヨリ價格騰貴ノ傾向ニアルヲ以テ本縣ハ特

ニ之等對策トシテ原料増殖ノ急務ナルコトヲ感シツツアリ

(四) 蜀黍籌獎勵 俗ニ鹿沼籐ト稱シ古クヨリ生産セラル主産地ハ上都賀郡鹿沼町、北押原村、西方村ヲ中心トスル地方及下都賀郡國府村地方トニ分レ前者ハ鹿沼町ヲ中心集散地トシテ各戸普通二、三名ノ男女非副業的ニ從事スレトモ其ノ大體ヨリ見ルトキハ副業的作業ナリ後者ハ全然冬、春農閑期ノ副業ナリトス大正十二年調査ニヨレハ生産九十六萬五千本、價額六十萬圓ニ達シ内副業的生産十三萬本、價額五萬五千圓、從業戸數千四十六戸ナリ而シテ之カ販路ハ北海道、關東各府縣、奥羽、北陸、東海道、關西方面ニ互リ將來益有望ナリ

(五) 製炭改良 木炭ハ本縣林産物中主要ナル位置ヲ占メ年産額千三百萬貫、價額四百萬圓ヲ下ラス而シテ其ノ生産ニ從事スルモノ專業者ハ僅少ニシテ多クハ農閑ヲ利用シテ副業的ニ行フモノ多ク之カ消長ハ此等農家ニ甚大ナル影響ヲ與フルハ言フ俟タス一面縣產業上ヨリ見ルモ大ニ改良増殖ノ必要アルヲ以テ縣ハ從來年々各地ニ製炭傳習會ヲ開設シテ技術ノ向上ヲ圖リ品質ノ改良ヲ促シ同業組合ノ組織ト相俟ツテ各種ノ改善ニ努メシメツツアリト雖製炭業者ノ多クハ徒ニ自己ノ技術ヲ過信シテ舊法ヲ墨守シ採長補短以テ技術向上ノ途ニ出ツルモノ少キハ甚遺憾トスル所ナリトス

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 蠶 細 工

(イ) 絲鑿庭 現在製品ノ統一、販路擴張ヲ主目的トシテ副業組合ノ組織ヲ獎勵ス將來ハ次ノ獎勵施設ヲ採ラントス

- (1) 産業組合法ニヨル組合ニ共同組織變更ヲ誘導スルコト
 - (2) 低利資金ヲ斡旋シ益共同販賣ヲ援助スルコト
 - (3) 生産費節減ノ一方法トシテ大麻堅絲ノ代用品(例ハ苧麻等)ニ付研究指導スルコト
 - (4) 從來産地ノ外原料豊富ナル地方ニ生産獎勵ヲ行フコト
- (ロ) 繩 大正九年縣ノ副業組合獎勵規程ヲ設ケ此種生産改良ノ共同組織ヲ獎勵シタル結果葉加工ヲナス組合四十六内繩ノ生産ヲ主トスルモノ二十三組合ニ達セリ將來ノ獎勵施設左ノ如シ
- (1) 打葉機ノ設備獎勵 補助及低資融通ノ方法ニヨリ之ヲ徹底セシムトス
 - (2) 仕上機ノ共同設備獎勵 荒繩仕上機ヲ組合若クハ地方村落ニ設備スルコトヲ獎勵シ補助及低資融通ニヨリ徹底セシムトス

(二) 養 魚 獎 勵

本縣ニハ約四千町ノ湖沼溜池類ト四十二線ノ河川ト養鯉ニ適スル稻田ヲ有スルヲ以テ大正九年以來鯉兒ノ無償配付ヲ行ヒ稻田養鯉ヲ獎勵シツツアルモ當業者ノ配付希望甚タ多ク到底配付シ切レ

サル現狀ナリ大正十三年度ヨリ養殖技術ノ修得及鯉兒ノ増殖ヲ目的トスル養魚組合ヲ獎勵シ其ノ鯉兒育成ヲ爲ス團體ニ補助金ヲ交付シ又養鱒ノ有利ナル獎勵ノ結果トシテ近來相當成績ヲ擧ケツツアリ將來ノ獎勵施設左ノ如シ

(イ) 廢水面利用養魚

(ロ) 養 鰻 獎 勵

(ハ) 養 鱒 獎 勵

(三) 製紙原料楮増殖獎勵

適當ナル地方部落ニ原料生産組合ヲ組織セシメ楮皮ヲ製造シ製紙家ニ廉價供給ヲ爲サシメトス

(イ) 楮ノ種苗ヲ交付スルコト

(ロ) 苗圃管理費ヲ助成スルコト

(ハ) 製紙家ニ楮皮ノ販賣斡旋ヲ爲スコト

(四) 蜀黍籌獎勵

目下生産地ニ共同組織ナク各商店各個ノ商標ト勝手ナル等級分別ヲ爲シ常ニ統一シタル價格ナキヲ以テ大量販賣行ハレス一々見本取引ノ不便ヲ感シ需要者ノ希望ヲ滿タシ能ハサルノ狀況ニアリ縣ハ將來左ノ獎勵施設ヲ行ハムトス

(イ) 共同組織獎勵

(ロ) 製品ヲ統一シ共通ナル等級ヲ附スルコト

(ハ) 製品ノ改良研究ヲ爲スコト

(ニ) 從來ノ生産地ノ外原料栽培ニ適スト認ムル地方ニシテ他ノ副業ナキ地方ニ之ヲ獎勵シ副業的生産ニ努メ生産費ヲ節減スルノ方法ヲ講スルコト

(五) 製炭改良獎勵 製炭改良傳習生ヲ主體トシテ地方小區域ノ組合ヲ組織セシメ相當保護獎勵ヲ行ハムトス

奈 良 縣

一、種類及現狀

蔬菜、果實ノ加工、淡水養魚、製茶、養鶏並菜加工ノ五種トス

(一) 蔬菜、果實ノ加工 生果、蔬菜ノ年産額ハ次ノ如シ

西 瓜 四〇〇萬貫 一五〇萬圓

(二) 大 根 四六〇 五二

山 葵 一一 四二

梅 五、二七一石 一〇

之等カ加工ハ本縣ノ副業中最振ハス僅ニ大根漬、乾柿ノ二種アルノミニシテ最近山葵漬ノ製出ヲ見ルニ至リタルノミ

(二) 淡水養魚 本縣ニハ現在溜池水面一千二百町步アリ其ノ中現在養魚ニ利用サレツアルモノハ約六百町步五百箇所ナリトス而シテ養魚ノ種類ハ鯉ヲ主トシ其ノ收益年額二萬六千貫水面一町步當リ僅ニ五十二貫ニ過キス之ヲ先進地ノ成績ニ徴スルニ水面一町步當リ三百貫ニ達セシムル必要アリ

(三) 製茶 現在年産額九十萬圓ナリトス

(四) 養鶏 本縣養鶏戸數ハ四萬六百戸、成禽飼育羽數十七萬羽、一戸當リ四羽強ニシテ産卵價額七十七萬圓ニ過キス而シテ從來斯業經營上共同組織ノ必要ヲ認メ組合ノ設立ヲ獎勵セル結果大正十一年以降十五組合ノ設立ヲ見タリ現今ニ於テ、人工孵化機ノ育雛技術ノ上達ヲ期スル爲初生雛二千羽乃至五千羽ノ共同育雛ヲ獎勵シ前年度ニ於テ千二百箇所ニ互リ三萬二千六百五十羽ノ飼育ヲナシ八割乃至九割四歩ノ成育歩合ヲ得タリ

(五) 菓加工 記スヘキコトナシ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 蔬菜、果實ノ加工 斯業ノ獎勵ニ關シテハ左ノ事項ニ對シ助成金ヲ交付シテ製造方法ニ關ス

ル講習會ヲ開催セムトス

(イ) 降雨時ニ採取セル大和西瓜ノ加工並未成西瓜ノ漬物加工ニ關スル事項

(ロ) 西瓜後作トシテ栽培セル大根加工並販賣ニ關スル事項

(ハ) 山葵加工研究並販路調査

(ニ) 梅實ノ加工研究

(二) 淡水養魚

(イ) 圍池ノ設置獎勵

適當ナル團體ニ對シ相當ノ助成金ヲ交付シテ速ニ之ヲ設置セシメ養成鯉ノ冬圍並稻田收鯉ノ一時保管場ニ充當セシメムトス所要見込面積約十五町步三十箇所

(ロ) 鯉仔(青仔)ノ配付

鯉苗養成目的ヲ以テ行フ稻田養鯉經營者ニ對シ鯉仔ノ無償配付ヲナスコト所要見込數量一箇年百萬尾

(ハ) 餌料購入資金ノ融通

(ニ) 養魚技術ノ向上ヲ圖ルコト講習、講話會ヲ開催ス

(ホ) 公魚、鱒等ノ魚卵並淡水貝類種苗ヲ配付スルコト

(三) 製茶業 斯業ハ大正六七年ニ於テ勞銀ノ騰貴其ノ他種々ノ事情ニ依リ甚振ハサリシ爲共同製茶組合ノ設置ヲ獎勵シ今日ニ至リタリ然ルニ今日ニ於テハ能率高キ新式機械普及セルモ該組合中ニハ尙左表ノ如ク之等新式機械ヲ設備シ得サル組合多數アリ

三十三組合中

設備セルモノ

設備セサルモノ

改良蒸機	八	二五
粗揉機	三三	〇
再乾機	六	二七
揉捻機	八	二五
精揉機	一三	二〇
乾燥機	八	二五
原動機	一六	一七

以上ノ状態ニ在ルヲ以テ製茶能率ノ増進ヲ圖リ小農保護ノ目的ヲ以テ本年度ヨリ之等組合ノ機械購入設備費等ニ對シ相當ノ補助金ヲ交付シ共同作業ノ實ヲ舉ケムトス

(四) 養鶏 組合事業ノ獎勵ニ努メ現ニ縣外ヨリ購入セル初生雛ヲ縣内ニテ供給セシムル爲適當ナル團體ヲ選定シテ解卵並集卵ノ設備ヲナサシメ斯業組合會ノ設立ヲ待チテ阪神都市ニ生産物販賣

所ヲ設置セシメムトス

(五) 葉加工 現在ハ製葉機、製繩機ノ購入費ニ對シ僅少ノ補助金ヲ交付シツツアルノミナレ共將來ハ製葉、製繩機ノ購入費ニ補助金ヲ交付スルト共ニ國庫ノ助成ニ俟チテ左ノ事業ヲ行ハントス

(イ) 製繩機、製葉機ノ優劣比較研究ヲ目的トスル競技會ノ開催

(ロ) 製繩機再製機備付補助見込十臺

(ハ) 麻裏表編製用稻葉節間(俗ニよト稱ス)漂白ニ關スル化學的研究設備

三重縣

一、種類及現狀

(イ) 原始的副業ノ部

種類	生産數量	同上價額	特ニ獎勵セントスル郡市名
養鷄	成鷄 四〇〇、二七五羽 卵三一、七一、一八六箇	六九三、六三九圓 一、四〇八、六八一圓	員辨、三重、鈴鹿、河養、安濃、一志、飯南、多氣、度會、阿山、名賀、志摩、南北半妻ノ十四郡
養豚	八、七五七頭	三二八、三三八圓	桑名、員辨、三重、鈴鹿、河養、安濃、飯南、多氣、志摩、北半妻、四日市ノ一市十郡
養鯉	二六、九九八貫	四七、三五八圓	安濃、桑名、名賀、阿山ノ四郡
養芋	二九六、〇二七貫	二九一、七六九圓	員辨、一志、飯南、度會、阿山、名賀、南半妻ノ七郡

柑	一、七六五、一〇四貫	六、一七、六五三圓	三重、桑名、度會、北牟婁、南牟婁ノ五郡
蔬菜	?	?	桑名、鈴鹿、河藝、一志、多氣、阿山、名賀ノ七郡
促成栽培	?	?	安濃、度會、津市ノ一市二郡
甘藷	一、六一七、三三〇貫	一、二〇四、九七九圓	三重、度會ノ二郡
竹林(孟宗)	二四九、九七一貫	一一一、二六一圓	三重、度會、桑名ノ三郡
苗木	?	?	多氣、南牟婁ノ二郡

以上ノ外 柿(名賀) 梨(津市) 葡萄(安濃) 紫雲英採種(一志) 龍蝦(南牟婁郡) 等夫々選抜セリ就中龍蝦ハ昨年度ヨリ縣ハ鈴鹿、河藝、飯南、度會、名賀、北牟婁ノ六郡農會ニ命シテ委託試驗中ニシテ將來發達ノ見込充分ナリ

(ロ) 加工の副業ノ部

種類	生産數量	同上價額	特ニ獎勵セントスル郡市名
苴	二、九一〇、六〇五枚	五八二、一二一圓	員辨、三重、鈴鹿、河藝、安濃、一志、飯南、阿山、名賀ノ九郡
細	一、九二四、五九〇貫	二八八、六八八圓	員辨、三重、鈴鹿、河藝、安濃、一志、飯南、多氣、阿山、名賀、志摩、北牟婁、南牟婁ノ十三郡
伊勢	七五三、六〇〇枚	一三五、六四六圓	桑名、鈴鹿、度會、阿山ノ四郡
表	五、二九二、一九二足	七二四、八七二圓	安濃、一志、飯南、多氣、阿山、津市ノ一市五郡
網	三六五、四五五枚	二七、八七六圓	員辨、鈴鹿、阿山、名賀ノ四郡
庵	一、九七六、三一六貫	七〇八、六八〇圓	三重、鈴鹿、河藝、安濃、度會ノ五郡
海干	八九、一三〇貫	一三四、〇〇〇圓	三重、南牟婁ノ二郡

種類	生産數量	同上價額	特ニ獎勵セントスル郡市名
干大根	二七、三九六貫	一七、一六三圓	員辨、三重、鈴鹿、河藝ノ四郡
干柿	三六、八八九貫	四三、二四五圓	一志、多氣、阿山ノ三郡
素麵	七四三、四六一貫	五六五、三三六圓	桑名、員辨、三重、名賀ノ四郡
真綿	三一八貫	一六、三二二圓	一志、北牟婁ノ二郡
椎茸	六四、七八二斤	一四九、四四五圓	安濃、多氣、北牟婁ノ三郡
炭俵	七一、八〇〇枚	九、六〇〇圓	南牟婁、北牟婁ノ二郡
牛乳加工	二三〇斤	六九〇圓	三重、鈴鹿ノ二郡
海苔	一五、六五三貫	三八一、七四六圓	一志、飯南、多氣、度會、桑名、北牟婁、四日市ノ一市六郡
末廣		五六六、〇六五圓	北牟婁、南牟婁ノ二郡
和紙		?	飯南、度會、名賀ノ三郡
編物		?	安濃、阿山ノ二郡
漁網		二、九〇六、八三三圓	河藝、度會、津市ノ一市二郡
羽織		?	名賀、津市ノ一市一郡

以上ノ外 拔薬(一志) 蠶簇(飯南) 疊表(鈴鹿) 饅表(津市) 甘藷切干(志摩) 柿澁(阿山) ビール澁(安濃) 竹箸(飯南) 煎籠(名賀) 傘骨(多氣) 洋傘柄(飯南) 木細工(度會) 竹筒染細工(員辨) 貝細工(度會) 制節(南牟婁) 陶磁器(四日市) 鋸刺(津) 刷子(四日市) 疊裏澁(河藝) 手袋カガリ(津市) タオル房結(津市) 等夫々選抜セリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 養 鶏

現在

縣種畜場ニ於テハ種禽種卵ノ有償配付ヲナスト共ニ縣下適當ノ地ニ委託種禽場ヲ設置シテ優良ナル種類ノ普及ヲ圖リ毎年品評會ヲ催シテ鶏種ノ改良向上ヲ促進セルモ更ニ縣ハ副業獎勵金ヲ交付シ養鶏組合ノ設立並其ノ組合事業ヲ助勢スル外別ニ五十羽養鶏組合ヲ獎勵シ全部一代雜種二年更新ノ計畫ヲ樹テシメ眞ニ實利的模範養鶏ヲ一般ニ普及セシメントセリ又小學校兒童ノ養鶏思想涵養ニ資スヘク獎勵金ヲ交付シテ兒童養鶏ヲ發達セシメツツアリ

將來

現在ノ獎勵施設ヲ繼續スル外進ンテ縣ハ一代雜種ノ飼育ヲ容易ナラシムル爲縣下三箇所ニ一代雜種委託孵卵場ヲ設置シ種鶏ハ一々検査シテ信用確實ナル一代雜種配給場ナラシムルト共ニ五十羽養鶏組合ニハ特ニ獎勵金ヲ増額支給シテ此ノ種組合ノ發達ヲ圖リ飼料ノ共同購入、生産物ノ共同販賣ヲ理想的ニ實現セシメムトス

(二) 養豚

現在

縣及郡農會又ハ畜産組合ハ優良種ノ普及ヲ目的トシテ種牡豚ヲ購入貸與シ又ハ購入費ヲ補助シテ其ノ普及ヲ助成シ別ニ縣ハ獎勵金ヲ交付シテ養豚組合ノ獎勵、生豚ノ輸送、飼料ノ共同貯藏ヲ獎勵

指導シツツアリ

將來

益養豚組合ヲ普及發達セシメテ種類ノ改良、飼料ノ共同購入並共同貯藏、生産豚ノ共同販賣ヲナサシメ進ンテハ事情ノ許ス限り簡易屠場ヲ設置セシメ豚肉ノ加工利用ヲ指導獎勵シテ豚肉ノ需要ヲ盛ナラシムルノ施設ヲ講セムトス

(三) 養鯉

現在

縣水産試験場ハ委託養魚家ヲシテ優良仔魚ノ安價配付ヲ助成シツツアルモ更ニ縣ハ稻田養鯉並溜池養鯉ニ獎勵金ヲ交付シテ之レカ普及ニ努メツツアルヲ以テ漸次飼養者ヲ多カラシメントスル傾向ニアリ

將來

稻田養鯉ニ對シテハ仔魚ヲ無償配付シ得ル擔當者ヲ縣ニ於テ設置シ飼養者ニ對シテハ設備、飼料費ヲ補助シテ其ノ普及發達ヲ圖リ進ンテ溜池養鯉ヲ助成シテ其ノ生産鯉ノ販賣ヲ斡旋シ二者相俟ツテ健全ナル發達ヲナサシメムトス

(四) 蒟蒻芋

現在

未タ茶園、柑橘園、桑園ノ間作ニ過キササルヲ以テ販賣ニ苦心スルノ要ナキ有様ナリ故ニ縣又ハ郡農會ハ縣外主要生産地ヲ視察シテ栽培講習會、種芋ノ共同購入斡旋等ニ助成ヲ與ヘツツアリ

將來

栽培法講習會ヲ開催スル外優良種ノ無償配付ヲナシテ普及ヲ圖リ助成金ヲ交付シテ適當ナル當業者ニ模範栽培ヲ行ハシメ各般ノ調査研究ヲ爲サシムル外進ンテハ副業組合ヲシテ製粉場ヲ經營セシメテ其ノ販賣ヲ有利ナラシムトス

(五) 柑 橘

現在

盛ナル地方ニハ既ニ副業組合ヲ設置セシメ病蟲害ノ共同驅除、苗木ノ共同購入、果實ノ共同販賣、直接輸送ノ方途ヲ講セシメツツアリ

將來

現在ニ於ケル施設ヲ益徹底セシムルト共ニ進ンテハ苗木ノ共同育成、柑橘加工製品講習會及之レニ要スル施設ヲ助成シテ販路ノ擴張ヲ圖ラントス

(六) 蔬菜(主トシテ蓮根、百合根、薯蕷、瓜類、葱、根菜類ナリ)

現在

栽培法ノ實地指導、種苗ノ配付ヲ行ヒ一面販賣ニ對シテハ青物市場ヲ郡農會ヲシテ開催セシメツツアル外特ニ記載スヘキ事項ナシ

將來

從來ノ畑作ノ外稻田裏作トシテ獎勵スヘク種苗ノ安價配給ヲナシ主要市場ニハ簡易青物市場ヲ農會又ハ組合ヲシテ常置セシメ其ノ販賣ヲ容易ナラシムヘク是等ノ施設ニ對シテハ充分ナル獎勵金ヲ交付セントス

(七) 促成栽培

現在

技術員ヲシテ實地指導ヲ行ヒ種苗ノ斡旋ヲ行フ外特ニ記スヘキ施設ナシ

將來

先進地ノ視察ヲ助成シ温床設備費ニ補助金ヲ交付シ組合ヲ組織セシメテ發熱材料ノ共同購入、生産物ノ共同出荷、種苗ノ無償配付、共同育成等ニ充分ナル獎勵金ヲ交付シテ其ノ發達普及ヲ促進セントス

(八) 甘 藷

現在

縣農事試驗場ニ於テ優良種芋又ハ苗ノ無償又ハ有償配付ヲ行ヘル外特記スヘキ施設ナシ

將來

優良種芋ノ安價配給法トシテ助成金ヲ交付シ種芋配給者ヲ選定シ共同育苗ヲ獎勵シテ栽培普及ヲ圖ルト共ニ(別記)甘藷切干講習會ヲ開催シ所要器具ノ購入補助ヲナシ其ノ生産物ノ共同販賣ヲ助成シ以テ之レヲ有利ニ導カントス

(九) 竹林

現在

縣ハ竹林ノ造成ニ對シテ獎勵金ヲ交付シ毎年竹林共進會ヲ開催シテ之カ改善ヲ圖リツツアル外特記スヘキ事項ナシ

將來

普通竹林ノ改良増成ニ一層獎勵ヲ加フルト雖孟宗竹林ノ造成ハ副業栽培トシテ一層努力スヘキ餘地充分ナルヲ以テ開墾ノ助成ト相俟ツテ之レヲ獎勵シ生産箱ノ販賣ニツキテハ需要地ニ共同出荷場ノ開設ヲ助成シ生産過多ノ感アルニ至レハ農會又ハ組合ヲシテ罐詰製造ノ設備ヲナサシメ加工販賣ヲ助成セントス

(一〇) 苗木(主トシテ果實、桑、山林苗木トス)

現在

(郡市農會ニ於テ幾分ノ獎勵金ヲ交付スルモノアル外特記スヘキ事項ナシ)

將來

果實、桑、山林樹木ノ優良種ヲ普及セシムル爲ニ苗木ノ潤澤ナル供給ハ最必要ナル事項ナルヲ以テ縣ハ苗木ノ養成者ヲシテ組合ヲ組織セシメ相當ノ獎勵金ヲ交付シ育成種類ノ指定販賣、苗木ノ検査、販賣價格ノ協定ヲ行ハシメカクテ一般當業者ヲシテ苗木ノ購入ニ不安ナキニ至ラシメントス

(一一) 柿、梨、蘭、紫雲英採種、龍蝦

現在

柿ノ接キ換ヘ、梨園品評會ヲ行フ外三角蘭以外ニアリテハ特記スヘキ施設ナシ三角蘭ニアリテハ縣下六郡ニ試験擔當者ヲ設置シ栽培法、刈取乾燥法、製蒔法ハ特ニ大分縣ヨリ實地指導教師ヲ招聘シテ擔當者ニ修得セシメ種苗ハ無償ヲ以テ大分縣産ノモノヲ配付シ進ンテ製蒔機、疊表縱絲機器ハ各一臺宛縣費ヲ以テ購入シテ無償貸與シ之レカ充分ナル調査研究ヲ爲サシメツツアリ

將來

柿ハ白柿、柿澁製造ノ材料トシテ普及セシムヘク苗木ノ共同購入、共同育成ニ獎勵金ヲ交付シ梨ハ貯藏並販賣ノ施設ヲ助成シ紫雲英採種ハ之カ販賣ヲ共同的ニシテ販路ノ斡旋ヲナシ龍蝦ニ對シテハ仔蝦ノ放養費ニ對シテ相當ノ獎勵金ヲ交付セントス

(一一) 蕙

現在

製品ノ販路擴張、製蕙競技會ニ獎勵金ヲ交付シテ其ノ事業ノ助成ヲ圖リ改良製蕙機ノ普及ノ爲冀ニハ製蕙機購入費ニ獎勵金ヲ交付シタル結果其ノ製品ハ大部分機械蕙トナルニ至レリ然レトモ蕙トシテノ販賣ハ現在地方需要ヲ滿タスニ過キス

但シ、荷造蕙(粗製品)ハ相當縣外迄輸送セラルルモ未タ販路ニ苦シムマテノ生産ヲ見ス

將來

生産者ノ組合ヲ組織セシメテ機械ノ共同購入ヲ斡旋シ能率増進ノ目的ヲ以テ競技會ヲ開催セシメ製品ハ全部検査ヲ勵行シテ共同出荷ノ實ヲ舉ケムトス

(一二) 繩

現在

機械繩ノ製作ヲ獎勵シツツアルモ其ノ生産ハ地方需要大部分ニシテ縣外移出ハ或地方ニ限ラレツ

ツアルヲ以テ是等移出地方ハ副業組合又ハ産業組合ヲシテ共同出荷ヲ獎勵シ製品ノ検査、荷造ノ統一ヲ助成セル外特ニ鈴鹿郡一圓ノ製繩組合ニ對シテハ動力再製機購入設備ニ助成金ヲ交付シ其ノ事業ノ發展ニ努メタリ

將來

繩ノ集散地ニ再製工場ヲ農會又ハ組合ニテ設立セシメ生産繩ハ凡テ再製シテ其ノ荷造等ヲモ一定シ検査ノ上出荷シ得ル様助成シ製繩機ノ購入ヲ斡旋シ時ニ競技會ヲ開催シテ能率ヲ増進セシメ以テ生産ノ増加、品質ノ向上、販路ノ擴張ヲ促進セントス

(一四) 叭

現在

主要産地ニハ同業組合ノ設立アリテ販路ノ調査、製品ノ検査、競技會等ヲ開催スル是等ノ經費ニ對シテハ縣費ヲ以テ相當ノ獎勵金ヲ交付セルモ之カ販賣ハ凡テ問屋ノ手ニヨリテ行ハレ何等特記スヘキ施設ナシ

將來

主産地ニハ同業組合ノ外産業組合又ハ任意組合ヲ設立セシメ機械ノ共同購入、製品ノ共同販賣、販路ノ調査擴張、金融ノ施設ニ對シテ相當ノ獎勵金ヲ交付シ以テ年間平均的ニ出荷セシメ有利ナ

ル副業タラシムトス

一〇八

(一五) 伊勢表

現在

特定ノ地方ニ生産セラルル關係上殆ト改善施設ヲ講セラレタルコトナク曩ニ不況ニ際會シテ一志郡農會ニアリテハ現在未成品ノママ間屋ニ送リツツアルヲ生産者ニ於テ完成品タラシムヘク實地指導講習會ヲ開催セルモ充分ナル發達ヲ見ス

將來

生産者ノ共同團體ヲ組織セシメ資金ノ融通ヲ便ニシ組合ニ於テ完成品トナスヘク簡易ナル工場、燻蒸漂白場ヲ設備セシメ一面漂白法ノ研究ヲナシテ經濟的ニシテ容易且有效ナル漂白法ニヨリ改善ノ實ヲ舉ケ有利ナル販賣方法ヲ指導セントス

(一六) 蠶網(蘭網)

現在

原料蘭ノ栽培ヲ試験研究セシメツツアル外特記スヘキ事ナシ

將來

生産者ヲシテ原料蘭ヲ栽培セシメ(栽培法ノ講習、苗ノ配付ヲ容易ニシテ)製品ノ検査並共同販賣

ノ實ヲ舉ケシムヘキ施設ヲ助成セントス

(一七) 澤庵漬

現在

伊勢澤庵トシテ京阪地方へ移出サルルモノ多キモ同業組合(度會地方)ニ於テ検査セル外優良ナル大根ノ研究普及ヲ郡農會ニ於テ施設セルノミニテ特記スヘキコトナシ

將來

生産者ヲシテ材料鹽糠ノ共同購入、貯藏納屋ノ建設ニ助成ヲナシ一面大根種子ノ安價配給ノ方途ヲ講シ生産品ハ需要地ノ市場ト連絡ヲ取り場合ニヨリテハ特ニ市場ヲ開設セシメ年間ノ平均賣ヲ容易ナラシムル各般ノ施設ニ助成金ヲ交付セムトス

(一八) 梅干

現在

特記スヘキ何等ノ施設ナシ

將來

郡農會又ハ共同團體ヲシテ苗木ノ共同購入又ハ育成ヲナサシメテ各農家ニ普遍的ニ梅ヲ栽植セシメ梅干ヲ製セシムル外青漬、砂糖漬等ヲモ指導シテ生産物ハ之ヲ共同的ニ市場ニ出荷セシムト

一〇九

ス
(一九) 干 大 根

切干大根ニアリテハ製造講習會ヲ開催シテ技術ノ向上ヲ圖レルモ其ノ他ハ特記スヘキ施設ナシ

大根品種ノ改良ヲ圖リ澤庵漬ト相俟ツテ下等品ヲ切干又ハ丸干トシテ販賣セシムル爲ニ必要ナル組合ノ設立、機械ノ共同使用、製品ノ共同出荷ヲ助成セムトス

(二〇) 干 柿

現 在

特記スヘキ施設ナシ

將 來

剥皮器ヲ安價ニ斡旋シテ生産能率ヲ高メ乾燥法ノ改良ヲ圖リ製品ノ共同出荷竝ニ包装ノ改良、製品検査ヲ實行セシムル外斬新ナル加工法ヲ研究シテ之レヲ普及セシメムトス

(二一) 素 麵

現 在

北勢方面ノ盛ナル地方ニハ同業組合ヲ設立シテ品質ノ検査ヲ行ハシメツツアルモ之カ販賣ニハ手ヲ染メス故ニ大矢知産業組合ニテハ共同販賣ノ實ヲ舉ケツツアリ然レトモ是等ニ對シテハ何等ノ施設ナシ更ニ伊賀方面ニアリテハ共同販賣上生産數量ノ増加ヲ圖ル必要ヲ認メ副業獎勵金ヲ交付シテ技術練習生ヲ養成シテ大イニ生産ノ増加ヲ圖リ一面ニハ品評會ヲ開催セシメテ品質ノ向上ヲ圖リ更ニ先進地ヲ視察セシメテ改善ニ努メシメツツアリ

將 來

實地指導講習會練習生ノ派遣ヲ助成シテ生産技術ノ向上能率ノ増進ヲ促シ原料粉及機械、材料ノ共同購入ヲ助成シ製品ノ平均出荷、資金ノ融通斡旋、製品ノ販路擴張ヲ圖ラシメムトス

(二二) 真 綿

現 在

縣ハ希望ニ應シテ教婦ヲ派遣シ製造講習會ヲ開催セルモ多クハ自家用ニ過キスシテ特記スヘキ施設ナシ

將 來

縣内生産ノ屑繭、玉繭ハ全部真綿ニ製作セシムル爲縣ハ期節的ニ教婦ヲ雇入レ講習會ヲ各地ニ開催シ進ンテハ組合組織ヲナシ真綿細工品ヲ指導練習セシメ真綿製品トシテ市場ニ販賣セシムルノ

方策ヲ講セムトス

(二二二) 椎茸

現在

飯南、多氣ノ主産地ニアリテハ專業的ニ之レヲ栽植スルモノアルモ尙一般ニハ副業生産多シ然レトモ現在ニ於テハ特記スヘキ施設ナシ

將來

實地指導講師ヲ招聘シテ栽培講習會ヲ開催シ生産技術ノ向上品質ノ改善ヲ圖リ製品ノ共同販賣ニヨリ生産者ヲ有利ニ導カムトス

(二二四) 炭

現在

特記スヘキ施設ナシ

將來

製作法ノ練習指導講習ヲナシ技術ノ向上ヲ圖ルト共ニ製品ハ木炭生産地ト連絡ヲ取ラシメ組合組織ヲ以テ需要者ニ直接販賣セシムル様縣ニ於テ斡旋セントス

(二二五) 牛乳加工

現在

特記スヘキ施設ナシ

將來

乳牛ヲ農家ニ飼育セシメ農家搾乳ヲ爲スヘキ組合ヲ組織セシメ一部ハ生乳販賣トセシムルモ加工法ヲ指導シ所要器具器械購入ニ補助金ヲ交付シテ完全ナル設備ヲ爲サシメ共同加工ニヨリ有利ナル販賣ヲナサシメントス

(二二六) 海苔

現在

海苔組合ノ製品共同販賣施設ニ對シテ獎勵金ヲ交付セル外特記スヘキ事項ナシ

將來

組合ヲ益發達セシメ養殖材料ノ共同購入(二組合又ハ數組合ノ)乾燥用具ノ共同購入及使用ヲ獎勵シ製品ノ共同販賣、販路ノ擴張施設ヲ充分助成セントス

(二二七) 末廣干

現在

末廣干ハ近時其ノ需要ヲ増加シツツアルモ未タ特記スヘキ施設ナシ

將來

共同的製造ヲ獎勵シテ販路ヲ益擴張スヘキ各般ノ施設ヲナシ實地指導講習會ヲ開催シテ製品ノ改良ヲナサントス

(二八) 和 紙

現 在

製紙業者ノ組合ヲ組織セシメ原料ノ共同購入、叩解器ノ共同使用、製品ノ共同販賣ニ獎勵金ヲ交付シテ之レヲ助成シツツアリ

將 來

製紙原料樹ノ栽培ヲ獎勵シテ原料ヲ豐富ナラシメ製紙用器具ノ共同使用設備ヲ充分ナラシメ更ニ製品ノ販路ヲ益擴張シテ販賣ヲ有利ナラシムヘキ施設ヲ助成セントス

(二九) 編 物

現 在

縣ハ編物指導者養成ノ目的ヲ以テ編物講習會ヲ開催シ材料品ノ共同購入ヲ獎勵シツツアルモ未タ製品ハ自家用多クシテ販賣スルニ至ラス

將 來

指導者ノ養成ヲ繼續シ此ノ修得者ヲ中心トシテ編物ヲ普及セシメ材料ノ共同購入ヨリ製作品ノ共

同販賣又ハバザーノ開催ヲ獎メテ市街地婦人副業ノ發達普及ヲ圖ラムトス

尙婦人副業ニ對シテハ近ク設置セントスル副業獎勵會ヲシテ特ニ獎勵セシムヘキ方針ナリ

(三〇) 漁 網

現 在

會社ノ下請ケ仕事ニシテ縣トシテ特記スヘキ施設ナシ

將 來

従業者組合又ハ縣獎勵會ニ於テ一手ニ下請ケヲナシ製品ノ統一検査ヲナシ事業主ノ信用ヲ博スルヲ第一歩トシ進ンテハ生産者ノ自力ヲ以テ器械原料ノ購入ヲナシ製品ヲ自由ニ販賣シ得ル資本ノ充實シタル組合ヲ組織セシムヘク充分ナル助成ヲ爲サムトス

(三一) 羽 織 紐

現 在

事業主ヨリ數階級ノ中繼人ヲ得テ従業シツツアルモノニシテ縣トシテハ未タ何等ノ施設ヲ講シ居ラス

將 來

事業主ヨリ直接引受ケ得ラルル堅實ナル従業者ノ團體ヲ組織セシメ製作法ノ練習會ヲ團體自カラ

開催スヘク獎勵金ヲ交付シ可成從業者ノ位置ヲ高メ有利ナル連絡ヲ取ラシメントス
(三二) 以上ノ外

現在

疊表(三角蘭製)甘藷切干ハ時ニ製作法講習會ヲ開催セシメテ製品ノ改善ヲ助成シツツアルモ其
ノ他ノモノニ至リテハ特記スヘキ施設ナシ

將來

何レモ事情ノ許ス限リ副業組合ヲ組織セシメ共同ノ力ニヨリテ原料ノ仕入器具機械ノ購入又ハ共
同使用ヲナサシメ生産品ノ共同出荷販路ノ擴張ニ對シテ充分ナル施設ヲ助成セントス

愛知縣

一、種類及現狀

種類ハ本縣氣候溫和土地比較的豐沃ニシテ各種ノ農作物ニ適スルヲ以テ農村ニ於ケル副業ノ種類ハ
頗ル多岐多様ニシテ山村漁村農村等ニ依リ其ノ趣キヲ異ニシテ普及發達ヲ圖ラントスル副業ノ種
類ヲ一定ニスルコト至難ナリト雖縣下農業ノ狀態ヨリ察セハ其ノ本業ノ大部分ハ穀菽即米作ヲ主ト
スルヲ以テ之ニ直接關係ヲ有スル業加工ヲ以テ最適セルモノトス

現狀

葉製品 本縣ニ於ケル葉製品ハ尾張三河ヲ中心トセル米作地ハ素ヨリ山村漁村ニ於ケル二十萬農家
ノ大部分ニ於テ生産セラレ其ノ産額二百七十有餘萬圓ニ達ス其ノ生産品別ノ現狀ヲ舉クレハ左ノ如
シ

品名	生産數量	價格	主要郡市名
細包裝	三、四三五、六三九貫	八〇九、六五三	知多、碧海、幡豆
其他類	四六二、〇三五枚	八三、二二二	海部、幡豆、名古屋
其他類	一、〇七八、〇八一	一九四、一八九	西春日井、知多
其他類	五六、三七四	三、八一二	西加茂、幡豆
肥料	一五四、二八九	二八、一七八	幡豆
其他類	二三一、四三三	四二、二六七	幡豆
其他類	四二、八五七	七、八二七	知多、東春日井、
其他類	六、三二一、九四四	三二八、七四一	知多、幡豆、碧海、渥美、西加茂
其他類	九五、三七九	六〇、九〇八	知多、渥美、額田
其他類	二六六、五三七個	八六、〇二三	東春日井、西加茂
其他類	一七二、四二九個	四三、三六五	碧海、西春日井、東春日井、知多
其他類	六二、六一八、一九四	四三六、三八三	丹羽、碧海、渥美

靜岡縣

一、種類及現狀

種類ハ促成栽培、蒟蒻、藁工品、蘭加工及蘭草栽培、麻真田、土產品、淡水養魚トス

現狀

(一) 促成栽培 設備費ノ高價ト栽培技術ヲ要スルタメ一般ニ普及スルノ域ニ至ラス現在約二十萬圓ノ生産額ヲ有シ之ニ半促成栽培ニ依ル生産額ヲ加フレハ約百萬圓ニ達ス

(二) 蒟蒻 本縣蒟蒻栽培ハ主トシテ茶園柑橘園桑園等ノ間作トシテ約四十萬圓ノ産額ヲ有シ單作ヲナスモノ極メテ少シ大正二三年頃ヨリ蒟蒻ノ用途増大スルト共ニ價額次第ニ騰貴シ一般農家ノ注目スル所トナリ其ノ栽培面積モ漸次増大スルニ至レリ而シテ之カ加工ハ極メテ幼稚ニシテ且一部分ニ限ラレ製粉業者ノ如キモ僅カニ四戸ニシテ從ツテ本縣生産ノ蒟蒻ハ生薯ノ儘他縣ニ販出セラルルノ状態ナリ

(三) 藁工品 主ナルモノハ繩、蒾、吠、荷造菰、蠶蒾等ニシテ其ノ産額約二百萬圓ニ達シ縣内需要ヲ充スノミナラス年々約五十萬圓以上ノ縣外移出ヲナシツツアリ而シテ之カ使用機械ノ臺數ハ製繩機二萬三千八百二十五之カ使用戸數二萬四千三百五十七戸、製蒾機一萬五千四百六十、之カ使

用戸數一萬五千五百二十三ニ及フ現在斯業ノ販賣ニ關シテハ産業組合十、副業組合出荷團體等ノ任意組合ニ依ルモノ十アリト雖未タ普及スルニ至ラス

(四) 蘭加工及蘭草栽培 本縣ニ栽培セラルル七島蘭、太蘭、備後蘭ハ其ノ作付面積二百二十町步生産額五十五萬圓ニシテ從來栽培セラルル地方ハ引佐郡、濱名郡ノ二郡ヲ主トセリ其ノ他ハ極メテ小部分ニ限ラレシ状態ニアリシカ之カ加工及栽培ニ就テ普及獎勵ノ結果漸次其ノ面積モ増加スルニ至レリ且蘭加工品トシテハ疊表、太蘭蒾ノ生産ヲ主トセラレ販賣價格二百萬圓餘ニ及フ其ノ加工ハ總テ家内手工藝ニシテ製織縱型斷片織機ヲ使用サレ作業方法ハ専ラ家庭ニ於テ傳統的ニ習得セラレツツアリ

(五) 土產品 本縣ハ天惠ノ溫泉竝名所遊覽地等比較的的多シト雖之等其ノ地ノ土産トシテ其ノ名ノ如ク眞ニ其ノ地ヨリ産シ又ハ加工セル其ノ地ノ特色ヲ有スル細工品甚稀ナリ然レトモ地勢風土等ノ關係上木竹、齒朶、蔓類ノ産出ハ共ニ相當豊富ナルヲ以テ益之カ利用ノ途ヲ研究スルコトヲ必要トス

(六) 麻真田 其ノ製織機械五千臺餘其ノ準備作業ナル連續絲製作機三千臺ヲ有シ製織部ニ屬スル從業者一千人連續絲製作ニ屬スル從業者三千三百人餘ニシテ大正十二年中ニ於ケル生産數量二百十九萬五千反餘其ノ價額六十二萬七百五十圓餘ナリ而シテ連續絲製作ハ家庭副業トシテ殊ニ魚村

市街地ニ於テ適當ナルモノナリト雖器具機械ノ購入及原料ノ購入費ハ從業者ノ負擔ヲ大ナラシメ

一般ニ普及スルニ至ラス爲ニ本縣ニ於ケル該連續絲ハ現在隣縣ノ供給ヲ仰キツツアル状態ナリ

- (七) 淡水養魚 本縣溜池利用ノ狀況ハ個所數四百十六、面積二百五町步餘ニシテ現ニ養殖ニ利用セラルルモノ六十八個所其ノ面積四十二町步ニシテ未着手ノモノ三百四十八個所其ノ面積百六十三町步ヲ有シ未タ利用ノ餘地極メテ大ナリ且稻田養鯉ニ至リテハ現ニ利用シツツアル面積僅ニ十四町步其ノ生産額三千貫ニ充タサルノ状態ニシテ之又普及ノ餘地大ナリ而シテ現ニ養殖サレツツアル養魚ハ鯉鰻鮒ヲ主トス

二、現在及將來ノ獎勵施設

現在

- (一) 土產品 特ニ獎勵施設ナシ
- (二) 麻真田 麻真田麻玉同業組合ニ對シ検査員設置費トシテ補助金ヲ交付シツツアリ
- (三) 淡水養魚 特ニ獎勵施設ナシ

將來

- (一) 促成栽培 現在ハ生産増殖ノ獎勵ニ努メ販賣ニ關シテ組合設置ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ尙生産増殖ノ爲温床、温室設置ニ對シ補助シ販賣ニ付テハ副業組合、出荷團體、産業組

合ノ設置ヲ獎勵セントス

- (二) 蒟蒻 現在ハ種薯購入及共同種苗圃設置ニ對シ補助ヲナシツツアレ共將來ハ之等ノ外尙郡市團體ノ生産増殖施設ニ對シ補助助成シ加工ニ至リテハ加工技術ニ對スル講習傳習會ヲ開催シ共同販賣機關設置ヲ獎勵セントス

- (三) 藁工品 現在ハ團體ノ副業用機械器具ノ購入ニ對シ補助シ尙生産及販賣ノ共同組織ニ對シ助成爲シツツアレ共將來ハ此ノ外生産増殖ヲ圖ル爲機械器具ノ購入ニ對シ補助シ販賣ニ關シテハ同一副業ニ従事スル者ノ小團體ノ設置ヲ獎勵シ進ンテ之カ聯合組合ノ設置ヲナサシメ製品ノ統一改善ヲ圖ラントス

- (四) 藺加工及藺草栽培 現在ハ藺草生産増殖及製織機購入ニ對スル郡市町村團體ノ施設ニ對シ獎勵金ヲ交付シ尙競技會、講習會、傳習會ヲ開催シ技術ノ進歩能率ノ増進ヲ圖リツツアレ共將來ハ是等施設ノ外製織作業改善トシテハ工業試驗場ヲシテ研究セシムルト共ニ益能率増進ヲ圖ル爲傳習會競技會ヲ開催シ尙講習傳習會ヲ各地ニ開催シテ普及ヲ圖ル外機械器具ノ購入ニ對シ補助セントスル郡市町村團體ニ對シ獎勵金ノ交付ヲナサントス

- (五) 土產品 現在ハ特ニ獎勵施設ナキモ將來ニ於テハ製作考案ノ改善ニ關シ工業試驗場ヲシテ益研究セシメ尙傳習會講習會ヲ開催シテ技術ヲ練磨シ土產品ノ產出ト共ニ日用家具類トシテノ生産

販賣ヲモ獎勵シ農村ノ振興ヲ圖ラントス

- (六) 麻真田 麻真田麻玉同業組合ニ對シ検査員設置費トシテ補助金ヲ交付シツツアレ共將來ハ更ニ製作改善ニ付工業試驗場ヲシテ研究セシムルト共ニ傳習會ヲ開催シ技術ノ修得ヲ圖ラントス
- (七) 淡水養魚 現在ハ何等獎勵施設無キモ將來ハ養殖法ニ對スル知識技術ノ普及ニ努ムルト同時ニ鯉、公魚、鱒ノ種苗ヲ購入配付セントス

山 梨 縣

一、種類及現狀

種類ハ蠶表、椎茸、山葵、土產品、甲斐絹、養豚竝其ノ加工、養殖トス

現 狀

- (一) 蠶表 縣内ニ於ケル需要額年々二十萬圓以上ニシテ之等ハ主トシテ岡山、廣島、静岡ノ各縣ヨリ移入シ殊ニ近年琉球表ノ移入益多シ故ニ蘭草ノ栽培ハ有利ト認メ最近各郡市農會ニ於テ試作ノ結果良好ナリ
- (二) 椎茸 縣内ノ産額五千四百五十貫ニシテ其ノ約八割ハ静岡縣ノ問屋又ハ仲買人カ競フテ購入シ常ニ其ノ産額ノ少ナキヲ遺憾トセリ

- (三) 山葵 現在産額約六十貫價額三萬五千圓ノ少額ニシテ北都留郡丹波山村、小管村、七保村ヲ主産地トス而シテ大需要地ニ接近セル關係上需要益増加シツツアレハ販路ニ付顧慮スルノ要ナシ
- (四) 土產品 本縣ハ雜木多キヲ以テ山村ノ副業トシテ獎勵ノ結果近來幾分市場ニ搬出シ稍々成績ノ見ル可キモノアリ

- (五) 甲斐絹 南北都留郡ヲ主産地トシ從業戸數一萬千二百九十戸從業人員一萬三千八百人ナリ然ルニ何レモ在來式ノ繰絲機ヲ用ヒ生産上二三割ノ損失ヲ蒙リツツアルヲ以テ改良セントス
- (六) 養豚竝加工 大正六年末ニ於テハ七百頭ニ過キサリシモ自給肥料ノ製造ト勤勞美風助長及收入増加ヲ計ルノ一端トシテ獎勵ノ結果一躍六千頭ニ上リタルモ近來價格暴落ノ結果至大ノ影響アリ故ニ之カ緩和策トシテ加工ヲ獎勵セントス
- (七) 水産 大正六年ヨリ富士山麓ノ各湖ニ適當ナル淡水魚ヲ放流シテ養殖シ又稻田養鯉モ多少行ハル

二、現在及將來ノ獎勵施設

- (一) 副業組合ノ獎勵 現在百六十八組合アリ中養豚組合三十七ヲ算シ更ニ縣下ヲ一圓トセル山梨養豚畜産組合ヲ設置シ居レリ何レモ先進地又ハ需要地ニ視察員ヲ派シ事業ノ改善發達販路ノ擴張

ニ留意シ稍發展ノ緒ニ著キタルモ近來經濟界ノ不振ノ爲其ノ運用意ノ如クナラサルヲ以テ將來適當ノ箇所ニ市場又ハ販賣斡旋所ヲ設置シテ直接消費團體間トノ大量取引ヲ容易ナラシメ以テ圓滿ノ發達ト生産品ノ價格維持ヲ期セントス

(二) 講習會傳習會等

疊表 蘭草試作ノ結果良好ナルヲ以テ將來適地ト認ムル地方ニ其ノ栽培ヲ促シ又加工傳習會ヲ開催セントス

椎茸 生産ノ増殖ヲ圖ラム爲大正十三年度ヨリ實地指導ヲ行ヘル箇所三十六箇所ニ及ヒ實習地ヲ設ケテ之カ仕込ヲ了シタリ然レトモ當業者ノ技能未タ幼稚ニシテ之レカ發達ハ前途瞭遠ナリ

山葵 栽培獎勵ノ爲大正十三年度ヨリ技術員ヲ設置シテ講習講話及實地指導ヲナシ且指導地五箇所ヲ選定シテ苗七萬三千本ヲ購入シ指導栽培ノ計畫中ナルカ將來ハ加工品ノ傳習會ヲ開催セントス

土產品 大正十二年ヨリ技術員ヲ常設シ必要ナル器具機械ヲ備ヘ適當ナル山林農村ニ傳習所ヲ設置セリ又大正十四年度ハ本縣農會ニ於テ農民美術ノ傳習所ヲ設ケ技術ノ啓發ヲ促カサントセルモ經費少額ナルヲ以テ短期講習ノ止ムナキヲ憾ム然レトモ傳習ノ成績ニ依リ縣ハ將來之レカ開發ノ計畫ヲナサムトス

養豚 將來豚價下落ノ際ニ於テ緩和策トシテ豚肉ノ加工ヲ獎勵セムトシ斯業ニ熟練セルモノヲ招聘シ傳習會ヲ開催セムトス

水産 富士山麓ノ湖水産魚類ヲ利用シテ富士登山者ノ土產品トナル可キモノヲ製作セムトシ大正十三年度ニ於テ加工講習會ヲ開催シ之レカ練習ニ努メシメ又稻田養鯉ノ獎勵ニ伴ヒ池沼ヲ利用シテ遺利ヲ圖ラムトシ大正十四年度ヨリ之レカ獎勵ニ努メントス

(三) 器具機械ノ設備

土產品製作ニ要スル器具機械ハ大正十二年ヨリ設備セリ在來ノ甲斐絹用ノ繰絲機ヲ改良足踏機ニ改善セントシ十四年度ヨリ購入獎勵ノ途ヲ講シタルモ經費少キ爲之カ目的ヲ達シ得ス次年度ヨリ一層之カ助成ニ努力セントス

湖產生魚ノ販賣ヲ圓滑ナラシムル爲將來生魚輸送上ノ必要ナル器具機械ヲ設置セントス

(四) 技術員ノ設置及實驗所ノ設置

椎茸ノ栽培ニ付テハ大正十三年度ヨリ常設技術員ヲ置ク

山葵ノ栽培獎勵上大正十三年度ヨリ技術員ヲ設置ス

雜木利用ノ目的ヲ以テ大正十二年ヨリ常設技術員ヲ置ク

富士山麓ノ湖水ニ淡水魚ヲ養殖スル爲臨湖實驗所ヲ設ケ帝國大學ノ教授ニ囑託シテ之レカ調査ヲ

行ヒ且水産指導上遺憾ノ點多キヲ以テ將來技術員ヲ設置セムトス

滋賀縣

一、種類及現況

- (一) 藁細工(繩、蒔、吹) 本縣ノ藁製品最近年産額三百五十萬圓ニシテ内製繩ハ京阪地方ノ多大ノ需要アルモ供給不足ノ状態ニアリハ日本電氣化學工業株式會社及大阪鹽專賣局トニ供給シツツアルモ生産不足ナリ加之原料藁極メテ豊富ニシテ最本縣ニ好適ノ副業ナリ
- (二) 畜牛ノ肥育 本縣ニ於テ古キ歴史ヲ有シ副業的畜産トシテハ最有利ナル事業ナルヲ以テ縣ニ於テハ普及發達ヲ計リ脂肪ヲ充實セシメ成績顯著ナルモノトス
- (三) 養魚 稻田養鰻其他ノ養魚事業ハ最近著シキ發達ヲ遂ケ年々數千萬ノ青兒ヲ要スルモ鰻卵ノ孵化設備尠少不完全ニシテ縣内ノ需要ヲ充ス能ハス年々奈良縣等ヨリ多量ニ移入シツツアリ
- (四) 園藝 交通至便ニシテ京阪ノ大消費地ニ近ク園藝品ノ需要多大ナルニ不拘從來専ラ加工副業ノ獎勵ニ主力ヲ注キタルタメ園藝的副業ノ發達比較的遅レタル現状ニアリ
- (五) 木竹製品 種類多ク年産額最近三箇年平均五十六萬圓餘ニ達スルモ從業者ノ多クハ舊態ヲ墨守シ嗜好ノ變遷ニ副ハス從ツテ製品ノ構造、意匠、染色方法等時流ニ伴ハサルタメ動モスレハ聲

- 價ヲ失墜シ販路ヲ失ヒ或ハ他ノ物價ニ隨伴セサルノ傾向アリ
 - (六) 真綿加工 真綿ハ最近ノ年産額百四十七萬八千圓ニ達スルモ皆粗製品ニシテ僅カニ阪田郡息長村法性寺村長濱町附近ニ於テ袋真綿ヲ製造スルニ止マレリ
 - (七) 酪農 乳牛ノ飼育未タ幼稚ナリト雖京阪ノ大消費地ヲ控ユル關係上將來發展ノ見込アリ
 - (八) 養鷄
- 二、現在及將來ノ獎勵施設

現在

將來

(一) 藁細工	豫算	現在ハ吹ノ検査ノミナルモ明年度以後繩、蒔、吹全部ニ渡リ生産並移出検査ヲ行ハムトス
(イ) 製器検査	八九〇圓	同様
(ロ) 競技會開催	三〇〇	同様
(ハ) 講習會ノ開設	三〇〇	同様
(ニ) 運賃補助	五〇〇	同様
縣外へ新タニ移出シタル藁細工品ノ運賃補助		
(ホ) 共同團體獎勵費		大正十四年度中ニ更ニ五十組合ヲ増加スル見込ニテ此ノ組合ノ經費並設備費ニ對シ將來引續キ補助金ヲ交付セントス
藁細工生産ノ共同團體事業獎勵二萬四百九十五圓中ヨリ支出大正十三年度末ニ於ケル		

糞細工副業組合ハ百十五聯合會一ナリ

(ハ) 器具機械ノ購入補助

郡農會ヲ經テ二萬四百九十五圓中ヨリ支出

(ト) 共同作業場ノ建設獎勵

郡農會ヲ經テ二萬四百九十五圓中ヨリ支出
目下共同作業場四荷造壓搾所三繩再製所五
ナリ

(二) 畜牛肥育

(イ) 指導牛ノ設置 大正九年以來設置シタ

ルモノニシテ毎年二十二頭宛(四百四十圓)

ナルモ十四年度ニ於テハ四十箇所即四十頭

(六五〇)ヲ設置セントス

(三) 鯉兒養成

(一) 鯉兒養成ニ關スル共同施設補助縣下適

當ナル三箇所ニ産卵孵化場共同施設ヲナサ
シム豫算二百二十五圓

(四) 園藝的副業

(イ) 草花盆栽ノ栽培

前項同様引續キ獎勵ヲナサントス

明年度ヨリハ左記ノ獎勵ヲナサントス

集積倉庫ノ建築以テノ荷造壓搾作業場糞打工場繩
再製工場

京阪附近ニ肉ノ供給上全縣下ニ之ヲ普及發展セシ
メントス

引續キ毎年三箇所宛適當ノ場所ヲ撰ヒ補助金ヲ交
付シ水産試驗場ノ直接指導ノ下ニ該事業ノ發達完
成ヲ期ス

引續キ共同團體ノ獎勵ヲナスト共ニ明年度以後ハ

共同團體ヲ組織セシメ之ニ獎勵金ヲ交付ス
特殊副業共同團體獎勵費一、〇〇〇圓

(ロ) 促成栽培ノ設備ニ對シ獎勵金ヲ交付シ
又特殊副業品共同團體獎勵費トシテ一、〇
〇〇圓ヲ交付ス

(五) 木竹製品

郡農會ヲ通シ各種木製品竹細工品等ノ生産獎
勵ヲナス豫算二萬四百九十五圓中ヨリ支出

(六) 眞綿加工

眞綿加工獎勵阪田郡農會ニ補助金ヲ交付シ袋
眞綿其ノ他ノ加工講習會ヲ開催セシム
豫算二萬四百九十五圓ヨリ支出

京阪ノ市場ニ出張所ヲ設ケ直接販賣ノ方法ヲ講セ
シメ販路ノ開拓ニ努メントス
更ニ農産加工(澤庵漬、グリーンピース、干瓢、トマト
ソース、トマトケチャップ等)ニ對シ共同設備
竝共同出荷ヲナサシメ之ニ補助金ヲ交付セント
ス

縣下主ナル名勝ノ地ニ於ケル土産品ノ生産竝改良
方法ヲ講セシメ之ニ對シ助成ヲナサントス
石山寺(團扇)、三井寺(大津人形其ノ他木製品)、竹
生島(竹細工品)、多賀神社(杓子、箸)、伊吹山(藥
草、木製品)

目下長濱町法性寺村ヲ中心トシテ作リツツアルモ
ノハ主トシテ三越吳服店ニ販賣スル袋眞綿ナルヲ
以テ明年度ヨリハ更ニ彦根大津等ヲ中心トシテ附
近ノ農家ニ之カ加工ヲ獎勵シ需要ヲ京阪ノ市場ニ
擴メントス

(七) 種 苗

- (一) 大正十四年度ヨリ行フ事業
- (イ) 果樹苗木ノ育成配付
- (ロ) 母樹園ノ經營
- (ハ) 特用作物種苗ノ配付、蒟蒻、桐、棕
- (ニ) 蔬菜種子ノ配付又ハ採種販賣、近江蕪菁、日ノ菜、赤蕪等ノ本縣特有ノ種子
- (ホ) 紫雲英種子ノ採種配付副業トシテ採種ヲナシ他ハ移出販賣ス

(八) 酪 農 組 合

大正十四年度ニ於テ經費五〇〇圓ヲ支出シ一町村ヲ區域トシ酪農組合ヲ組織スルモノハ乳牛及酪農器具機械購入ノ事業ニ對シ獎勵金ヲ交付ス

(九) 養 鶏

種禽種卵種雛ノ配付大正九年以來改良セルモノヲ農會並町村農會其ノ他ノ團體ニ配

將來事業ヲ繼續シ組合設置ヲ獎勵セムトス

引續キ同上ノ配付ヲナシ其ノ種ヲ漸次増加セントス更ニ優良種禽ヲ選拔出品セシメ長期ノ産卵競技

岐 阜 縣

一 種類及現狀

種類ハ藁工品、麥酒壘苞、竹細工、農産物ノ加工、製茶、鶏、豚、兎トス

付シツツアリ十四年度ニ於テハ種禽、種雛三百五十羽種卵貳十顆ヲ配付セントス此ノ豫算千三十九圓

會ヲ開催セントス

(一) 藁工品 從來管内ニ於テハ販賣ノ目的ヲ以テ藁工品ヲ生産スル地方極メテ少ク農家ノ大半、辛ウシテ自家用品ノ加工ヲ爲スニ止リ而モ尙家庭用蒾及農用蒾ノ如キハ之ヲ購入使用スルモノ頗ル多ク加フルニ縣下ノ此ノ種藁工品ノ需要ハ益増加ノ趨勢ヲ示シツツアルニ拘ラス管内ノ生産ハ到底之カ需要ヲ充シ得サルノ現狀ニアリ爲ニ靜岡、愛知、三重、滋賀、富山、福井、石川、兵庫、香川、岡山ノ諸縣ヨリ移入スル額一箇年約四十一萬圓ニ達スルノ狀況ナリ而シテ大正七年以來極力縣ノ獎勵ノ結果最近ニ於テハ改良一人織製蒾機約一千臺、製繩機六千臺ヲ購入使用スルニ至リ其ノ生産額ハ自家用ヲ除キ約二十萬圓ニシテ益進展ノ氣運ニ向ヒ組合ノ設立次第ニ多キヲ加ヘツ

ツアリ

(二) 麥酒樽苞 管内ヨリ生産セラル麥稈ハ實ニ千二百四十五萬餘貫ニ達シ從來之カ利用ハ單ニ屋根葺、蔬菜ノ敷藁或ハ肥料トシテ使用セラルルノミニシテ之カ他ニ利用セラルル途ナカリシニ近年局部的ニ麥稈ヲ利用シテ樽苞ヲ製作販賣スルモノアリ次テ大正十三年ニハ大日本麥酒株式會社ニ於テ使用スヘキ樽苞購入ニ關シ同社ヨリ之カ製作獎勵方ノ申出アリタルト共ニ斯種仲買商人ヨリモ亦買入方ヲ申出ツルモノ續出シ最近ニ於テハ管内ニ之カ買取販賣ヲ目的トスル株式會社ヲ組織準備中ノモノモ現ハルルニ至レル等大イニ樽苞製作ノ機運ヲ醸成シツツアリ

(三) 竹細工 斯業ハ管内廣ク普及シ安八郡下宮村ノ如キハ既ニ明治十一年來副業的ニ日用家具養蠶業具、漁業用具加工ニ從事シツツアリテ現在從業戸數百餘戸年額三萬餘圓ニ達シ其ノ製品ハ管内並愛知、大阪、北海道ニ搬出シツツアリ尙管内雨傘ノ生産ハ五百萬圓ニ達シ從ツテ之ニ使用スル傘骨ノ如キモ價額百萬圓ヲ使用スルノ状態ナルヲ以テ之カ生産地タル稻葉郡加納町及岐阜市ニアリテハ事業的ニ傘骨ノ製造ヲ行ヒツツアルモノ多ク一面農村ニ於テ副業的ニ加工ヲ行フ者亦少カラサルノ實狀ニシテ竹細工ノ年産額百二十萬圓ニ達シ重要ナル生産物ノ一タルヲ失ハス

(四) 農産物ノ加工

(イ) 大根澤庵漬、大根切干、甘藷切干 大根、甘藷ハ管内ニ於ケル蔬菜ノ大宗ニシテ年々縣外ニ

相當多額ニ移出セラレタレトモ多クハ生ノ儘ニシテ此ノ間生産者タル農家ハ常ニ不利ノ立場ニアリシヲ以テ縣ハ一面ニハ之ヲ除キ他面ニハ冬季農閑時ノ餘剩勞力ヲ利用シテ之ニ加工セシメ以テ收益増加ニ努メシムヘク之カ加工ヲ獎勵シタルニ其ノ成績良好ニシテ大根澤庵漬ノ如キハ副業組合ニ於テ百餘樽ヲ試験的ニ漬込ミソレカ試賣ヲ行ヒ市場ノ好評ヲ博シツツアリ又甘藷切干ノ如キモ之カ製造ヲ行ヒ特ニ切干専用種ヲ購入栽培シテ之カ製造ヲ行フヘク準備セル地方少カラサルノ狀況ナリ

(ロ) 凍豆腐 從來管内恵那、益田、吉城、大野ノ諸郡ニ於テ冬期自家用ノモノヲ製造シツツアルモ其ノ製法ハ在來法ニヨルモノノミナルカ故ニ品質極メテ劣等ニシテ到底賣品トシテノ價値ナキノ状態ナルヲ以テ之カ製法ノ改良ヲ促スヘキモノ多シ

(五) 製茶 管内不破、揖斐、武儀、郡上、加茂並其ノ他ノ郡ニ於ケル製茶ハ農家ノ副業トシテ好適ノ事業ニシテ年産額八十萬圓餘ニ達スト雖其ノ製法販賣法並茶園管理上尙幾多改善ヲ要スヘキモノ少カラス

(六) 鶏、豚、兔 獎勵ノ結果飼養數逐次増加ノ傾向ニアリ現在鶏ハ成禽雜合計七十餘萬羽豚一萬頭兔二萬頭ニ達シ之カ組合數ハ鶏四十七豚兔三十九ニ達ス

二、現在及將來ノ獎勵施設

- (一) 藁工品 現在ハ共同組合ノ製作機械購入共同事業又ハ倉庫建築ノ共同設備ニ對シ補助シ或ハ傳習會開催ヲ獎勵シ教師ヲ派遣シテ指導シ競技會ヲ開催スル等ノ施設ヲ爲シツツアルモ將來ハ現在施設ヲ繼續シ同種組合ヲ網羅シテ郡一圓ヲ區域トスル聯合會ヲ組織セシメ製品ノ共同販賣ヲシテ一層有利ニ進展セシメントス
- (二) 麥酒釀造 現在ハ製作宣傳ヲナス外何等施設ナキモ將來ハ共同組織ヲ獎勵シ製品ノ検査荷造ノ統一原料ノ共同購入ヲ行ハシムヘク助成シテ之カ助長ヲ圖ラントス
- (三) 竹細工 現在ハ傳習會ヲ開催セシメ之ニ對シ教師ヲ派遣シ或ハ補助助成ヲナシツツアルノミナレ共將來ハ現在施設ノ外共同販賣、共同設備又ハ原料ノ共同購入等共同組織ノ下ニ行フ事業ニ對シテ補助助成セントス
- (四) 農産物 現在ハ教師ヲ派遣シ指導ナシツツアレ共將來ハ現在施設ノ外共同事業ヲ助成セントス
- (五) 製茶 現在ハ教師ヲ派遣シ共同製造ニ付テ機械ノ設備ニ對シ助成シツツアルモ將來ハ更ニ諸機械購入ニ對シ補助金ヲ交付セントス
- (六) 鶏豚兎 現在ハ組合ヲ獎勵シ餌料ノ共同購入、共同育雛、種禽種畜ノ共同飼養、共同販賣其ノ他共同設備ヲ獎勵シテ之カ經費ニ對シ補助金ヲ交付シツツアレ共將來ハ尙共同組織ノ普及ヲ徹底セシメ進ンテ郡ヲ區域トスル聯合會ヲ組織セシメ直接市場ニ搬出セシメントス

長野縣

一、種類及現狀

種類ハ杞柳細工、蜀黍等製造、凍豆腐製造、竹細工、手工的土產品ノ製作、生絹製織、干柿製造、鯉、鰻、鱒、公魚、其ノ他魚介類ノ養殖、木炭トス

(一) 杞柳細工 本縣ニ於ケル杞柳ノ栽培反別ハ大正十二年度ニ於テ百七十九町步其ノ收穫高十六萬七千貫價額凡二十萬圓アリ之カ加工品ハ主産地下高井、上高井、下水内、北佐久ノ諸郡ニシテ從業戸數二百七十六戸製品産額十七萬圓其ノ大部分ハ副業生産ニシテ東京近縣ニ移出セラル然レ共其ノ加工利用ハ以上ノ如ク生産原料ノ三割内外ヲ消費スルニ過キス杞柳ノ大部分ハ原料ノ儘ニテ縣外へ移出セラレツツアルノ現狀ナルヲ遺憾トス

(二) 蜀黍等製造 主産地ハ東筑摩郡、下高井郡ニシテ年産額二十三萬八千本價額十三萬三千圓從業戸數約二百戸其ノ販路ハ縣内及北越方面トス其ノ生産最モ盛ナルハ東筑摩郡芳川村及下高井郡平岡村ナレ共近年原料ノ試作講習會ノ開催等ニヨリ縣下各地ニ普及セントスルニ至レリ而シテ東筑摩郡ニ於ケルモノハ原料黍穂ノ大部分ハ栃木縣産ノモノヲ移入シ使用シツツアリ下高井郡ニ於

テハ同地方ニ栽培シツツアレ共從來其ノ栽培收穫ノ方法適當ナラザリシ爲原料ノ品質劣等ニシテ優良製品ニ適セザリシカ近年栽培法漸次改良セララルニ及ヒ製品モ亦改善セララルニ至レリ

(三) 凍豆腐製造 北佐久、南佐久、諏訪、上伊那、下伊那、東筑摩各郡ヲ主トシテ其ノ他各郡ニ普及シ從業戸數千七百七十戸年産額二十九萬四千圓其ノ販路ハ在來製品ハ縣内ヲ主トシ群馬、山梨縣ヘ移出シ高野式製品ハ關西地方ヲ主トシテ東京方面ヘ移出ス而シテ從來ノ製品ハ品質形狀不統一且製法適當ナラサル爲縣外ニ販路乏シク其ノ發達遲々タル狀況ナリ

(四) 竹細工 主ナル産地ハ東筑摩、下高井、上水内、諏訪各郡ニシテ從業戸數五百餘戸年産額十九萬圓販路ハ竹行李ハ縣内及新潟、富山其ノ他近縣ニ移出シ其ノ他ノ製品ハ主トシテ縣内ニテ消費セララル竹細工ノ主ナルモノハ行李、箆類、蠶籠、繭籠等ナリ

(五) 手工的土産品ノ生産 本縣ニハ社寺、温泉、避暑地、高山等多ク四時來遊者頗ル多數ニ達スレトモ其ノ遊覽ヲ記念セシムルニ足ルヘキ適當ナル土産品ニ乏シ之カ製作ハ農家副業トシテ適當ト認メ獎勵ニ努メツツアリテ現在此ノ種事業ヲ經營セル副業組合五箇アリ

(六) 生絹製織 埴科郡更級郡ヲ以テ主産地トシ從業戸數約四千五百戸年産額四萬五千疋其ノ價額四十三萬圓販路ハ群馬縣、東京、京都トス生絹ハ其ノ製法簡易ニシテ農家婦女子ノ副業ニ好適シ

且本縣ハ原料玉繭ノ生産頗ル豊富ナルヲ以テ縣下各郡ニ互リ普及シツツアリ副業トシテ將來最有望ナルモノト認メラル

(七) 干柿製造 小縣、下高井、下伊那、北安曇各郡ヲ主産地トシ年産額生柿三百五十九萬貫八十八萬五千圓干柿二十六萬貫二十二萬五千圓販路ハ主トシテ縣内ノ外關西方面トス柿ハ宅地利用栽培ニ適シ殊ニ本縣ノ風土其ノ生育ニ適セルヲ以テ縣下到ル所ニ栽培セラレツツアルモ品種ハ雜多ニシテ劣等ナルモノ少カラス加工品ニ至リテハ原料適當ナラサルモノアリ或ハ製法宜シキヲ得サル等ノ爲優品ニ乏シキ憾アリ

(八) 鯉、鰻、鱒、公魚、其ノ他魚介類ノ養殖 本縣ノ養殖ハ面積二千八百二十七萬二千五百五十七坪年産額三十五萬九千九百九十七貫百一萬一千七百二十六圓ニシテ其ノ九割ハ副業的の生産ナリ

(九) 木炭 縣内各郡ヨリ産シ從業戸數約二萬戸年産額一千二百萬貫販路ハ縣内及東京、群馬、愛知、大阪方面トシ漸次聲價ヲ高メ來リツツアレ共尙築窯方法ノ改善製炭技術ノ向上ノ圖ルヘキモノ多シ

二 現在及將來ノ獎勵施設

(一) 杞柳細工 現在ハ杞柳細工ノ普及改善ノ爲郡市町村農會ノ講習會開催及組合ノ共同販賣ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ是等施設ヲ繼續スル外更ニ製品ノ統一改善ヲ圖ル爲適當ナル

團體ヲ組織セシメ且販路及製作技術ノ研究調査ヲ行ハントス

一四〇

(2) 蜀黍等製造 現在ハ郡町村農會ノ講習會開催及組合ノ共同販賣ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ是等ノ施設ヲ續行シ製品ノ統一改良副業組合ノ共同購入共同販賣事業ニ對シ一層指導獎勵ニ努メントス

(三) 凍豆腐製造 現在ハ毎年數箇所ヲ選ヒテ講習會ヲ開催セシメ獎勵金ヲ交付シ尙製造技術ノ改良ト製品ノ統一販賣ノ改善ヲ圖ル爲副業組合ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ指導教師ヲ設置シ尙技術者養成ノ爲各産地ノ從業者中適當ナルモノヲ選ヒテ製造工場ニ依託シテ技術ノ傳習ヲ爲サシメ之ニ對シ相當補助交付ヲ行ヒ且凍豆腐製造組合聯合會ニ助成シテ斯業ノ改良發達ヲ圖ラントス

(四) 竹細工 現在ハ獎勵金ヲ交付シテ講習會ノ開催共同販賣ノ獎勵ヲナシツツアレ共將來ハ現在施設ヲ繼續シ且傳習其ノ他普及ニツキ計畫セントス

(五) 手工的土產品ノ生産 現在ハ日本農民美術研究所ニ囑託シテ土產品ノ調査並新考案ヲナサシメ講習會ヲ開キ生産組合ノ助成ヲナスノ外展覽會ノ開催ソノ他ノ方法ニヨリ製作品ノ紹介ト販賣斡旋ニ努メツツアレ共將來ハ是等施設ヲ續行スルト共ニ現在教習機關ヲ擴張シテ農閑期ニ於ケル工藝講習所ヲ設置シ單ニ土產品ノミナラス各種手工藝品ノ教習ヲモ行ヒ又農民美術研究所ニ依託

シテ指導者ヲ養成シ尙各生産組合聯合ヲ以テ各種手工藝品展覽會ヲ開催セシメ之ニ對シ助成ヲ行ハントス

(六) 生絹製織 現在ハ生絹其ノ他副業的染織業ノ普及發達ヲ圖ル目的ヲ以テ縣立染織講習所ヲ設置シ生徒ノ教養ヲナシ又地方ニ於テ開催ノ講習會ニ教師ヲ派遣シ又獎勵金ヲ交付シテ講習會ノ開催組合ノ設置ヲ獎勵スルノ外染織業團體ニシテ製品ノ統一ヲ圖リ販路ノ擴張ニ資シ又屑絲利用ノ調査研究ヲ爲シタル場合ハ其ノ事業費ニ對シ獎勵金ヲ交付セントシツツアリ而シテ將來ハ現在施設ニヨリ益之カ指導獎勵ニ努メントス

(七) 干柿製造 現在ハ獎勵金ヲ交付シテ講習會ノ開催組合ノ設置獎勵ヲナシツツアレ共將來ハ是等施設ヲ續行スル外縣農事試驗場ヲシテ柿ノ品種調査ヲ行ハシメ以テ良品種ノ普及ヲ圖ラントス

(八) 鯉、鰻、鱒、公魚其ノ他魚介類ノ養殖 現在ハ虹鱒三萬尾ヲ南安曇郡上高地梓川上流ニ放流シ之カ増殖ヲ計リ同鱒卵ノ採卵地タラシメントシ又諏訪湖産公魚卵五千萬粒ヲ採卵シ此ノ無償配付ヲ行ヒ鱒ノ人工採卵ヲナシ諏訪湖へ放養シ以テ鱒、公魚、鰻ノ養殖ヲ獎勵シ尙之等ノ魚苗ノ配給斡旋ヲ行フト共ニ之等事業ノ實地指導ヲ爲シツツアレ共將來ハ更ニ稻田養鯉、鱒、鱒、鰻等ノ池中養殖ニ對シ縣下適當ノ營業者ヲ選定シ相當ノ補助ヲ與ヘ標準的養殖法ノ指導ヲナシ養鯉ノ採苗業者ニ對シ組合ヲ設立セシメ相當ノ補助ヲ與ヘ同事業ノ普及發達ヲ圖リ尙魚苗ノ配給所ヲ設

一四一

置シ鯉、鰻、鮪、公魚、岩魚、鱒、鰻、蚪等ノ魚苗ヲ無償又ハ實費ニテ配給シ縣下ニ於テ未タ養殖業ヲ普及セサル地方ニ圓滑ナル配給ヲナサントス

(九) 木炭 現在ハ縣ニ於テ長野縣木炭業組合聯合會ニ補助金ヲ交付シテ指導員ヲ設置セシメ縣内各地ニ於テ製炭講習會及實地指導ヲ行ハシメ之カ普及徹底ニ努メツ、アレ共將來ハ是等施設ヲ繼續スルト共ニ主要各郡ニ木炭同業組合ノ設置ヲ勸奨シ優良品多産ノ方法ヲ講セントス尙前記聯合會ハ信濃山林會ト提携シテ長期製炭研究會ヲ開催シテ指導員及木炭検査員ノ養成ヲ企圖シツ、アリ

宮 城 縣

一、種類及現狀

種類ハ藁工品、養鶏、玉繭及屑繭整理、竹細工トス

(一) 藁工品 年産概數約三十三萬圓其ノ從業戶數一萬餘戶ニ及ヒ藁稈推定七百七十三萬貫ノ約一割ヲ消費セルモ現在ハ萎靡トシテ振ハス然レトモ原料ノ豊富ナルト冬季ニ於ケル農家ノ餘剩勞力ノ關係販路ノ情勢ヨリ將來有望ノ副業ニシテ製品ハ縣内ニ於テ消費セラルルノ外岩手縣地方ニ

移出ス最近ニ至リ精巧ナル縫織機又ハ製繩機等ヲ購入シ生産ニ從事スル爲著シク其ノ生産額増加セルヲ見ルニ至レリ

(二) 養鶏 本縣農家副業トシテ重要ノ位置ヲ占メ近年著シク發達シ大正十二年ニ於テ飼養戶數六萬一千餘戶家禽ノ羽數六十八萬八千餘羽産卵ノ價額百十七萬六千餘圓ニ達シタリト雖尙普及發達ノ餘地多シ而シテ飼養ノ最多キハ栗原登米ノ兩郡ニシテ桃生宮城兩郡之ニ次キ其ノ鶏肉及産卵ハ遠ク東京北海道其ノ他各縣ニ移出サル

(三) 玉繭屑繭ノ整理 玉絲真綿製造ハ器械製絲ノ盛ンニナルト共ニ漸次衰頹シ現今ハ年産額十六萬三千貫價額四十五萬六千圓ナリ從來ノ商慣習ヲ見ルニ之等ハ殆ト全部上繭ノ賣却ニ際シ無代價ヲ以テ仲買人ノ掌中ニ收メラルモノ多キ實情ニ在ルヲ以テ之等ハ其ノ儘之ヲ販賣セスシテ各戶農家ニ於テ處理加工スルヲ有利トス

(四) 竹細工 主トシテ仙臺市玉造郡栗原郡ニ産シ大正十二年ノ總生産額六十五萬三千圓製造戶數一千六百餘戶アリ從來多クハ農蠶具及炊事用具ヲ製出シタルモ近年竹行李ノ生産モ亦尠カラズ殊ニ仙臺市ニハ美術的高級品ノ作品モ漸次發達ノ傾向アリ策ハ奥羽各縣及關東地方ニモ移出セラレ前途有望ナルモ技術一般ニ幼稚ナルヲ遺憾トス

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 藁工品 縣ハ組合ノ設立、機械ノ購入ヲ助成シ殊ニ最近ハ器械ノ共同購入、共同作業、製品ノ共同販賣等共同施設ヲ獎勵スル外競技會開催ヲモ獎勵シツ、アレトモ將來ハ藁ノ取扱及乾燥方法ニ向ツテ一段ノ改善ヲ加ヘ原料ノ質ノ向上ヲ圖リ且藁質ニ應シテ製品ノ種類ヲ選ハシムルト共ニ傳習會ヲ開催シ更ニ製品ノ改善統一ヲ圖ル爲主要生産地ニ検査員ヲ置キ検査ヲ行ハントス

(二) 養鶏 農會ノ優良種禽種卵ノ配付及養鶏組合ニ對シ助成金ヲ交付シツ、アレトモ將來ハ是等ノ外鶏種ノ改良並飼育管理方法ヲ研究調査シ共同孵化場ノ設置並共同販賣ノ實行ヲ特ニ獎勵セントス

(三) 玉繭、屑繭ノ整理 郡市若クハ同業組合ノ屑繭整理講習會開設ニ對シ助成金ヲ交付シツツアレトモ將來ハ益屑繭整理ノ傳習會講習會ヲ開催シ更ニ進ンテ織物トナス迄指導獎勵セントス

(四) 竹細工 組合ノ設立共同作業ヲ獎勵シ共同使用ノ目的ヲ以テ機械ヲ購入スル場合之ニ對シ補助金ヲ交付シツツアレトモ將來ハ是等施設ノ外傳習會ヲ開催シ以テ技術ノ向上ヲ促シ更ニ製作順序ノ劃方、削方、編方、仕上等何レモ熟練ヲ要スルニヨリ益分業的發達ヲ爲サシメントス

福島縣

一、種類及現狀

種類ハ藁細工、養鶏、養鯉、真綿、枯露柿、凍豆腐、木炭トス

(イ) 藁細工 年産額百萬圓以上ニシテ其ノ主ナルモノハ繩、苴、吠トス然レトモ多クハ自家用ニシテ販賣品ハ僅ニ三十五萬圓内外ニ過キス之カ爲ニ縣内ノ需要ヲ充タス能ハス縣外ヨリ相當ノ供給ヲ仰キツツアリ抑モ本縣カ他府縣ニ比シ斯業振ハサルハ之ヲ要スルニ未タ手製若クハ不完全ナル機械製ニヨルモノ多キ結果生産能率ノ擧ラサルト一面販賣上遺憾ノ點少カラサルニ歸因スル所アルニヨリ獎勵モ亦此點ニ注意スヘク現在ニ於ケル藁細工副業組合ハ五ツトス

(ロ) 養鶏 近來著シク勃興シ來リ生産額亦著シク増加シ大正十三年六月末日ニ於テ飼養戸數十萬四千三十七戸、羽數成鶏五十五萬五千四百七十六羽、雛四十萬三千百一十一羽、産卵數量三千四百二萬六千二百七箇、價格百五十七萬四千二百八圓ニ達ス然レトモ尙縣内消費ニ對シ數量百六十八萬七千二十二箇、價格七萬八千六百五十二圓ノ供給不足ナルヲ以テ生産ノ増加ヲ圖ルハ刻下ノ急務ナリ更ニ現在ノ種類ヲ見ルニ昨今稍々改良セラレタリト雖尙優良種乏シク雜駁ノモノ多ク實ニ不統一ナリ而シテ現在ニ於ケル養鶏副業組合數ハ二十トス

(ハ) 養鯉 稻田利用ノモノ數量二千五百八十三貫、價格八千三百九十四圓、池沼其ノ他利用ノモノ數量一萬六千三十三貫、價格五萬五千七百五十七圓ノ生産アリ然ルニ需要増加ニ伴ヒ供給不足ヲ告ケ隣縣新潟、宮城方面ヨリ續々移入シツツアリ現在ニ於ケル養鯉副業組合ハ僅一組合ナリト

(ニ) 真綿 本縣獨特ノ袋真綿ハ年産額五十萬圓内外ニシテ縣外ヘノ移出高三十萬圓以上ニ達シ品質優良ナルヲ以テ廣ク其ノ名ヲ知ラレ殊ニ東京並結城地方ニ歡迎セラレ然レ共其ノ製造上非常ナル技術ヲ要スヘキニ依リ益々指導獎勵ヲ要ス

(ホ) 桔露柿 本縣ハ由來柿ノ產地ニシテ生柿七十五萬圓、乾柿十六萬圓餘ノ生産アリテ北海道、東京ヲ始メ其他各地方ニ盛ニ移出シツツアリ然レトモ生柿ノ生産ニ比シ乾柿ノ産額少ク加フルニソノ生品ハ概ネ品質劣等ナル由柿又ハ吊柿ノミナルヲ以テ指導ヲ要シ現在ニ於ケル桔露柿副業組合ハ僅一箇所アルノミナリ

(ヘ) 凍豆腐 氣候風土能ク之カ製造ニ適シ古來ヨリ副業トシテ各地ニテ之ヲ製造シツツアルモ在來品ハ長期ノ貯藏ニ堪エス且荷造リ運搬等頗ル不便ニシテ殊ニ凍豆腐ヲ比較的多量ニ消費スル關東、關西方面ノ嗜好ニ全ク適セス之カ爲縣外ニ移出スルコト更ニ無ク從テ産額甚微々タリ而シテ現在ニ於ケル之カ副業組合ハ僅一箇所アルノミ

(ト) 木炭 年産額ハ實ニ五百萬圓以上ニシテ縣外ヘノ移出額亦夥シク其ノ主ナル移出先ハ東京トス然レトモ現今ノ製品ハ改良ノ餘地多々アリ現在之カ同業組合五ツアリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(イ) 葉細工 現在ハ規約例ヲ示シテ副業組合ノ設立ヲ獎勵シ優良模範組合ニ對シテ相當ノ獎勵金ヲ交付シテ以テ優良器具機械ノ普及ニ努メ尙本年度ハ特ニ郡市町村農會又ハ副業組合等ニ於ケル販路調査又ハ擴張ニ對シ其ノ成績ニヨリ補助ヲナシツツアレ共將來ハ既設副業組合ノ活動ヲ促シ之カ設立ヲ督勵シ從前同様獎勵金ノ交付ヲ續行スルト共ニ副業組合又ハ其他團體ノ縣指定ノ器具機械購入ニ對シ及郡市町村農會ノ傳習會、競技會、品評會、共進會又ハ販路擴張施設ニ對シ相當ノ補助ヲ爲サントス

(ロ) 養鶏 現在ハ白色レグホン、名古屋、横斑ブリマウスロットクノ三種ヲ獎勵シ普及統一ニ努メ其他飼料ノ購入産卵ノ貯藏販賣等ニ關シテハ副業組合ヲ設立セシメ共同施設ヲ督勵シツツアレ共將來ハ現在施設ヲ繼續スルト共ニ本縣種畜場ヲシテ優良種ノ普及飼養管理法ノ指導ノ衝ニ當ラシメ家畜協會等ノ内容ヲ改善シ更ニ進ンテ聯合會ヲ組織セシメ相當ノ補助ヲナス外郡市町村農會ノ講習會、品評會、共進會又ハ販路擴張施設ニ對シテモ補助ヲナサントス

(ハ) 養鯉 現在ハ稻田養鯉ヲ獎勵シ郡市町村農會又ハ副業組合等ニ於ケル鯉兒ノ購入、配付、飼養ニ對シ相當獎勵金ヲ交付シツツアレ共將來ハ稻田ノミナラス池沼等ヲ利用シ養鯉事業ヲナサントスルモノニ對シテモ獎勵金ヲ交付セントス

(ニ) 真綿 現在ハ製法ノ簡單而モ需要多キ角真綿ヲ獎勵シ之カ講習會ヲ各郡ニ開催シツツアレ共

將來ハ此ノ外都市町村農會ノ生産増加品質改善、販路擴張等ノ施設ニ對シ助成ヲ行ハントス

(ホ) 枯露柿 現在ハ產地ニ講習會ヲ開催シツツアリ

(ヘ) 凍豆腐 現在ハ主ナル產地ヲシテ高野式凍豆腐講習會ヲ開催セシメ改良品ノ産出ニ努メツツアレ共將來ハ都市町村農會ノ講習會、品評會、共進會又ハ販路擴張事業ニ對シ相當ノ補助ヲナシ共同施設獎勵ノ爲一層副業組合ノ設立ヲ促サントス

(ト) 木炭 現在ハ製炭ニ對シ指導員ヲ置キ改善ヲ期シ一面同業組合ニ於テハ製品検査ソノ他種々ノ事業ヲナシ斯業ノ改善ニ努メツツアレ共將來ハ同業組合ノ活動ヲ期センカ爲木炭同業聯合會ヲ組織セシメントス

(チ) 一般ノ副業獎勵施設 將來ハ前記各施設ノ外副業一般ノ獎勵施設トシテ活動寫眞等ヲ利用シ副業思想ノ宣傳ニ努メ尙各都市ニ副業調査會ノ如キモノヲ設置セシメ時々會合シ諸般ノ事項ニ就キ意見ノ交換ヲナシ其他優良ナル副業組合ノ表彰等ヲナサントス

岩 手 縣

一、種類及現狀

特ニ普及ノ發達ヲ圖ルヘキモノハ養鶏、葉細工トス

(一) 養鶏 飼養戸數六萬五千三百五十九戸其ノ生産額一萬圓内外即一戸平均飼養羽數ハ四羽四分ソノ中雄一羽強實際産卵スヘキ母鶏二羽内外ニ過キササル状態ナリ

(二) 葉細工 本縣農家唯一ノ冬季副業ニシテ從業戸數一萬六百六十戸從業人員男七千九百四十六人、女七千二十五人ニシテ莖二萬二千圓、繩類八萬五千圓、吠俵三萬七千圓其他五萬五千圓ノ生産ヲ示シ猶吠及繩類ハ縣内需要ヲ充タスヲ得ス年々千葉縣及青森縣ヨリ移入ヲ仰クノ現況ナリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 養鶏 現在ハ斯業者ノ共同團體ノ組織經營ヲ獎勵シ其他町村農會及町村或ハ郡農會ノ斯業ニ關スル施設ヲ助成シ且縣内樞要ノ地ニ講習會ヲ開催シ智識ノ向上普及ヲ策シツツアレ共將來ハ尙從來ノ如ク農家各戸ニ於テ種卵ヲ自給シ自ラ孵化スルハ不經濟ナルニ鑑ミ縣内種卵業者ノ組合ヲ組織シ完備セル人工孵化場ヲ設立シ雛ノ供給ヲ圓滑ナラシメ猶從來ノ獎勵方針ナル共同團體ノ普及ヲ圖リ販賣ノ圓滑ヲ期セントス

(二) 葉細工 現在ハ生産者ノ組合ヲ組織セシメ主トシテ製品ノ統一ヲ圖リ共同販賣ヲ實施セシメシカ爲助成金ヲ交付シツツアレ共將來ハ是等施設ヲ繼續スルト共ニ殊ニ一層需要多キ荷蓆及繩類ノ生産ヲ獎勵シ新設組合ニ對シテハ從業者ノ使用器具ヲ統一セシメントス

青 森 縣

一五〇

一、種類及現狀

特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スル副業ノ種類ハ藁工品、養鶏、養豚、木炭、竹細工トス

(一) 藁工品 最近五箇年ニ於ケル管外移出高ハ一箇年平均三十九萬榻價額二百三十一萬圓ニ上リ從業戸數二萬三百餘戸多クハ中産以下ノ農家ニシテ本縣副業ノ首位ニアリ製品ノ移出先ハ北海道及樺太ナレトモ他縣ノ機械製作品ハ價格割合ニ低廉ナルヲ以テ手製ヲ主トセル本縣産ハ種々壓迫セララルノ感アリ

(二) 養鶏 大正十三年飼育戸數ハ五萬四千五百戸、總數五十三萬八千羽、産卵千九百十四萬個ニシテ管外ニ移出セララルモノ卵ハ二百五十萬個、肉用鶏ハ三萬羽以上ニ達シ益増加ノ趨勢ニアリ其ノ斯業發達ヲ目的トセル組合ハ近年著シク増加シ其ノ數六十二會員二千四百名ヲ算スルニ至レリ

(三) 養豚 飼育戸數五千餘戸頭數一萬頭ヲ越エ農家ノ副業トシテ將來益發達ノ見込アリ東京及北海道ニ移出セララルモノ漸ク多キヲ加ヘ斯業ニ關スル組合ハ其ノ數二十六、會員一千三百餘名アリ

(四) 木炭 本縣ニ於ケル製炭ハ近年ニ至テ自給自足ノ域ニアリテ其製法ノ如キモ幼稚ナルヲ免レサリシモ近來ニ至リ産額著シク増加シ其ノ製法モ亦進歩セルモノアリ大正十二年ニ於ケル産額一千萬貫管外移出額約六百萬貫ニ達ス

(五) 竹細工 極メテ幼稚ニシテ自給自足ノ域ヲ出テサルモ其ノ原料タル根曲竹ハ甚豊富ニシテ目下其ノ産額六萬二千二百圓從業戸數百七十五戸ニ過キササルヲ以テ未タ斯業ノ發達ヲミス

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 藁工品 管外移出ノ品質ノ統一ヲ圖ル爲繩、蒔、吠類ニ付キ移出検査ヲ施行シ又其ノ生産能率ノ増進ヲ圖ル爲市町村、郡市町村農會及其ノ他ノ團體ノ改良製繩機ノ購入ニ對シ助成金ヲ交付シ其ノ外傳習會競技會ノ開催ニ際シ講師ヲ派遣シツツアレ共將來ハ是等施設ノ外改良藁工品製作機械ノ購入ニ對シ補助金ヲ交付シ尙生産者ヲシテ組合ヲ組織セシメ共同販賣ヲ行ハシメントス

(二) 養鶏、養豚業ノ進歩ハ近年頗ル著シク飼育戸數ハ大正八年以降年千戸乃至千五百戸ヲ増加シ大正十三年ノ飼育戸數ハ五萬四千五百戸ニ達シ成禽五十三萬八千羽産卵千九百十四萬個ニシテ管外ニ移出セララルモノ卵二百五十萬個肉用雞ハ三萬羽以上ニ達ス斯業ノ發達ヲ目的トスル組合ハ其數六十二組合員二千四百名ヲ算ス

(三) 養豚 種豚ノ購入ニ獎勵金ヲ交付スル外共同經營ヲ獎勵スル爲養豚組合及其ノ他ノ團體ニ對

シ助成金ヲ交付シツツアレ共將來ハ縣種畜場ニ種豚ヲ飼育シ民間ノ希望ニ應シ種付及仔豚ノ拂下ヲ行ハントス

(四) 木炭 改良ハ主トシテ山林會之ニ當リ同業組合ヲ設立シ移出検査生産検査ヲ施行シ傳習會ヲ各地ニ開キ技術ノ熟達ト生産ノ増加ヲ圖リツツアレ共將來ハ同業組合ノ設立ヲ獎勵シ更ニ進ンテ聯合會ヲ組織シ當業者間ノ聯絡ヲ圖ラントス

(五) 竹細工 地方ノ希望ニ應シ講師ヲ派遣シ斯業ノ普及ヲ圖リ生産品ノ販賣ヲ斡旋シツツアレ共將來ハ當業者ノ利益増進ノ爲組合ヲ組織セシメ斯業ノ發達ヲ企圖セントス

山形縣

一、種類及現狀

特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スヘキモノ草履表、麻裏草履、稻田養鯉トス

(一) 草履表 縣下廣ク行ハレ實ニ一市九郡ニ互リ年産額一千五百萬足、價額百五萬圓、從業人員二萬五千人ノ多數ニ達シ本縣副業ノ首位ヲ占ム大部分ハ自家生産ノ業ヲ用ヒ戸々隨意ノ製作ヲナシ技術亦容易ナルヲ以テ逐年増加ノ傾向ヲ示シツツアリ然レ共其ノ販賣方法ニアリテハ仲買業者アリ生産者戸々ヨリ製品ヲ集メ間屋業ノ手ニヨリ各地ニ移出セラレ居ルモ現在間屋ト稱スヘキモノ

六十六名仲買ヲ業トナス者四百七十六名ノ多數ニ上リ其ノ生産販賣ノ最盛期ニ至レハ其ノ數激増シ一郡ノミニ於テモ尙數百名ノ多數トナルコトアリ爲ニ之等仲介者奸策術數ニヨリ取引ヲ混亂不利ニ陥ラシムルコトアリテ斯業ノ發達ヲ害スルノ現狀ナリ

(二) 麻裏草履 草履表ハ前項ノ如ク本縣農家ノ副業トシテ最重キヲナシ逐年發達シツツアリト雖其ノ大部分ハ表ノ儘全國各地ニ移出セラレ之カ加工品タル麻裏草履トシテ産セラルルハ微々タルモノニシテ何レモ農閑ヲ利用シ從事シツツアリト雖未タ自家用品ノ程度ニ過キサリ現狀ナリ

(三) 稻田養鯉 養鯉業ハ逐年増加ノ傾向ヲ示シ最近一箇年ノ産額二十五萬圓中稻田利用ニヨルモノ僅ニ八千圓ニ過キス稻田ニシテ養鯉ヲ行ヒ得ル面積約三萬一千五百町歩ナルニ拘ラス現在利用セラルルモノ僅ニ三十三町歩ニ過キサリノ現狀ナルカ故ニ將來斯業ノ發達餘地多キモノトナス

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 草履表 現在ハ郡市町村其ノ他ノ團體ノ品質ノ改良技術ノ普及等適當ナル施設ニ對シ助成シ尙副業實行組合獎勵規定ニ據リ共同組織ヲ獎勵シテ生産販賣方法改善ニ努メツツアリト雖將來ハ此ノ外更ニ生産並販賣ニ關スル組合ヲ設立セシメ尙經營困難ナルモノニ對シテハ相當ノ補助金ヲ交付シテ一定期間之ヲ助成セントス

(二) 麻裏草履 現在ハ管下數箇所ニ講習會ヲ開催セシメ教師ヲ派遣シツツアレ共將來ハ縣下十五

簡所ニ講習會ヲ開催シ技術ノ普及徹底ヲ期セントス

(三) 稻田養鯉 現在ハ郡農會養鯉組合等ニ補助金ヲ交付シテ普及ヲ圖リツツアレ共將來ハ是等施設ノ外ニ鯉苗ノ無償配付ヲモ行ハントス

(四) 副業品販賣斡旋 草履表、麻裏、繩類、蒔、叭、果實類、豚、兎、干紫蘇、凍豆腐ノ販賣仲介斡旋ヲ行ヒ尙需要地ノ商況ヲ調査シ之ヲ生産者ニ通報シ見本品ヲ買上ケテ以テ生産者ニ對シ製品ノ改良販賣上ノ參考ニ資スル等販賣斡旋ノ實ヲ舉ケントス

秋 田 縣

一、種類及現狀

特ニ普及發達ヲ圖ルヘキ副業ノ種類ハ藁工品、家禽飼養、木炭、椎茸、養鯉トス

(一) 藁工品 年産額百十三萬四千圓製造戸數二萬餘戸、從業人員四萬五千人ニ達シ本縣農家副業トシテ重要ナルモノナリ生産品ハ主ニ北海道、青森縣等ニ移出シ縣内ニテハ鑛山其他ノ需要多ク蒔繩實子繩實子綱草鞋ハ主トシテ北海道樺太ニ移出セラレ繩ハ青森ニ需要セラルルモ生産時期ト販賣時期トノ調和適當ヲ缺キ又販賣機關ノ不完全ナル結果斯業ノ發達ヲ阻止スルモノアリ又近來亞麻製品トノ競争ヲ見ルニ至リ前途生産ニ一考ヲ要スヘキモノアリ

(二) 家禽飼養 一般的ニ普及シ種類ノ如キ亦統一セラレ年産額百萬圓ヲ超ヘ飼養戸數六萬九千餘

戸ニ達セリト雖其ノ經營販賣機關ノ不備ニシテ生産者ノ不利甚シキモノアルヲ以テ之カ整備ヲ圖ルヲ要スノ現狀ナリ

(三) 木炭 年産額三百五十四萬三千餘圓從業戸數六千四百人員八千二百餘人ニシテ本縣農村ノ重要ノ副業タリ從來製品粗惡不整ニシテ縣外移出ノ如キ不利ノ地位ニアリシモ近時木炭同業組合ノ設立ニヨリ品質ノ向上ヲ見其ノ術ノ指導品質ノ改良統一ニツキ遺憾ナキモ貯藏倉庫ノ設備ナキ爲金融上取引上尙遺憾アリ

(四) 椎茸 年産額二萬千九百斤價額四萬五千百圓ニシテ逐年増加ノ趨勢ナリ

(五) 養鯉 養鯉業ノ現在八百十七箇所二千三十三萬坪ノ養殖場ヲ有シ産額二萬千貫價額六萬千圓ニ達スルモ多クハ沼池利用ノ養殖ノミニテ稻田養鯉ノ如キ未タ其發達ヲ見ルニ至ラス其ノ供給ハ尙縣内ノ需要ヲ滿タスニモ足ラス

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 藁工品 現在ハ製品ノ統一ヲ計ル爲移出検査ヲ行フ外穀物検査員ヲシテ生産ノ獎勵ニ當ラシメ又特ニ農閑期ニ於テ指導教師五名ヲ置キ町村ヲ選ミ指導シツツアレ共將來ハ之ニ加フルニ共同的經營ヲ獎勵シテ組合ノ設立普及ヲ圖ラントス

(二) 家禽飼養 現在ハ技術員ヲ設置シ指導ニ當ラシムル外縣家禽協會ヲシテ種鶏ノ改良普及ヲ圖

ラシメツツアレ共將來ハ共同經營ヲ目的トスル組合ノ設置ヲ獎勵セントス

(三) 木炭 現在ハ各郡ニ木炭同業組合ヲ設置シ製品検査ヲ施行シ尙山林會ニ補助シテ製炭教師ヲ設置セシメ技術ノ指導ニ當ラシメツツアレ共將來ハ此ノ外共同貯藏所ノ設備ヲ完ウシ移出組合生産者組合ノ設立ヲ獎勵シ取引ノ改善ヲ圖ラントス

(四) 椎茸 現在ハ人工栽培ノ指導ヲナシツツアレ共將來ハ尙栽培者ノ組合ヲ組織セシメ楮木ノ共同購入生産品ノ共同販賣等ノ事業ヲ經營セシメントス

(五) 養鯉 現在ハ水産試驗場ヲシテ鯉苗ノ配付ヲナサシメツツアレ共將來ハ稻田及苗代跡地ノ養鯉ヲ獎勵スル爲組合ヲ設置セシメ共同孵化場ノ設備共同管理、共同販賣ノ施設ヲ獎勵セントス

福井縣

一、種類及現狀

特ニ普及發達ヲ圖ルヲ要スヘキ副業ノ種類ハ藁細工、農産物加工、園藝、養鶏、婦人手工藝、製炭、木竹細工、林野副産物、水産物製造、水産養殖、漁撈具製造、陶磁器製造トス

(一) 藁細工 本縣農家副業中最重要ノモノニシテ年々北海道京阪其ノ他縣外ヘノ販賣高百萬圓ヲ超エ今後益發達ノ見込大ナリ

(二) 農産物加工 製茶、藁蓆製織、杞柳細工、菅笠、三椶皮及麻絲麻布製造ニシテ其ノ産額茶ハ三十萬圓藁蓆二十萬圓杞柳製品二十五萬圓菅笠十萬圓三椶及楮十萬圓麻製品三十萬圓ナリ

(三) 園藝 蔬菜果實及花卉ヲ栽培シ販賣ヲ爲シツツアル地方アリト雖未タ需要ヲ充タスニ足ラス縣外ヨリ年額八十萬圓ノ移入アリ

(四) 養鶏 飼養戸數農家ノ一割強ニシテ今後普及獎勵ノ餘地大ナリ特ニ卵肉ノ生産ハ需要ヲ充タスニ足ラスシテ多額ノ移入アルノ現狀ナリ

(五) 婦人手工藝 布帛加工、籐表編、屑繭加工等行ハルルモ何レモ微々タルモノニシテ發達ノ餘地大ナリ

(六) 製炭 三百萬圓ノ産額ヲ有スト雖製炭後ノ改良スヘキモノ多シ

(七) 木竹細工 木工ニ於テハ殆ト見ルヘキモノ無ク竹細工ニ於テハ十五萬圓ノ生産アリ

(八) 林野副産物 葛澱粉、樹皮、樹實、菌芽、黃蓮、山葵等ニシテ生産約三十萬圓アリ

(九) 水産物製造 魚介ノ乾燥調味品其他ノ製造海藻ノ採取加工等アリト雖何レモ幼稚ニシテ普及セス

(十) 水産養殖 未タ幼稚ニシテ産額僅少ナリ獎勵ノ餘地アリ

(十一) 漁撈具製造 漁家ニ於ケル漁網及釣鈎ノ製造アリト雖極メテ少ク大部分ヲ購入スルノ現狀ナリ

リ

(十二) 陶磁器製造 製造家二十一戸生産高約四萬圓ヲ算シ未タ幼稚ナリト雖之ヲ副業トシテ普及シ得ルノ見込アリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 藁細工 現在ハ器具機械ノ改善獎勵、製作傳習會ノ開催獎勵製品ノ改良統一ニ關スル同業組合ノ検査及其ノ督勵ノ助成ヲナシツツアレ共將來ハ是等ノ外動力利用共同作業場ノ設置獎勵、販路擴張及出荷組合ノ獎勵及藁工品検査ノ改善ヲ行ハントス

(二) 農産物加工 現在ハ指導技術者ノ派遣傳習會開催ノ獎勵、三椶植栽ノ獎勵菅笠共同販賣ノ獎勵ヲナシツツアレ共將來ハ指導技術員ノ充實藁蓆及杞柳製品ニ關スル検査ノ施行及其ノ督勵共同製茶場ノ設立及其ノ改善ノ獎勵、共同販賣ノ獎勵等ヲ行ハントス

(三) 園藝 現在ハ縣農事試驗場ニ於テ蔬菜ニ關スル試驗ノ施行縣農會ヲシテ販賣斡旋ヲナシメ尙空地利用草花栽培及促成栽培ノ獎勵ヲナシツツアレ共將來ハ指導技術員ノ充實指導園ノ設置出荷組合ノ獎勵、種苗共同生産ノ獎勵等ヲモ行ハントス

(四) 養鶏 現在ハ縣種畜場ニ於ケル種禽種卵ノ育成配付ヲナス外講習會、人工孵卵育雛傳習會ノ開催ヲ獎勵シツツアレ共將來ハ共同孵卵育雛ノ獎勵孵卵器及育雛器使用獎勵生産及出荷ニ關スル

組合設立ノ獎勵ヲ行ハントス

(五) 婦人工藝 現在ハ講習會及傳習會開催ノ獎勵、展覽會開催ノ助成ヲナシツツアレ共將來ハ是等施設ノ外製品ノ販路開拓ニ關スル施設ノ助成布帛加工ニ關スル意匠ノ圖案及製作法等ノ試驗研究常置傳習場ノ設置經營ノ助成ヲ行ハントス

(六) 製炭 現在ハ縣山林會ヲシテ製炭改良傳習會及木炭品評會ヲ開催セシメツツアレ共將來ハ現在ノ製炭改良獎勵ヲ擴張ナサントス

(七) 木竹細工 縣山林會ヲシテ傳習會ヲ開催セシメツツアレ共將來ハ指導技術員ノ備聘派遣販路調査ノ助成組合設立ノ獎勵ヲナサントス

(八) 林野副産物 現在ハ將勵施設無シト雖將來ニ於テハ生産及販賣ニ關スル調査生産増殖ノ獎勵、共同販賣ノ獎勵等ヲ行ハントス

(九) 水産物製造 現在ハ縣水産試驗場ニ於テ水産物製造ニ關スル試驗ヲナシツツアルノミナレ共將來ハ副業的生産増殖ノ獎勵指導技術者ノ備聘派遣傳習會開催ノ助成等ヲナサントス

(十) 水産養殖 縣及縣水産試驗場ニ於テ鯉兒及鰻兒ノ放流試驗鮭ノ人工孵化岩海苔ノ養殖獎勵、鮑繁殖ノ試驗等ヲナシツツアレ共將來ハ溜池及稻田利用ノ獎勵、海苔類及和布ノ繁殖及製造ノ獎勵、鮑、蛤、海栗等貝類ノ養殖獎勵ヲナサントス

(十二) 漁撈具製造 現在ハ釣鉤製造講習會ヲ開催シツツアレ共將來ハ傳習會開催ノ獎勵ノ外共同製作場設置ノ獎勵ヲナサントス

(十三) 陶磁器製造 現在ハ先進地視察ノ獎勵ヲナシツツアレ共將來ハ更ニ進ンテ改良竈共同設備ノ助成改良器具機械設備ノ助成販路開拓施設ノ助成ヲナサントス

石川縣

一、種類及現狀

種類ハ蘭業、藁工品、養鶏、木炭トス

(一) 蘭業 大正十三年中ニ於ケル縣下ノ蘭作反別ハ二百四町一反一畝二十二步收穫蘭草四十七萬一千六百六十六貫價額五十萬一千五百九十七圓ニシテ生産高最多キハ壘表ニシテ莫蔭類花莖類之ニ亞ク從業戸數改良機ニ依ル製造業者三千六百六十二戸機臺數三千八百五十四臺在來ノ舊機ニ依ル製造業者三千八百二十八戸機臺四千三百三十四臺仲買及販賣專業者七十四戸及其ノ兼業者二百七十一戸ナリ而シテ同年中ニ於ケル縣外移出ハ蘭製品ヲ通シテ約百十五萬四千六百圓ニシテ之カ販路ハ大阪、富山、新潟、東京、東北地方西海岸、北海道、樺太方面ナリ而シテ特ニ北海道方面ニ對シテハ益販路擴張シ益斯業發達ノ見込ニアリ

(二) 藁工品 種類ハ莖、繩、叭、俵、草鞋類トシテ其ノ生産額大正十二年度ニ於テ約三百二十七萬三千六百圓ニシテ之カ縣外移出ハ約百五十三萬五千六百圓ニ達シ從業者中改良機械ニ依ル製莖機ハ八千三百五十五臺製繩機ハ八千六百六十二臺打機千四百四十八臺繩卷仕上機千三百三十六臺ノ普及ヲ見畜機ニ依ル据リ機具ハ二萬二百三十臺ナリ之カ販路ハ朝鮮、サガレン、樺太、北海道ニ至ルマテ殆ト全國的ニ互リ逐年發達シツツアル現狀ナリ

(三) 養鶏 飼鶏數ハ最近漸次増加ノ趨勢ニアリ大正十二年度ニ於テ飼養戸數二萬二千八百八十四戸飼養羽數二十八萬三千二百四十二羽價額三十萬四千六十圓、産卵個數千三百六萬五千八百八十二個價額六十二萬二百十三圓ニ達シ逐年進歩ノ域ニアルモ縣内需要ヲ滿ス能ハス卵肉ノ移入益多ク大正十一年度ニ於テハ鶏卵十九萬圓餘鶏肉九萬餘圓ノ移入額ニシテ尙需要ニ應シ能ハス移入ハ益増加セントス

(四) 木炭 近時木炭ノ産額ハ著シク増加シ縣外移出亦多キヲ加ヘ縣下重要物産ノ一トナレリ而シテ之カ生産ニ從事スル者ノ内約八割ハ副業者ニシテ大正十一年以前三箇年平均生産額ハ千八十四萬貫價額三百五十餘萬圓從業戸數六千三百餘戸ナリ之カ移出入ノ狀態ヲ見ルニ大正十三年中約四百十萬貫ヲ關東地方ニ移出シタルニ比シ北陸山陰方面ヨリ僅ニ八十七萬貫ノ移入ヲ見タルニ過キス而ルニ最近生産額著シク増大セリト雖製炭法ハ却ツテ漸次粗放ニ流レ品質不良類別俵裝量目不

統一ナルカ爲取引圓滑ヲ缺ク傾アリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 蘭草 現在ハ蘭庭傳習所ヲ開設シ泥浸シ色付講習會ヲ開催シ堅絲用大麻試驗作地ヲ設置シ尙新販路地方ニ試賣ヲ行フ者ニ對シ運賃ノ半額ヲ補助シ以テ販路開拓ノ助成ヲナシツツアレ共將來ハ是等現在施設ヲ繼續スルト共ニ一面能美郡蘭庭同業組合ノ區域ヲ擴張シテ縣組合組織ニ變更セシメ各郡ニ支部ヲ設ケテ縣費補助額ヲ大ニシテ當業者ノ研究機關タラシメ以テ斯業ノ發達ニ努メントス

(二) 藁工品 現在ハ藁工品傳習所ノ開設競技會ノ開催技術員ノ設置副業小組合ノ増設獎勵ノ外尙新ニ縣外ノ需用地ニ試賣スル者ニ對シ運賃ノ半額ヲ補助シ以テ販路開拓ノ助成ヲ爲シツツアレ共將來ハ是等ヲ繼續スルト共ニ副業小組合ヲ増設シ之等相互間ニ聯絡統一アル共同販賣組合ヲ組織シ金融ノ圓滑ヲ圖ル外既設三同業組合ヲシテ當業者ノ指導機關タラシメ種々ノ調査ヲナサシメ益々新販路ノ開拓ニ努メントス

(三) 養鶏 現在ハ委託種禽場ヲ設置シ孵卵器ノ貸付ヲナシ常ニ當該技術員ヲ派シ之カ使用法ノ實地指導ニ努メツツアレ共將來ハ是等ノ外委託種禽場ノ増設副業養鶏共同組織ノ獎勵ヲナサントス

(四) 木炭 現在ハ伏燒式大正式製炭法ノ講習會ヲ開催シ縣ヨリ技術員ヲ派シ指導獎勵ニ努メツ

ツアレ共將來ハ更ニ講習會並指導林ヲ増設シ尙補助金ヲ交付シテ木炭業小組合設置ノ獎勵ヲナサントス

富 山 縣

一、種類及現狀

特ニ普及發達ヲ圖ルヘキ副業ノ種類ハ藁工品、家禽、養豚、乳牛、椎茸、蘭草、菅細工、和紙、柿、茶、蔬菜、竹細工、籐表、屑蘭整理、婦人手藝、石花菜、養殖トス

現 狀

- (一) 藁工品 縣下一圓ニ分布シ年産額約四百萬圓ニシテソノ中九割ハ縣外ニ移出ス主ナル仕向地ハ北海道、樺太、朝鮮其他二十一府縣トス
- (二) 家禽 縣下一圓ニ分布シ年百十餘萬圓ヲ産シ最近著シク普及ノ傾向アリ主ナル仕向地ハ石川縣ニシテ其他ハ縣内ニ於テ消費ス
- (三) 養豚 射水、氷見、上新川、下新川、婦負、富山ノ各郡ニ行ハレ年四萬餘圓ヲ産シ近時著シク普及ノ傾向アリ東京、石川、京都ノ各縣ニ移出サル
- (四) 乳牛 射水、東礪波、富山、婦負、下新川等ノ各郡ニ普及シソノ頭數千ニ達シ搾乳五千石バタ

一千二百斤煉乳二十五萬斤生乳ハ二十七萬圓ヲ産ス而シテ煉乳ハ神戸ニ移出サレ他ハ縣内消費ニ給セラレ

(五) 椎茸 中新川、下新川、東礪波各郡ニ普及シ年産額三千圓ナレトモ主トシテ縣内ニテ消費サル
(六) 蘭草 氷見、射水、西礪波、東礪波、中新川等ニ普及シ年五十餘萬圓ヲ産シ北海道新潟ニ移出ス

(七) 菅細工 西礪波、射水ノ各郡ニ普及シ菅笠年二十二萬圓ヲ産シ近時笠以外ノ製品ニ移ラントシツツアリ北陸、東北、東海、四國、九州等ニ移出サル

(八) 和紙 婦負、東礪波ノ各郡ニ普及シ年五十五萬圓ヲ産シ主トシテ縣内消費ニシテ僅ニ東京大阪石川等ノ府縣ニ移出ス

(九) 柿 東礪波、西礪波、射水、氷見、婦負、中新川等ニ普及シ年産額四十五萬圓ニシテ石川愛知大阪東京北海道等ニ移出ス

(十) 茶 婦負、射水、中新川ノ各郡ニ普及シ年産額二十二萬圓ニシテ縣内消費ノ外長野縣ニ移出ス

(十一) 蔬菜 縣下一圓ニ普及シ年産額四百四十五萬圓ニシテ主トシテ縣内消費ナルモ西瓜ハ東京大阪名古屋ニ移出ス

(十二) 竹細工 氷見、中新川ニ普及シ年産額十一萬圓ニシテ主トシテ縣内消費ナレトモ僅ニ北海道

ニ移出ス

(十三) 籐表 上新川、中新川、婦負、富山、高岡ノ各郡ニ普及シ年産額七十五萬圓ニシテ全國各市場ニ移出スルモ就中關西地方ヲ主トス

(十四) 屑繭整理 婦負、東礪波、西礪波ノ各郡ニ普及シ年産額十萬圓ニシテ主トシテ縣内消費ナリ

(十五) 婦人手藝 高岡、富山、射水ノ各郡ニ普及シレース編物ハ年十三萬圓ヲ産シ神戸横濱ヲ經テ米、英ニ輸出スミシン裁縫品ハ年七十三萬圓ヲ産シ副業的工賃約十萬圓ニ達シ近時著シク普及ノ傾向アレトモ主トシテ縣内消費ナリ

(十六) 石花菜 下新川、射水、氷見ノ各郡ニ普及シ年一萬圓ヲ産シ長野縣ニ移出ス近時普及ノ傾向アリ

(十七) 養殖 鮎、鰻、鯉、鮭等合計十萬餘圓ヲ産シ鰻ヲ除キテ他ハ何レモ他縣ニ移出サル蛤ハ未タ産額少ケレ共普及ノ傾向アリ將來有望ノ見込ナリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

現在 實行組合及共同組織ノ設立ヲ獎勵シ北海道小樽ニ事務所ヲ置キテ販賣斡旋ニ努メ尙副業品試賣會ヲ設ケテ販路ヲ擴張シ其ノ他宣傳、講話會、講習會、傳習會ヲ開催獎勵シツツアリ
將來 現在ノ獎勵施設ヲ一層擴充スルト共ニ原始品ノ加工傳習並販賣施設及共同經營ニ主力ヲ傾倒

シ更ニ副業的海外貿易品ニ關シテハ本省ノ指導ト相俟ツテ之カ研究調査指導ニ步ヲ進メントス

鳥 取 縣

一、種類及現狀

特ニ普及發達ヲ圖ルヘキ副業ノ種類ハ屑繭利用、和紙、藁工品、養鷄、園藝品及其加工品、杞柳、手藝品及簡易ナル機械副業トス

現 狀

- (一) 屑繭利用 年産額約十萬石價格四十萬圓ニシテ尙逐年養蠶ノ普及増加ト共ニ益々其生産量ヲ増加シツツアレ共其ノ加工貯藏及販賣方法甚拙劣ニシテ殆ト捨賣ノ狀況ニアリ
- (二) 和紙 因幡紙ト稱シ本縣ノ特産品ニシテ年産額二百五十萬圓ナルモ近時洋紙ノ流行ト經濟界ノ打撃ヲ受ケ漸時不引合ニ陥リツツアリ
- (三) 藁工品 年産額七千萬圓其ノ主ナルモノハ繩、叭、麻裏草履、草蓆、麻裏原料ニシテ年次移出ノ増加ヲナシツツアリ之カ原料ハ縣下ニ豊富ナルモ藁ノ乾燥貯藏充分ナラス爲ニ製品ノ品位ヲ低下スルモノアリ
- (四) 養鷄 年産額三十五萬圓各郡市ニ家禽協會アリ養鷄組合ハ殆ト各町村ニ設立セラレタルモ專

業的大養鷄家ハ經濟的狀態ノ圓滑ヲ缺キ順次閉止又ハ縮少ノ現狀ニアリ荷造廢鷄ノ處理拙劣適當ナラサルモノアリ

(五) 園藝品及其ノ加工品

園藝品 年産額三百萬圓其ノ加工品十三萬圓園藝品ノ主ナルモノハ果實及西瓜大根ニシテ加工品ノ主ナルモノハ澤庵漬菹漬等ナリ

(六) 杞柳 年産額三萬五千圓加工品八萬圓ニシテ大山原野其他河川山麓等利用スヘキ箇所多ク氣候又適合セルモノノ如ク優品ヲ生産シツツアリ

(七) 手藝品 縣内ニ手藝品トシテ見ルヘキモノ極メテ少ク僅ニ傘、杞柳細工、麻裏草履等アルモ其ノ産額亦僅少ナリ簡易ナル機械副業ニ至リテハ紙及少數ナル製繩製蓆ノ外數フヘキモノナシ

二、現在及將來ノ獎勵施設

獎勵施設トシテハ次ノ如シ

- (一) 屑繭利用 縣ニ於テ屑繭整理ノ教師ヲ招聘シ縣下各地ニ毎年數十箇所ヲ選定シテ眞綿及屑絲等ノ傳習會ヲ開催スルト共ニ共同組合ノ設立ヲ獎勵セントス
- (二) 和紙 一面原料タル三極ノ増殖ト其ノ加工ノ改良ヲ獎勵シ一方共同施設ヲ助成獎勵シ講習會、實地傳習會ノ開催ヲ獎勵セントス

- (三) 藁工品 藁ノ乾燥貯藏ヲ完全ナラシムル爲稻架ノ普及ヲ圖リ尙講習會、傳習會、競技會ヲ開催シテ技術ノ練磨ヲ計リ能率ノ増進ヲナスト共ニ副業斡旋所ノ活躍ヲ促シテ益々販路ノ擴張ニ努メントス
- (四) 養鶏 各郡市家禽協會ト協力シテ副業的養鶏ヲ獎勵シ尙共同出荷ヲ獎勵セントス
- (五) 園藝品及ソノ加工品 品評會、展覽會、共進會、講習會ヲ開催シ其他各團體施設事業ヲ助成シテ出荷團體ノ活動ヲ促進シ販賣ノ圓滑ヲ圖リ加工貯藏ヲ獎勵セントス
- (六) 杞柳 苗木ノ配布補助金交付ヲナシテ之カ増殖ヲ圖リ尙講習會ヲ開催シテ之カ加工ヲ獎勵セントス
- (七) 手藝品 傳習會、講習會、展覽會、共進會、品評會ヲ開催シ技術ノ傳習ト製品ノ統一ヲ圖リソノ他販賣斡旋機關ヲ整備セントス

島 根 縣

一、種類及現狀

種類ハ藁工品蔬菜果實及漬物類蒟蒻芋ノ栽培及製粉山葵栽培和紙及製紙原料栽培、蘭製品及蘭草栽培、杞柳製品、屑繭製理、木炭、間伐材ノ利用、竹製品、養鶏、養豚、稻田養鯉、溜池養魚ト

ス

現 狀

- (一) 藁工品 年産額約三十萬圓ニ達シ繩、苧、俵等ヲ主トス
- (二) 蔬菜果實及漬物類 蔬菜ハ其ノ栽培反別延約九千四百町歩生産價額四百餘萬圓果實亦漸次普及シ生産額約七十四萬八千圓アリ然レトモ未タ概シテ幼稚ニシテ尙大イニ改良増産ノ餘地少カラス殊ニ販賣方法ニ至リテハ特ニ講セル施設ナク最近果實及促成栽培副業組合數箇所ニ設置セラレタルニ過キス漬物類ハ市街附近ノ外大部分ハ自家用トシテ行ハルルニ過キサル現狀ナリ
- (三) 蒟蒻芋ノ栽培及加工 主要産地ハ鹿足郡須川村及青原村ナレトモ近時漸ク普及ノ狀勢ヲ示シ栽培反別約六十五町歩産額七萬三千餘貫價額六萬一千餘圓ナリ
- (四) 山葵栽培及加工 品質良好ニシテ市場ニ相當ノ聲價ヲ博シ産額二萬八千餘貫價額十四萬圓ナレトモ之カ販賣方法及加工ニ付テハ未タ見ルヘキ施設ナシ
- (五) 和紙 古クヨリ出雲石見ノ一部ニ於テ副業的ニ行ハレ製品亦特色ヲ有シ相當ノ聲價ヲ博シツツアルモ近時衰頹ノ情勢ナキニ非ス最近從業戸數二千二百餘産額七十四萬五千數百圓ニ上ル
- (六) 蘭製品及蘭草栽培 蘭草栽培及其ノ加工タル壘表莫産ノ製造ハ出雲石見ノ一部ニ行ハレ栽培

反別百四十五町步收穫高三十三萬七千餘貫繭製品五十二萬餘圓ニ達ス

(七) 杞柳栽培 杞柳栽培及其加工ハ出雲石見ノ一部ニ於テ種々特産的ニ行ハレ栽培反別四十二町步産額約二萬四千圓加工ノ生産ハ七萬七千圓ニ過キス

(八) 屑繭整理 養蠶ハ著シク普及シ其ノ戸數約四萬戸屑繭生産高玉繭十萬四千貫其他五萬一千貫ナレ共多クハ生繭ノ儘販賣セラレ之カ整理利用未タ普及十分ナラス眞綿ノ如キ其産額千貫餘ニ過キス多クハ自家用ニ供セラルルノミニシテ縣外ヨリノ移入多キ状態ニ在リ

(九) 木炭製造 本縣林産物ノ首位ヲ占メ其ノ産額千五百二十四萬五千貫價額約三百四十萬圓副業トシテノ従業戸數一萬三百餘戸ニ達ス

(十) 間伐材ノ利用 本縣ノ山林ノ面積總地積ノ七割五分ヲ占メ四十一萬町步ヲ超ヘ用材林ハ其ノ五割餘ニ達シ杉檜ノ造林反別約三萬町步年々ノ間伐材亦十七八萬石ノ多額ニ上ルモ現在之カ利用ノ適切ナル方法ナキヲ以テ殆ト無價値ノ儘放任セラルルモノ少カラス爲ニ間伐亦十分ニ行ハレサルノ狀況ニ在リサレハ之カ利用方法トシテ割箸折箱曾木ノ如キハ副業トシテ有利ト認メラル

(十一) 竹製品 竹製品ハ産額約十三萬圓ニシテ大部分ハ專業者ニヨリ生産セラレ副業生産ハ約二萬七千圓餘ニ過キス然レ共ソノ原料豊富ナルヲ以テ竹林所有者ニ於テ副業的ニ加工シ販賣スルカ如キハ有望ト認メラル

(十二) 養鶏 養鶏戸數約四萬二千戸産卵價額六十餘萬圓ナレト逐年普及ノ状態ニアリ

(十三) 養豚 一箇年ノ生産約千四百頭ニ達シ漸次増加ノ趨勢ニアリ

(十四) 稻田養鯉 本縣ノ濕田面積約千三萬町步ヲ起エ之カ利用方法トシテ稻田養鯉ニ適スルモノ少カラス斯業ハ農家ノ副業トシテ相当有望ト認メラル

(十五) 溜池利用養魚 本縣ニ於テ淡水養魚ニ利用シ得ラルル溜池、溜池、河川等ハ二萬五千町步ノ大面積ヲ有シ之カ利用ノ養魚事業ハ極メテ有望ノ事業ニシテ特ニ溜池利用ニ依ル養殖ハ農家副業トシテ有利ノ事業ニ屬ス

二、現在及將來ノ獎勵施設

現在 農事、蠶絲、畜産、林業、水産、工業等各種關係事業ニ於テ夫々必要ナル機關ヲ設ケ獎勵施設ヲナシ又各種團體ヲシテ獎勵事業ヲ實施セシメツツアリ即チ販路開拓及斡旋、副業組合ノ設置獎勵共同販賣事業補助、副業共進會補助、副業獎勵ノ宣傳、和紙獎勵、蔬菜、果實ノ獎勵、屑繭整理ノ獎勵、養鶏、養豚ノ獎勵、乳牛ノ獎勵、木炭ノ改良、淡水養魚獎勵、縣農會販賣斡旋補助等ヲナシツツアリ

將來 指導獎勵機關ノ連絡活動ヲ圖ル爲副業獎勵委員ヲ設置シ年々縣ニ於テ副業獎勵實行計畫ヲ設定シ各種産業團體郡町村ニ於テモ夫々之ニ策應シテ各地方ニ適切ナル獎勵計畫ヲ樹立セシメ協力督

勵ニカメ而シテ之カ實行方法ニ付協議打合會ヲ催シ以テ計畫遂行ノ徹底ヲ期セントス更ニ共同事業ニ於ケル共同ノ生産、販賣機關ノ施設ヲ獎勵シ産業組合ノ活動發達ヲ促シ金融ノ道ヲ開キ尙販賣ノ開拓及斡旋ニ組合其ノ他各種産業團體ヲシテ之ニ當ラシム此ノ外講演會、傳習會、實演會、展覽會、競技會トヲ開催シテ以テ副業ノ普及獎勵ノ宣傳ヲナサントス

岡山縣

一、種類及現狀

種類ハ蘭製品、麥稈眞田、養鶏、繩、木炭、和紙及其ノ原料ノ加工、木竹加工、蔬菜ノ栽培ト其ノ加工、干柿製造及其加工、養鯉トス

現狀

(一) 蘭製品 縣下蘭草ノ作付反別ハ約二千町歩ニシテ花蒔、曇表其他蘭製品ノ産地ハ都窪郡、淺口郡、御津郡、上道郡、兒島郡、吉備郡等ナレ共獎勵ノ結果近次隣接郡ニ普及シツツアリ花蒔ハ海外ニ輸出サレ十三年度ニ於ケル産額六百十萬五千九百八十圓ノ中二十六萬九千七百八十圓ノ輸出ヲ見タリ曇表ハ短關ヲ使用シテ中繼表ヲ普通トシ長關ヲ以テ行フ引通表ハ甚少ク産額ハ十二年度ニ於テ約三百六十九萬ニ達セリ品質ノ改善ヲ行ヒツツアリト雖何レモ今後改善ノ餘地大ナリ

(二) 麥稈眞田 淺口、小田、吉備、上房ノ諸郡ヲ主産地トシ其隣接郡ニ行ハル麥稈原料麥ノ栽培ハ約五千町歩其産額約二百十六萬五千五百圓ナレ共近來眞田ノミナラス飲料用ストロー、麥稈帽其他ノ消費ノ爲原料ニ不足ヲ訴ヘントスルノ狀況ナリ而シテ麥稈眞田ハ共同販賣ノ施設ニ乏シク亦其ノ施設アルモノト雖燻蒸設備等ノ如キモノナキハ遺憾ニ堪エス

(三) 養鶏 淺口郡、邑久郡ヲ主産地トシ縣下至ル所ニ普及セリ斯業ノ組合ハ數百ニ近ク尙近時縣養鶏組合聯合會ノ設置ヲ見縣下飼育羽數七十六萬九千二百十七羽、産卵數三千七百九十六萬五千二百三十六箇ナリ

(四) 繩 上道郡ヲ主産地トシ亞テ邑久郡、赤磐郡等ニ生産セラル從來本縣ノ繩ハ硬質ニシテ葉ヲ打ツコトナク製繩機ニ掛ケタルモノニシテ鹽田用及煉瓦用トシテ販路ヲ有シタリシカ今ヤ硬質繩ノ販路ハ著シク狭小トナリタルヲ以テ軟質繩ニ改メサルヘカラス年産額ハ三十三萬八千二百七十九圓ナリ

(五) 木炭 從來ハ製炭法粗放ニシテ品質容量等區區ニシテ市場ノ聲價ヲ失墜スルコト多カリシカ近來木炭同業組合ノ設立製法ノ實地講習等ニヨリ著々改良ノ實ヲ擧ケツツアルノ狀況ナリ年産額二百五十六萬千四百四十八圓ニシテ相當ノ産額アルモ副業組合ノ設置ニ乏シク縣下僅ニ七組合アルニ過キス

(六) 和紙及其原料加工 本縣製紙原料ノ種類ハ三極、楮及雁皮ノ三種ニシテ真庭、英田、阿哲、勝田、川上ノ諸郡ニ産ス現在ノ産額ハ三極約三十萬貫、楮約十萬貫、雁皮二萬貫ニシテ價額三極三十萬五千圓、楮六萬七千圓、雁皮二萬五千圓ナリ大正八九年頃ノ好景氣時代以來ハ農家ノ原料加工法粗雜ニ流レ今日ニ於テハ需要減退ノ傾向アリテ隨ツテ圃場ノ管理ヲ缺キ生産益減退ニ傾キツツアリ而シテ之等ノ販路ヲ見ルニ三極ハ多少岐阜縣印刷局ニ移出セラレ楮ハ多ク黒皮ノ儘廣島及其他ノ地方ニ移出セラレ上晒物ニ供セラルル狀況ナルヲ以テ本縣ニ於テモ今後上晒物ヲ製スルノ要アリ

紙ハ副業ト認メラルモノ約二百戸ニシテ苦田、勝田、阿哲、和氣、川上ノ各郡ニ産シ其種類ハ半紙、姫紙、傘紙、障子紙、美濃紙、金箔紙、塵紙ナレ共副業製品ハ機械製紙ノ爲ニ押サレテ漸次衰ヘツツアル傾ナリ然レトモ當局ノ指導ノ結果次第ニ面目ヲ改メツツアリ和紙産額ハ大正十二年度ニ於テ百二十八萬二千九十三圓トス

(七) 木竹加工 産額頗ル僅少ニシテ殊ニ副業生産ニ屬スルモノハ極メテ少ク普及亦普遍的ナラス只苦田郡ノ番傘久米郡ノ飯籠等ノ少量ノ産額アルノミナリ

(八) 干柿ノ製造加工 干柿ノ製造ハ相當多額ニ上リ年産額五萬圓乃至十五萬圓ナリ

(九) 養蠶 産額二萬二千七百七十二圓ナリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 蘭製品 現在ハ副業組合事業補助競技會ノ補助ヲナスノ外縣下ニ於ケル實狀ノ調査ヲナシツツアリト雖將來ハ權威アル蘭製品検査所ヲ設ケ花蒔利用組合獎勵ノ爲ソノ設備ニ對シ補助シ優良機械ノ調査ヲ行ハントス

(二) 麥稈眞田 現在ハ副業組合事業競技會及講習會開設ニ對シテ補助助成シ眞田同業組合ニ補助金ヲ交付シテ麥種改良普及ヲ圖ル外縣及眞田同業組合ニ於テ原料ノ採取宣傳ニ努メツツアレ共將來ハ此ノ外原種育成配付ヲ行ヒ副業組合中晒白法ヲ行フモノニ對シテ補助シ尙傳習教師ヲ設置セントス

(三) 養鶏 現在種禽ノ配付ヲナシ家禽品評會ニ對シ助成ヲナシ種禽場設置補助、養鶏組合聯合會、縣養鶏組合聯合會ニ補助シ特ニ縣養鶏組合聯合會ヲシテ販賣購買ノ斡旋ヲナサシムル外養鶏組合事業競技會ノ補助ヲナシツツアリ將來ハ現在ノ施設ヲ繼續シ其ノ徹底ヲ期セントス

(四) 繩 現在ハ副業組合事業補助、競技會ヲナス外製繩機試驗ヲ行フモノアレ共將來ハ尙同業組合ヲ補助スル外副業組合共同利用場設置ニ對シ補助ヲ行ハントス

(五) 木炭 現在ハ常設技師ヲ設置シテ指導ニ當ラシメツツアレ共將來ニ於テハ副業組合事業獎勵金ノ交付ヲモ行ハントス

- (六) 紙及其ノ原料加工 現在ハ斯業ヲ視察宣傳スルノ外品評會、講習會ヲ開設シ尙能率増進ノ爲メ簡單ナル乾燥器ヲ獎勵シツツアレ共將來ハ原料加工ニ付テハ加工改善ノ爲用具ヲ補助シ加工講習會ヲ開設シ紙ニ付テハ共同作業場ノ設備ニ對シ補助ヲナサントス
- (七) 木竹加工 現在ハ何等獎勵施設無キモ將來ニ於テハ傳習會開設ニ補助シ尙共同作業場ヲ設置セシメテ用具ノ設備ヲ補助セントス
- (八) 蔬菜ノ栽培ト其加工 現在ハ何等獎勵施設無キモ將來ハ漬物講習會ヲ開設シテ斯業ノ發達ヲ期セントス
- (九) 干柿製造及加工 現在ハ獎勵施設無キモ將來ハ此ノ製造加工傳習會ヲ補助開設セシメントス
- (十) 養鯉 現在ハ水産試驗場ニ於テ鯉兒ノ配付、養鯉、鯉兒養成ノ指導ヲナス外縣ニ於テ養鯉組合ニ對シ補助助成シツツアレ共將來ハ進ンテ水産試驗場ニ鯉兒育成場ヲ設ケ鯉兒及鯉卵ノ配付ヲナシ郡農會ヲシテ鯉兒ノ配布經營ヲナサシメ之ニ經費ノ補助ヲナサントス

廣 島 縣

一、種類及現狀

種類ハ蘭製品、竹製品、藁稈加工品、養鶏

現 狀

- (一) 蘭製品 疊表(備後表)ハ大正十二年度ニ於テ從業戶數一萬五千、同人員二萬以上ニ及ヒ本縣農家ノ副業トシ又本縣物産トシテ重要ナル地位ヲ占ム斯業ハ縣下二市一郡ヲ除ク他都市全般ニ普及シ大正十三年度ノ産額ハ四百萬枚以上ニ及ヘリ我國各地ニ移出スルハ勿論植民地ヘノ輸出モ亦漸次増加ノ傾向アリ、而シテ蘭細工品ハ編笠、帽子及入子ヲ主トシ現在縣下沼隈郡及福山市ヲ主トシ其ノ他數郡ニ生産アリ本品ノ生産業ハ層蘭ヲ利用シテ遺利ヲ收ムルニ於テ最適當ナル農家ノ副業ニシテ殊ニ販路ハ内地及海外ニシテ近時頓ニ需要ヲ増加シ供給之ニ伴ハサル盛況ニアルヲ以テ普及發達ヲ要スヘキモノナリ
- (二) 竹製品 大正十二年度ニ於ケル産額ハ三十六萬餘圓ナルモ副業的生産ハ其ノ三分ノ一乃至五分ノ二ニシテ本製品ノ縣内需要ノ約七割ハ大分及山口縣ヨリ移入セララルル状態ナリ縣下芦品郡ノ一部ニ輸出品ヲ製作スル外ハ主トシテ農業用ノ籠、笥ニシテ副業從業戶數千二百、人員千八百名ナリ

- (三) 藁稈加工品 繩及苴ヲ主トシ其ノ他俵、叭等ヲ通シ産額百萬圓ヲ超エ從業者約四萬、麥稈加工品ハ麥稈眞田ヲ主トシ約四十萬圓、從業者一萬三千ニシテ繩ハ一、麥稈眞田ハ二ノ同業組合アリテ各検査ヲ施行シツツアリ

(四) 養鶏 本縣ノ養鶏ハ殆ト副業的ニ經營セラレ現今從業戶數八萬、成鶏數三十五萬羽、雛二十六萬羽ヲ超エ其ノ産卵數二百八十萬箇ニ及ヒ漸次増加シツツアリ

二、現在及將來ノ獎勵施設

現在

(一) 蘭製品、蘭作、竹製品及真田ニ對シテハ講習會ヲ開催スル場合教師招聘費ニ對シ補助金ヲ交付シ蘭作栽培ニハ別ニ巡回指導教師ヲ派遣シ疊表及竹細工ハ地方中堅者養成講習會ヲ開催シテ高等技術ノ傳習ト之ニ關スル知識ノ向上トヲ期シツツアリ

疊表及藁細工ニ對シテハ更ニ郡市又ハ其ノ他ノ産業團體ニ於テ優良器具機械ヲ普及スル目的ヲ以テ之ヲ購入シテ當業者ニ貸與シ又ハ購入費ニ對シ補助ヲ爲シタル場合ニ縣費ヨリ相當補助金ヲ交付シテ製品ノ向上ト能率ノ増進トヲ圖リツツアリ

而シテ副業養鶏ニ付テハ各種團體ニ於テハ種卵種雛配付ノ爲優良種鶏ヲ購入スル場合補助シ其ノ他縣立商品陳列所内ノ一部ニ運賃ヲ補助シテ各種ノ副業品ヲ當業者ヨリ直接出品陳列セシメ一般ノ觀覽ニ供シ併セテ即賣ヲ行ヒ以テ販賣斡旋ニ努メツツアリ

將來

副業宣傳ノ爲見本品、寫眞、圖表ヲ蒐集シテ巡回展覽會ヲ開設シ併テ副業宣傳活動寫眞及實演會ヲ必要ナル箇所ニ開催セントス更ニ各種類ヲ通シ助長發達ヲ圖ル方策トシテ意匠考案等ニ關スル指導、先進地ノ實狀視察、見本品ノ貸與及展覽會ノ開設ヲナシ生産技術ノ進歩ヲ圖ル爲地方ニ實地指導講習會ヲ開催セシメ指導員ヲ派遣シ尙製品ノ統一及能率増進ヲ圖ル爲使用機械ノ比較試驗、優良器械購入助成、原料生産ノ獎勵及共同經營若ハ共同作業ニ對シ助成セントス

而シテ販賣斡旋ニ付テハ取引ノ狀況ヲ調査シ之ヲ講習又ハ印刷領布ノ方法ニ依リ周知セシメ又一面生産品陳列所ヲ設置シ其ノ他各種團體ニ於テ公設販賣機關及問屋、大口需要家又ハ消費組合ニ直接取引ヲ行フ爲ニスル施設並商品統一、荷造ノ完全ヲ圖ル爲ニスル施設及關係品ノ保管ト金融ノ圓滑ヲ圖ル目的ヲ以テ設立シタル團體ノ施設ヲ助成シ以テ圓滿ナル取引遂行ヲ期セントス

更ニ副業ノ振興ヲ期センカ爲將來各郡市ニ之等專務者ノ設置ヲナシ其ノ活動ニ依リ普及發達ヲ充分ナラシメントス

山口縣

一、種類及現狀

(種類ハ業工品、蘭製品、竹製品、經木製品、製紙、木炭、製茶、乾柿、煮干鰯、養鶏、蒟蒻芋、漁浦ニ於ケル蔬菜栽培トス)

- (一) 藁工品 本縣重要副產品ノ一ニシテ其ノ製品ノ主ナルモノハ繩、叭、蒞等ニシテ販賣供用品ノミノ産額ハ約六七十萬圓ヲ産ス
- (二) 藁製品 製品ノ主ナルモノハ丸藁製疊表及三角藁蒞ノ二種トシ未タ原料ノ栽培充實セサルヲ以テ産額亦大ナラス丸藁製三萬枚内外、三角藁製約一萬枚ナルニ過キス
- (三) 竹製品 本縣重要副產品ノ一ニシテ製品ノ主ナルモノハ竹籠類及竹箸等トシ其ノ過半ハ副業的生産ニ屬ス竹籠ハ多ク日用品類ニシテ縣外ニ移出セラル竹箸ノ主産地ハ縣下厚狹郡ニシテ其ノ他ノ數郡ニモ少量ノ産額アリ其ノ産額ハ四十八萬把ヲ算シ遠ク滿鮮地方ニモ販出セラルル狀況ナリ
- (四) 經木製品 縣下ニ於ケル經木製品ノ種類ハ經木織及經木真田ノ二種ニシテ經木織ハ目下主トシテ縣下東南部ノ郡ニ行ハレ居ルモ漸次他地方ニモ普及スルノ傾向アリ農家及漁家ヲ通シテ可ナリ適當ナル副業ト認メラレ相當獎勵ノ餘地ヲ存ス之カ産額約十三四萬圓ニ達ス經木真田ニ付テハ縣ヲ區域トスル同業組合アリ之カ機關ノ活動セルモノアリト雖近來貿易上ノ關係不況ニシテ殆ト取引ナク其ノ産額傾ニ減少セリ
- (五) 製紙 本縣副業的生産品中重要ナルモノノ一ニシテ其ノ製品ノ主ナルモノハ半紙、障子紙、傘

- 紙、諸口紙ニシテ之等ノ總産額ハ器械製紙ニ依ル工業的生産ヲ除クモ尙約百十二三萬圓ヲ算ス本事業ニ付テハ縣ヲ區域トセル同業組合アリテ相當活動セルモノアリト雖尙改善發達ヲ促スヘキモノ尠カラス
- (六) 縣下副業的生産品中最産額大ナルモノニシテ總生産額ハ一千百餘萬貫、三百八十一萬餘圓ヲ算シ副業的生産額ハ其ノ大部分ヲ占ム斯業ニ關シテハ縣ヲ區域トセル同業組合アリテ相當活動セルモノアリト雖尙進テ發達セシムヘキモノ尠カラス
- (七) 製茶 製茶ノ種類ハ改良煎茶、普通煎茶ニシテ産額約七萬有餘圓ナリ主トシテ縣下ノ山間部ニ産出セラレ原料ノ多クハ山野ニ自生スルモノヲ利用セラルルノ狀況ニアリシカ近時山間部以外ニモ茶樹ノ栽培ヲナシ斯業ニ從業セントスル趨勢ヲ見ルニ至レリ
- (八) 乾柿 縣下柿ノ生産量ハ約七十萬貫ナレトモ未タ之カ加工的生産品ニ付テハ特ニ記スヘキモノナク極メテ幼稚ノ域ニアリ其ノ産額僅ニ二萬圓内外ニ過キス
- (九) 煮干鰯 縣下ニ於ケル水産的副業ノ重要ナルモノニシテ現今ノ産額約百二十萬圓ヲ算ス
- (十) 養鷄 縣下ノ養鷄戸數ハ約五萬一千四百戸、産卵數約二百萬其ノ價額約百萬圓ヲ産ス近時一般ニ養鷄氣分向上シ飼養戸數ヲ増加スル傾向ニアリ
- (十一) 蒟蒻芋 縣内主トシテ北部地方ノ特産物ニシテ産額約五十四萬圓ヲ算シ地方農家經濟ニ裨益

スル處尠カラス

一八二

(十二) 漁浦ニ於ケル蔬菜栽培 縣下ニ於ケル純然タル漁浦ハ其ノ數約六十箇處ニ及ヒ其漁民ノ日常要スル蔬菜類ハ全ク他ヨリ購入シツツアルノ状態ニアリ目下施設中ナル縣下某漁業組合ニ於テハ相當ノ土地ヲ購入シ組合員ニ之ヲ分割貸付シ自家用蔬菜ノ栽培ヲ行ハシメツツアルモノアリ而シテ此ノ種ノ獎勵普及ハ蓋シ家族ノ安逸徒食ヲ和キ一家經濟ヲ助クルニ有效ナル漁村副業タルヘシ

二、現在及將來ノ獎勵施設

(一) 藁工品 現在ハ繩、吠、ビール苞ニ付テハ共同組織ノ獎勵、販賣上ノ助成ヲナシ尙吠、ビール苞ニハ尙實演指導ヲ行ヒツツアレ共將來ハ是等施設ヲ續行スルト共ニ優良製繩機ノ購入ニ對シテ助成ノ途ヲ開カントス

(二) 藁製品 共同組織ノ獎勵、販賣上ノ助成、競技會ノ開設及製造機ノ新調助成、種苗ノ栽培獎勵等ヲナシツツアレ共將來モ亦最等ヲ繼續セントス

(三) 竹製品 現在ハ生産販賣ニ付之カ共同組織ノ獎勵、販賣上ノ助成、競技會ノ開催獎勵、傳習會開催獎勵、其ノ他實演指導又ハ工具ノ斡旋等ヲナシツツアリ將來モ續イテ之ヲ行ハントス

(四) 經木製品 現在ハ傳習會開設及競技會開催獎勵ヲナシツツアレ共將來ニ於テハ是等施設ノ外出來得ル限り織機ノ新調ニ對シテモ助成ヲ行ハントス

(五) 製紙 現在ハ同業組合ノ施設トシテ検査員ヲ置キ製品検査ヲ執行シ尙縣ニ於テハ技術員ノ設置、同業組合事業ノ助成、製紙器械ノ新調助成、傳習指導其ノ他共同組織ニ依ル生産販賣ノ獎勵ヲナシツツアレ共將來ハ是等施設ヲ繼續シ殊ニ共同組織ニ依ル製紙工場ノ設置及販賣施設及傳習指導ヲ遺憾ナカラシメンコトニ努メントス

(六) 木炭 現在ハ縣ニ技術員ヲ設置シ尙同業組合事業ノ助成、傳習指導及傳習會開設、教師雇入助成ヲ爲シ同業組合ニ於テハ検査員七十八名ト之カ監督員ヲ置キ製品検査ヲ執行シ更ニ技術者ヲ設置シ講習會傳習會等ノ開設、共進會、品評會等ノ開催又ハ製品共同販賣所ノ設置獎勵ニ努メツツアレ共將來モ尙繼續シテ之ヲ行ハントス

(七) 製茶 現在ハ縣設茶業傳習所アリテ毎年傳習生ヲ收容シ又專任指導吏員ノ設置ニ依リ誘掖ニ力メ其ノ他茶畑ノ新設製茶及製茶器具ノ新調助成生産販賣ニ付テハ共同組織ヲ獎勵シツツアレ共將來ハ此ノ外更ニ茶畑ノ新設ニ依リ原料ノ充實ト相俟ツテ益々斯業ノ發達ヲ期セントス

(八) 乾柿 現在ハ傳習指導ヲ行フノミナレ共將來ハ更ニ優良品種ノ普及改良ニ努メントス

(九) 煮干鰯 現在ハ改良設備ニ對スル助成其ノ他指導ヲナシツツアレ共將來モ亦之ヲ續行セントス

(十) 養鶏 現在ハ優良鶏種ノ普及及鶏肉卵ノ共同販賣、飼料器具ノ共同購入、共同組織ノ施設ヲ獎勵シツツアリ將來モ亦續行セントス

一八三

- (十二) 蒟蒻芋 現在ハ未タ獎勵施設ナキモ今後ハ出來ル限リ栽培上ノ指導又ハ新規栽培業者ノ種薯購入若クハ芋ノ加工の處理等ニ付テ相當助成ノ途ヲ講セントス
- (十三) 漁浦ニ於ケル蔬菜栽培 現在ハ未タ何等施設ナキモ將來ニ於テハ相當助成ノ途ヲ講シ併セテ之レカ栽培上ノ智育ニ努メントス

和歌山縣

一、種類及現狀

種類ハ梅干製造、養鶏、木箸製造、山葵栽培及山葵漬製造、櫻干及小魚利用加工品製造トス

現 狀

- (一) 梅干製造 原料タル青梅ハ縣下到處ニ産シ其ノ産額多キモ加工シテ梅干トナスハ多ク資本家即チ商人ニシテ此ノ梅ヲ栽培者ヨリ購入シ專業的ニ加工ヲナスモノナリ只一箇所ニ(西牟婁郡中芳養村利用販賣組合内梅干加工組合) 村内栽培者ヲ以テ組織シ共同組織ニヨリ加工販賣ヲナシツツアリ梅干ノ産額ハ二十一萬六千四百貫其ノ價額四十九萬六千八百圓ニシテ東京、横濱方面ニ移出セラレ又神奈川縣ヨリ小田原梅トシテ販賣セラルル原料ハ主トシテ本縣産ノ梅干ナリ
- (二) 養鶏 縣下到處ニ飼養セラレ飼養羽數ハ成鶏十七萬羽價額三十一萬圓雛十四萬羽價額九萬圓

圓鶏卵千七十六萬箇其ノ價額五十九萬圓ニシテ飼養戸數ハ三萬三千戸ナリ

- (三) 木箸製造 山間部ニ於テ製造セラレ其ノ産額五十萬把其ノ價額五萬圓ヲ産ス
- (四) 山葵栽培及山葵漬製造 山葵栽培ハ本縣山間部内伊都郡高野村、花園村及有田郡八幡村等ニ於テ最多ク生産シ約八千貫ノ生産アルモ未タ本縣一般ニ普及セラレス殊ニ最近有田郡、伊都郡ノ林業家ニシテ大イニ栽培ニ力ヲ致シ更ニ山葵漬ハ製造ヲ開始シ進シテ近畿市場特ニ大阪市場ニ於テ販路ヲ擴張シツツアリ
- (五) 櫻干其ノ他小魚利用加工品製造 本縣ハ海岸線長キヲ以テ諸種ノ魚類ニ富ミ又小魚ノ漁獲多量ナルモ其ノ加工法不完全ナル爲製品價格安價ニシテ從ツテ其ノ製造者及製造高共ニ少ク只少數者ニ依リ櫻干其ノ他魚落雁、鰻煎餅等ノ製品アルモノノ産額僅少ニシテ製品統一ヲ缺キ販路亦充分ナラス

二、現在及將來ノ獎勵施設

- (一) 梅干製造 現在ハ青梅栽培ニ付テハ農事試驗場ニ於テ各種試驗ヲ行ハシメ其ノ成績良好ナルモノヲ一般栽培者ニ周知セシメ又實地指導ヲナシ加工ニ關シテハ未タ獎勵施設ナキヲ以テ將來ニ於テハ農事試驗場ヲシテ加工ニ關スル研究ヲ行ハシメ加工販賣組合ノ設立ヲ助成獎勵スルノ外展覽會品評會等ニ出品セシムル爲其ノ荷造費及運賃ニ對シ補助シ以テ販路擴張ヲ圖ラントス
- (二) 養鶏 現在ハ一郡市ニ二箇所宛委託種禽場ヲ設置セシメ之ニ優良種鶏ヲ購入配付シ其ノ生産

種卵ヲ縣内希望者ニ一定價格ヲ以テ配付シ縣内鶏種ノ改善ヲ期シツツアルモ將來ニ於テハ尙養鶏組合ノ設立、孵化場ノ設立ヲ助成獎勵セントス

(三) 木箸製造 現在ハ山村ノ杉材豐富ナル地方ニ實地講習會ヲ開催シツツアレ共將來ハ尙此ノ外木箸生産販賣組合ノ設立ヲ補助獎勵スルト共ニ他府縣ノ展覽會、品評會ニ出品セシムル爲出品物ニ對シテ荷造費及運賃ニ對シ補助金ヲ交付シテ以テ販路擴張ヲ圖ラントス

(四) 山葵栽培及山葵漬製造 現在施設トシテハ只講習會ヲ開催シツツアルノミナレ共栽培及山葵漬製造ニ關スル講習會ヲ開催シ山葵漬生産販賣組合ノ設立ヲ助成獎勵シ尙販路ノ擴張ヲ圖ル目的ヲ以テ他府縣ノ展覽會、品評會ニ出品セシムル爲出品物ニ對シテ荷造費及運賃ニ對シ補助金ヲ交付セントス

(五) 櫻干其ノ他小魚利用加工品製造 現在獎勵施設トシテハ縣水産試驗場及水産會ニ於テ製造法ヲ講話又ハ實地指導ニ依リ獎勵シツツアレ共將來ハ講習會開催共同製造所ノ設置等ヲ獎勵セントス

德島縣

一、種類及現狀
種類及現狀ヲ略記セハ左ノ如シ

種類	主產地(郡)	數量	價額	從業戶數	主ナル販路
蓮	那賀、勝浦、板野、名東	一、〇九三、八二九枚	一九九、六五九	二三、三六六	縣内及大阪神戸
吹	同	二、九三三、六六五	三〇四、五五六	一〇、一六四	同
繩	名東、那賀、板野	八〇六、二七八	一八〇、五二一	三五、七六三	同
瓶	名東、名西、那賀、海部	八、〇七八、〇〇〇	二七、七五四	一九二〇	大阪神戸
澤庵	板野、名東、名西、麻植、阿波	三一七、二一二	一、七四四、六六六	四八、九七八	縣内及大阪神戸
干大根	美馬、三好、板野、那賀	七二、二一五	五八、九八五	二九、〇四〇	同
甘藷切干	美馬、阿波	四六六、二六〇	一一〇、二六〇	二三、五九五	同
杞柳	名東、名西、麻植	三四、〇〇〇	六八、〇〇〇	一五〇	同及京都
芍藥	美馬、麻植、那賀、海部	三二〇、〇〇〇	三二〇、〇〇〇	三、二〇〇	縣内及大阪神戸
乾柿	同	四五、一〇七	六四、六八六	九、六七七	同
竹筴	美馬、阿波	六、四五〇	八〇〇	一、〇〇〇	同及北海道
京籠	名東、勝浦、海部	三二五、五〇四	一二六、二五一	二、一八八	縣内及大阪神戸
下駄	阿波、三好、美馬	二二九、六五〇	六四、〇〇〇	一五二	同
椎茸	那賀、海部、美馬、麻植、名西	八、五〇〇	二五、五〇〇	五〇〇	同
木炭	同及勝浦、三好	六、三九五、五一七	一、八二七、六三九	四、三九五	同
森林樹苗	麻植、名西	六、〇〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	五〇	縣内

養	種	類	實	製
鷄	牛	馬	綿	茶
那賀、阿波、美馬、三好	各郡	同	阿波、麻植、美馬、板野	那賀、美馬、海部、三好
三一一、二三〇	五、八五七	四二一	一、五三八	七七、二二一
二四一、〇〇〇	三五七、九一五	六一、八八七	五一、八二三	一六二、四一一
四五、三六九	二、五〇〇	四二一	三、四四五	一五、八四九
縣内及大阪神戸	縣内	同	縣内及大阪神戸	縣内及大阪

二、現在及將來ノ獎勵施設

現在

甘藷切干、蒟蒻、乾柿、真綿、製茶ニ對シテハ講習會、講話會或ハ實地指導ヲ行ヒテ技術ノ進歩ヲ圖リ其ノ他ニ付テハ改良増産、共同生産、販賣組織ノ改善ヲ獎勵シ殊ニ苳、叭、繻ニ關シテハ其ノ製作機購入ニ對シテ補助金ヲ交付シ或ハ其ノ幹旋ヲナシ駒、犢牛ニ付テハ牝馬、牝牛ノ共同購入ニ對シ補助シ養鷄ニ於テハ各郡市町村農會ヘ種卵ヲ配付シツツアリ

將來

副業組合其ノ他ノ團體ノ活動ト新設ヲ促シ講習、講話、傳習會開催、實地指導ヲ行ヒ知識ノ普及ト技術ノ向上ヲ促シ副業獎勵規定ヲ制定シ特ニ地方特産品ノ製産ニ努力セシメ優良器具、機械ノ購入ヲ獎勵及幹旋竝原料購入ノ幹旋ヲモ行フノ外品評會、共進會、競技會ヲ開催善導ヲ爲スト共ニ印刷

物又ハ活動寫真等ヲ利用シテ一層宣傳ニ努メントス其ノ他特ニ造林開伐材ノ利用加工及製炭改良講習會ヲ行ヒ玉齒、屑齒ノ整理ヲ極力獎勵スルト共ニ專任職員ヲシテ指導獎勵ニ努メシムル外蘭草、蓮根ノ栽培及蔬菜類ノ不時栽培ヲ獎勵セントス

香川縣

一、種類及現狀

二種類ハ養鷄、真綿製造、園藝及其ノ加工、溜池、稻田、淺海利用養魚、加工用原料乳増産獎勵トス

現狀

- (一) 養鷄 大正十三年度ニ於テ飼育戸數五萬二千三百二十二戸飼育羽數五十二萬七千八百八十三羽年産卵二千四百四萬八千七百三箇ニシテ一戸當飼育羽數約十羽(雌三、雄〇・五、雌六・六、計一〇・一羽)其ノ一戸當年産卵四百六十箇餘ヲ産ス之等卵ハ縣内ニテ消費セラレ残りハ縣外ニ移出セラルルモ市街地ニ於テハ割安品トシテ年々支那輸入卵約二十七萬五千斤ヲ消費シツツアリ
- (二) 真綿製造 本縣ニ於ケル真綿ハ生産殆皆無ニシテ一箇年消費見込額約七百貫ハ凡テ縣外ヨリ移入シツツアリ而シテ之カ原料ハ大正十三年度ニ於テ玉齒一萬八千五百二十二貫、揚リ齒三百三貫、出殼齒五百二十貫ヲ産シ真綿二千二百九十貫餘ノ生産力ヲ有スルモ從來ハ凡テ加工原料トシ